

令和4年度

橋梁長寿命化修繕計画改定業務委託

報 告 書

令和4年12月

八 峰 町 建 設 課

 創 和 技 術 株 式 會 社

まえがき

本業務は、八峰町 建設課より委託された「橋梁長寿命化修繕計画改定業務委託」についてとりまとめたものであります。

本業務遂行にあたり、関係各位に多大なるご支援・ご指導を賜り、ここに本業務の完成の運びとなりましたことに厚く御礼申し上げます。

令和4年12月

創和技術株式会社

————— 業 務 概 要 —————

業 務 名 : 橋梁長寿命化修繕計画改定業務委託

業 務 場 所 : 山本郡八峰町 地内

業務の履行期間: 令和4年 8月 2日～令和4年12月23日

業 務 内 容 : 橋梁長寿命化修繕計画 N = 7 4 橋

# 目 次

## まえがき

第1章 業務概要	1-	1
1. 業務概要	1-	2
1-1. 業務の目的	1-	2
1-2. 業務概要	1-	2
1-3. 対象橋梁及び橋梁位置図	1-	2
1-4. 業務項目	1-	6
第2章 橋梁の現状	2-	1
1. 橋梁の規模	2-	2
1-1. 橋梁種別、橋長、道路種別毎の橋梁数	2-	2
1-2. 架設年	2-	3
1-3. 橋梁諸元一覧表	2-	4
2. 橋梁の健全度	2-	7
2-1. 橋梁点検の実施状況	2-	7
2-2. 損傷度評価	2-	7
2-3. 橋梁種別毎の損傷度評価	2-	11
2-4. 変状の種類別の区分	2-	12
2-5. 損傷度評価一覧表	2-	14
2-6. 早期に措置を講ずべき橋梁	2-	17
第3章 修繕計画の策定	3-	1
1. 橋梁長寿命化計画の背景と目的	3-	2
1-1. 背景	3-	2
1-2. 目的	3-	2
2. 修繕計画の策定方針	3-	3
2-1. 修繕計画の基本方針	3-	3
2-2. 修繕計画の更新方法	3-	3
3. 維持管理方針	3-	5
3-1. 維持管理の基本方針	3-	5
3-2. 橋梁の特性	3-	6
3-3. 維持管理方針	3-	8
3-4. 施設の集約化・撤去	3-	11
4. 対策の優先度設定	3-	13
4-1. 橋梁諸元による重要度	3-	13
4-2. 総合評価値(橋梁の健全性)	3-	15
4-3. 長寿命化計画開始時の優先順位	3-	16

## 目 次

5. 橋梁長寿命化修繕計画	3-	50
5-1. 修繕規模の設定	3-	50
5-2. 長寿命化計画の効果	3-	54
5-3. 長寿命化計画の策定	3-	56
6. 新技術の活用	3-	59
6-1. 橋梁定期点検	3-	59
6-2. 橋梁補修	3-	59
巻末資料	巻-	1
八峰町 橋梁長寿命化修繕計画(公表用資料)	巻-	2
点検結果一覧表(国総研様式)	巻-	15
橋梁毎事業計画シミュレーション結果	巻-	63
チェック項目に対する資料	巻-	508

# 第 1 章 業 務 概 要

## 1. 業務概要

### 1-1. 業務の目的

本業務は、「道路メンテナンス事業補助制度要綱の改定」に伴い、令和2年度に策定した橋梁長寿命化修繕計画の見直しを図るものである。

策定する橋梁長寿命化修繕計画では、橋梁の集約・撤去や新技術等の活用などの短期的な数値目標及びそのコスト縮減効果を記載し、八峰町におけるコスト縮減や事業の効率化につながることを目的とする。

### 1-2. 業務概要

- (1) 業務名 : 令和4年度 橋梁長寿命化修繕計画改定業務委託
- (2) 業務箇所 : 山本郡八峰町 地内
- (3) 工期 : 令和4年 8月 2日～令和4年12月23日
- (4) 委託者 : 八峰町建設課
- (5) 受託者 : 創和技術株式会社【ISO9001認証登録 RB-Q20002】

### 1-3. 対象橋梁及び橋梁位置図

対象橋梁数 N=74橋

次頁に対象橋梁一覧表及び位置図を添付。

## 橋 梁 一 覧 表

1/2

整理 番号	橋梁名	路 線		橋 梁 諸 元					備 考
		路線名	道路 種別	形 式	径間数	架設 年次	橋長 (m)	全幅員 (m)	
1	田中橋	田中線	1級	鋼溶接・H形鋼不明	2	1969	40.00	5.40	
2	神陣橋	水沢ダム線	1級	鋼溶接・H形鋼不明	2	1978	41.00	5.80	
3	仲村橋	大沢大信田線	1級	鋼溶接・H形鋼不明	1	1965	15.00	6.00	
4	塙橋	大沢大信田線	1級	鋼溶接・H形鋼不明	1	1965	15.00	6.00	
5	苗吉橋	大槻野線	1級	鋼溶接・H形鋼不明	1	1973	17.60	5.80	
6	向田面橋	坂形線	2級	鋼溶接・H形鋼不明	1	1974	17.60	6.20	
7	日和見橋	観海浜通線	1級	PC・ポステンT桁	2	1990	58.50	11.12	
8	水沢橋	目名潟大沢線	1級	PC・ポステン中空床版	5	1961	62.60	5.60	
9	欄干橋	畑谷強坂線	その他	鋼溶接・H形鋼不明	1	1971	16.50	4.80	
10	白神橋	真瀬線	1級	鋼溶接・I桁不明	1	1999	44.80	8.22	
11	白神大橋	真瀬線	1級	鋼溶接・I桁不明	1	2001	40.00	8.22	
12	小入川橋	小入川岩館線	1級	PC・プレテン床版	2	1965	16.60	4.83	
13	白瀑橋	八森山麓線	1級	PC・プレテンT桁	1	1990	19.70	8.20	
14	尼子橋	八森山麓線	1級	鋼溶接・箱桁不明	1	1993	61.10	7.70	
15	畑谷橋	目名潟大沢線	1級	鋼溶接・I桁不明+PC中空床版	1	1970	20.40	9.20	
16	天童岩子新橋	岩子北線	その他	鋼溶接・H形鋼不明	1	1989	23.60	5.00	
17	高寺下橋	長坂台線	その他	鋼溶接・H形鋼不明	1	1998	23.60	6.20	
18	奥の台橋	白神二ツ森線	1級	鋼溶接・I桁不明	1	1982	26.60	5.20	
19	大信田橋	大沢大信田線	1級	鋼溶接・H形鋼不明	1	1968	23.90	5.20	
20	小手萩橋	前田面線	1級	鋼溶接・H形鋼不明	1	2013	32.50	5.20	
21	南夏井橋	大沢大野線	1級	PC・プレテンT桁	1	2010	24.00	9.70	
22	夏井沢橋	大沢大野線	1級	PC・プレテンT桁	1	2007	28.50	9.70	
23	濁川橋	白神二ツ森線	1級	PC・プレテン中空床版	1	1959	16.70	7.50	
24	川向橋	田中線	1級	RC・RC中実床版橋	1	不明	5.00	7.55	
25	向橋	内荒巻線	2級	RC・RC中実床版橋	1	不明	5.70	5.60	
26	内荒巻橋	内荒巻線	2級	RC・RC中実床版橋	1	1984	7.80	6.00	
27	北夏井橋	石川夏井線	その他	PC・プレテン床版	1	1953	4.10	4.90	
28	第2北夏井橋	石川夏井線	その他	PC・プレテン床版	1	1953	4.00	4.50	
29	磯村橋	磯村浜田線	1級	RC・RCT橋	1	1961	10.75	7.30	
30	新川橋	磯村浜田線	1級	RC・RC中実床版橋	1	1962	2.80	6.00	
31	治助川橋	磯村浜田線	1級	RC・RC中実床版橋	1	1962	2.80	4.94	
32	狭田川橋	岩館海岸線	1級	RC・RC中実床版橋	1	1955	4.05	9.30	
33	上の川橋	八森海岸線	その他	PC・プレテン中空床版	1	1981	8.45	8.22	
34	本館橋	本館町2号線	その他	RC・RC中実床版橋	1	1978	3.18	4.41	
35	高野々橋	目名潟大沢線	1級	RC・RC中実床版橋	1	1968	5.00	7.30	
36	寺下橋	大沢大野線	1級	RC・RCT橋+I桁非合成	1	1964	16.00	9.30	
37	大久保岱沢橋	水沢ダム線	1級	PC・プレテン中空床版	1	不明	9.00	7.70	
38	大久保岱橋	水沢ダム線	1級	PC・プレテン中空床版	1	1953	6.80	4.80	
39	横内橋	横内仲村線	2級	RC・RCT橋+PC中空床版	1	不明	14.00	6.20	
40	寺ノ沢新橋	大信田東線	その他	PC中空床版桁橋	1	2002	8.40	7.20	
41	小母谷橋	磯村浜田線	1級	PC・プレテン床版	1	1965	10.00	6.80	
42	湯の尻橋	磯村浜田線	1級	RC・RC中実床版橋	1	1951	2.50	5.48	
43	寺の後橋	磯村浜田線	1級	RC・RC中実床版橋	1	1951	2.30	7.70	
44	白瀑1号橋	磯村浜田線	1級	PC・プレテン中空床版	1	1980	10.10	7.21	
45	平沢橋	小入川岩館線	1級	RC・RC中実床版橋	1	1965	11.10	5.25	
46	観海橋	観海浜通線	1級	PC・プレテン床版	1	1982	10.44	11.20	
47	白瀑2号橋	白瀑線	その他	PC・プレテン床版	1	1979	7.85	5.42	
48	白瀑3号橋	湯の沢線	その他	PC・プレテン床版	1	1980	8.74	7.23	

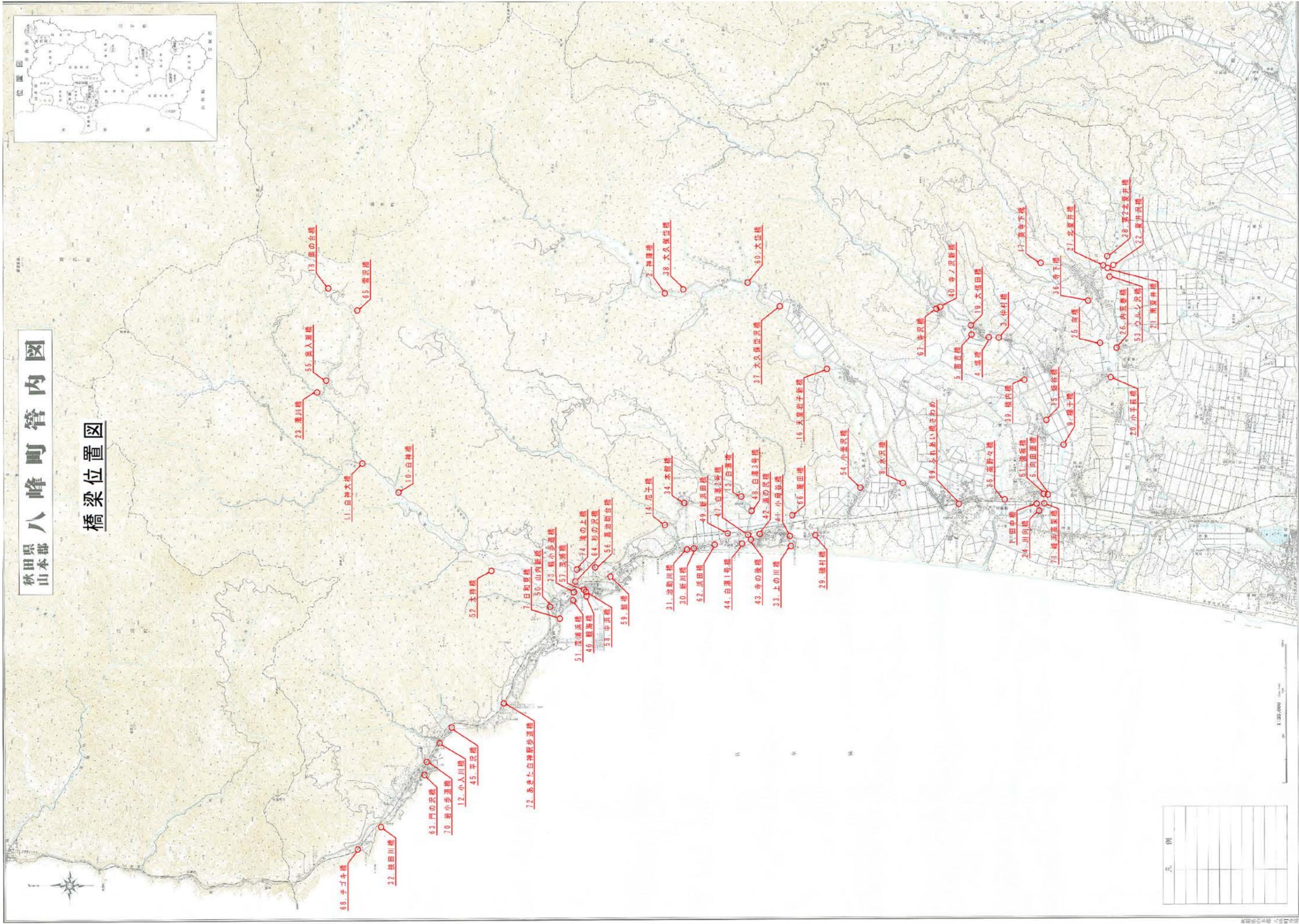
## 橋 梁 一 覧 表

2/2

整理 番号	橋梁名	路 線		橋 梁 諸 元					備 考
		路線名	道路 種別	形 式	径間数	架設 年次	橋長 (m)	全幅員 (m)	
49	新浜田橋	本館線	2級	RC溝橋(BOXカルバート)	1	1973	2.10	6.50	
50	山内新橋	山内線	その他	PC・プレテン床版	1	1972	8.57	4.45	
51	茂浦浜橋	茂浦浜線	その他	RC・RC中実床版橋	1	1976	2.50	5.44	
52	大持橋	立石線	その他	RC溝橋(BOXカルバート)	1	不明	4.00	7.05	
53	ウルシ沢橋	石川大野線	その他	RCT橋+PC中空床版	1	1963	11.00	9.80	
54	小釜沢橋	目名潟大沢線	1級	RC溝橋(BOXカルバート)	1	不明	5.90	9.75	
55	奥入瀬橋	白神二ッ森線	1級	RC溝橋(BOXカルバート)	1	不明	5.80	4.00	
56	嘉治助台橋	八森山麓線	1級	RC溝橋(BOXカルバート)	1	不明	2.40	18.20	
57	茂浦橋	茂浦中浜線	その他	RC溝橋(BOXカルバート)	1	不明	3.90	29.00	
58	中浜橋	中浜線	その他	RC溝橋(BOXカルバート)	1	1982	3.90	15.00	
59	鯨橋	八森中通学線	その他	RC溝橋(BOXカルバート)	1	不明	2.60	2.00	
60	大岱橋	水沢ダム線	1級	PC・プレテン中空床版	1	1977	10.40	6.00	
61	強坂橋	坂形線	2級	RC溝橋(BOXカルバート)	1	不明	3.20	6.70	
62	浜田橋	磯村浜田線	1級	RC・RC中実床版橋	1	1947	2.75	5.00	
63	門の沢橋	岩館海岸線	1級	RC溝橋(BOXカルバート)	1	1955	2.50	7.33	
64	杉の沢橋	八森小通学線	その他	PC・プレテン床版	1	1984	6.16	5.30	
65	雪沢橋	白神二ッ森線	1級	RC・RC中実床版橋	1	不明	5.50	6.60	
66	竈田橋	八森山麓線	1級	PC・プレテン床版	1	不明	8.50	8.70	
67	寺沢橋	大沢大信田線	1級	PC・プレテン中空床版	1	2002	9.50	5.50	
68	チゴキ橋	岩館海岸線	1級	PC・プレテン床版	1	不明	17.60	8.20	
69	峰浜高架橋	田中央線	1級	鋼溶接・I桁合成	3	2004	96.50	12.00	
70	滝の上橋	八小線	1級	RC・RC床版橋(その他)	1	1987	8.70	6.00	
71	ふれあい橋さわめ	松原1号線	その他	鋼溶接・I桁不明	1	1997	24.20	4.20	
72	岩小歩道橋	ノケソリ線	その他	PC・プレテンI桁	1	1977	21.70	3.50	
73	あきた白神駅歩道橋	あきた白神駅線	その他	鋼溶接・I桁不明	2	1993	55.00	3.50	
74	観小歩道橋	八森小通学線	その他	PC・プレテン床版	5	1976	47.70	2.40	

秋田県  
山本郡  
八峰町管内図

橋梁位置図



凡	例

1-4. 業務項目

工種・種別・細目	単位	数量	備考
設計業務	式	1	
橋梁長寿命化修繕計画	式	1	
橋梁長寿命化修繕計画改定業務	式	1	N=74橋

## 第2章 橋 梁 の 現 状

# 1. 橋梁の規模

## 1-1. 橋梁種別、橋長、道路種別毎の橋梁数

橋梁の種別では、コンクリート橋が全体の約62%占め、ボックスカルバートを含めると約76%がコンクリート橋で建設されている。

また、ボックスカルバートを含むコンクリート橋のほとんどは橋長15m未満の橋梁に架けられており、鋼橋はすべて15m以上の橋に建設されている。

橋長では、15m未満の小規模橋梁が全体の59%(44橋)を占め、次いで15m以上30m未満が19橋(26%)、30m以上50m未満が6橋(8%)、50m以上100m未満が5橋(7%)となっており、100m以上の長大橋は0橋である。

道路種別では、半数以上の46橋(62%)が町の主要幹線道路として位置付けられている1級町道に架かっており、次いでその他町道が22橋(30%)、2級町道が6橋(8%)となっている。

橋梁種別及び橋長

(単位:橋)

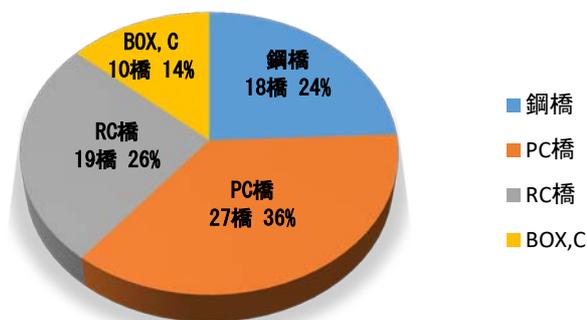
種 別	橋梁数	橋 長					
		L < 15m	15m ≤ L < 30m	30m ≤ L < 50m	50m ≤ L < 100m	100m ≤ L	
鋼 橋	18	0	11	4	3	0	
コンクリート橋	PC橋	27	16	7	2	2	0
	RC橋	19	18	1	0	0	0
ボックスカルバート	10	10	0	0	0	0	
そ の 他(石橋)	0	0	0	0	0	0	
計	74	44	19	6	5	0	

道路種別

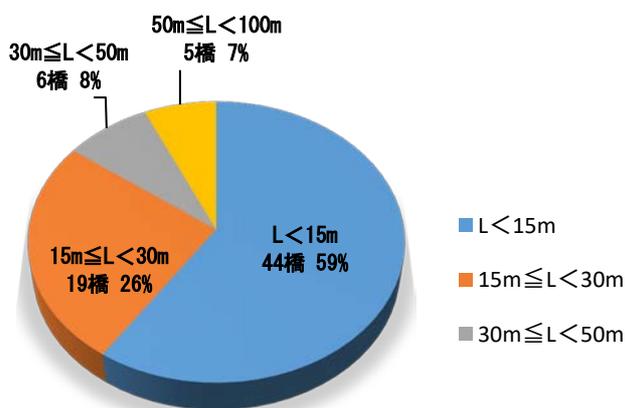
(単位:橋)

道路種別	橋梁数
1級	46
2級	6
その他	22
計	74

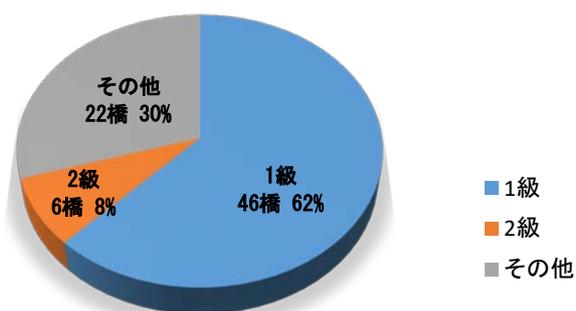
【橋梁種別】



【橋長別】



【道路種別】



## 1-2. 架設年

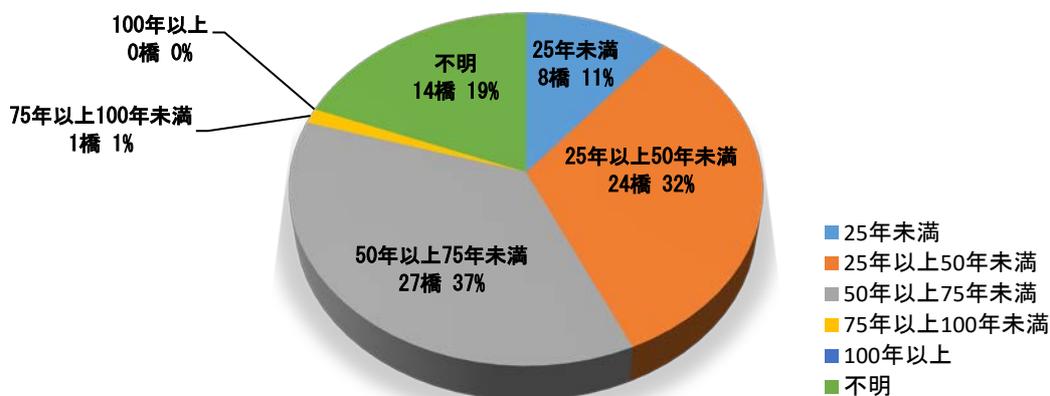
供用年数毎の橋梁数を見ると、25年以上50年未満に架設された橋梁が24橋、50年以上75年未満に架設された橋梁が27橋で、全橋梁の約7割がこの50年間で建設されており、供用年が不明な14橋についても、この時期に建設されたと推定される。

現時点で供用50年を超えている橋梁数は28橋(38%)で、今後10年で供用50年を超える橋梁は42橋(57%)となり、20年後では50橋(68%)まで増加し更新時期が集中する恐れがある。

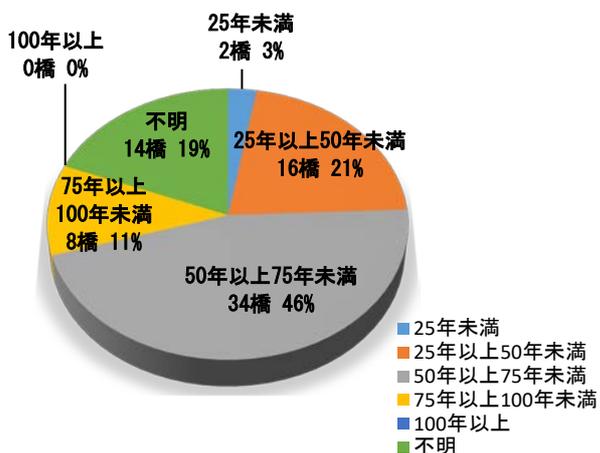
また、供用年が不明な橋が高度経済成長期の1955年～1973年に建設されたと推定し、仮に1973年に建設されたと仮定すると、供用50年を超える橋梁は10年後で56橋(76%)、20年後で64橋(87%)まで膨らみ、ほとんどの橋梁が50年を超えることとなる。

供用年数	橋梁数	L < 15m	15m ≤ L < 50m	50m ≤ L < 100m	100m ≤ L
25年未満 (1998～)	8	2	5	1	0
25年以上50年未満 (1997～1973)	24	12	9	3	0
50年以上75年未満 (1972～1948)	27	16	10	1	0
75年以上100年未満 (1947～1923)	1	1	0	0	0
100年以上 (~1922)	0	0	0	0	0
不明	14	13	1	0	0
計	74	44	25	5	0

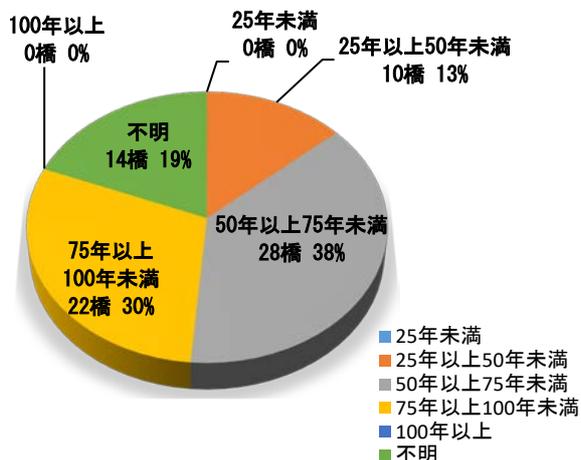
【供用年数】



【10年後の供用年数】



【20年後の供用年数】



## 1-3.橋梁諸元一覽表

区分	整理番号	橋梁名	管理番号	路線		所在	橋梁諸元				迂回路の有無	路下条件	適用示方書	海岸線からの距離(km)	備考	
				路線名	道路種別		形式	径間数	架設年次	活荷重						橋長(m)
	1	田中橋	053490001	田中線	1級	峰浜田中字川向	鋼溶接・H形鋼不明	2	1969	TL-14	40.00	5.40	不明(S39道示)	河川	1.6	
	2	神俣橋	053490002	水沢ダム線	1級	峰浜水沢	鋼溶接・H形鋼不明	2	1978	不明	41.00	5.80	不明(S47道示)	河川	5.6	
	3	仲村橋	053490003	大沢大信田線	1級	峰浜村瑞字坊沢	鋼溶接・H形鋼不明	1	1965	TL-14	15.00	6.00	S39道示	河川	5.1	
	4	瑞橋	053490004	大沢大信田線	1級	峰浜瑞字橋	鋼溶接・H形鋼不明	1	1965	TL-14	15.00	6.00	不明(S39道示)	河川	5.1	
	5	苗吉橋	053490007	大瀬野線	1級	峰浜瑞字橋	鋼溶接・H形鋼不明	1	1973	TL-14	17.60	5.80	不明(S47道示)	河川	5.1	
	6	向田面橋	053490008	坂形線	2級	峰浜田中字狐崎	鋼溶接・H形鋼不明	1	1974	TL-14	17.60	6.20	不明(S47道示)	河川	1.8	
	7	日和見橋	053490014	観海浜通線	1級	八森立石	PC・ボスステン桁	2	1990	TL-20	58.50	11.12	S47道示	河川	0.03	
	8	水沢橋	053490017	目名淵大沢線	1級	峰浜目名淵	PC・ボスステン床版	5	1961	不明	62.60	5.60	不明(S31道示)	河川	1.7	
	9	欄干橋	053490010	畑谷強坂線	その他	峰浜畑谷	鋼溶接・H形鋼不明	1	1971	TL-14	16.50	4.80	不明(S39道示)	河川	3.0	
	10	白神橋	053490011	真瀬線	1級	八森雨降場沢	鋼溶接・I桁不明	1	1999	A活荷重	44.80	8.22	H8道示	河川	4.5	
	11	白神大橋	053490012	真瀬線	1級	八森雨降場沢	鋼溶接・I桁不明	1	2001	A活荷重	40.00	8.22	H8道示	河川	5.5	
	12	小入川橋	053490013	小入川岩館線	1級	八森字小入川家の上	PC・プレテン床版	2	1965	TL-20	16.60	4.83	不明(S39道示)	河川	0.05	
	13	白瀑橋	053490015	八森山麓線	1級	峰浜村瑞字坊沢	PC・プレテンI桁	1	1990	不明	19.70	8.20	不明(S55道示)	河川	1.2	
	14	厄子橋	053490016	八森山麓線	1級	八森中島	鋼溶接・箱桁不明	1	1993	TL-14	61.10	7.70	H2道示	河川	0.7	
	15	畑谷橋	053490018	目名淵大沢線	1級	峰浜畑谷	鋼溶接・I桁不明+PC中空床版	1	1970	TL-14	20.40	9.20	不明(S39道示)	河川	3.4	
	16	天童岩子新橋	053490021	岩子北線	その他	峰浜岩子	鋼溶接・H形鋼不明	1	1989	不明	23.60	5.00	不明(S55道示)	河川	4.0	
	17	高寺下橋	053490022	長坂台線	その他	峰浜	鋼溶接・H形鋼不明	1	1998	TL-14	23.60	6.20	H2道示	河川	6.8	
	18	奥の台橋	053490023	白神ニッ森線	1級	八森真瀬沢	鋼溶接・I桁不明	1	1982	不明	26.60	5.20	不明(S55道示)	河川	8.7	
	19	大信田橋	053490005	大沢大信田線	1級	峰浜瑞字橋	鋼溶接・H形鋼不明	1	1968	TL-14	23.90	5.20	不明(S39道示)	河川	5.3	
	20	小手寂橋	053490009	前田面線	1級	峰浜村小手寂	PC・ボスステン桁	1	2013	TL-14	32.50	5.20	H14道示	河川	4.6	
	21	半夏井橋	053490019	大沢大野線	1級	峰浜石川	PC・プレテンI桁	1	2010	B活荷重	24.00	9.70	H14道示	河川	6.9	
	22	夏井沢橋	053490020	大沢大野線	1級	峰浜石川	PC・プレテンI桁	1	2007	B活荷重	28.50	9.70	H14道示	河川	7.0	
	23	濁川橋	053490024	白神ニッ森線	1級	八森真瀬沢	PC・プレテン中空床版	1	1959	不明	16.70	7.50	不明(S31道示)	河川	7.2	
	24	川向橋	053490026	田中線	1級	峰浜村田中字川向	RC・RC中実床版橋	1	不明(1973)	不明	5.00	7.55	不明(S47道示)	河川	1.5	
	25	向橋	053490032	内荒巻線	2級	峰浜村内荒巻字家ノ上	RC・RC中実床版橋	1	不明(1973)	不明	5.70	5.60	不明(S47道示)	河川	5.3	

※架設年次及び適用示方書の( )内は、修繕計画策定のための推定値(仮定値)を表す。

## 1-3. 橋梁諸元一覽表

区分	整理番号	橋梁名	管理番号	路線		所在	橋梁諸元				迂回路の有無	路下条件	適用示方書	海岸線からの距離(km)	備考	
				路線名	道路種別		形式	径間数	架設年次	活荷重						橋長(m)
	26	内荒巻橋	053490033	内荒巻線	2級	峰浜村内荒巻字家ノ上	RC・RC中実床版橋	1	1984	不明	7.80	6.00	不明(S55道示)	河川	5.2	
	27	北夏井橋	053490034	石川夏井線	その他	峰浜村石川字石川	PC・PC床版橋(その他)	1	1953	不明	4.10	4.90	不明(S14道示)	河川	6.9	
	28	第2北夏井橋	053490035	石川夏井線	その他	峰浜村石川字石川	PC・PC床版橋(その他)	1	1953	不明	4.00	4.50	不明(S14道示)	河川	7.1	
	29	磯村橋	053490038	磯村浜田線	1級	八森磯村	RC・RC中実床版橋	1	1961	TL-14	10.75	7.30	不明(S31道示)	河川	0.4	
	30	新川橋	053490044	磯村浜田線	1級	八森浜田	RC・RC中実床版橋	1	1962	TL-14	2.80	6.00	不明(S31道示)	河川	0.06	
	31	治助川橋	053490045	磯村浜田線	1級	八森浜田	RC・RC中実床版橋	1	1962	TL-14	2.80	4.94	不明(S31道示)	河川	0.05	
	32	狭田川橋	053490048	岩館海岸線	1級	八森岩館塚の台	RC・RC中実床版橋	1	1955	TL-14	4.05	9.30	不明(S14道示)	河川	0.08	
	33	上の川橋	053490050	八森海岸線	その他	字八森	PC・プレキャスト中空床版	1	1981	TL-20	8.45	8.22	不明(S55道示)	河川	0.2	
	34	本館橋	053490053	本館町2号線	その他	字本館	RC・RC中実床版橋	1	1978	T-6	3.18	4.41	不明(S47道示)	河川	1.1	
	35	高野々橋	053490059	目名淵大沢線	1級	峰浜高野々	RC・RC中実床版橋	1	1968	TL-14	5.00	7.30	不明(S39道示)	河川	1.6	
	36	寺下橋	053490060	大沢大野線	1級	峰浜石川	RC・RC中実床版橋 +I桁非合成	1	1964	TL-14	16.00	9.30	不明(S31道示)	河川	6.1	
道	37	大久保岱沢橋	053490027	水沢ダム線	1級	峰浜村水沢字大久保岱	PC・プレキャスト中空床版	1	不明(1973)	不明	9.00	7.70	不明(S47道示)	河川	5.3	
路	38	大久保岱橋	053490029	水沢ダム線	1級	峰浜村水沢	PC・プレキャスト中空床版	1	1953	不明	6.80	4.80	不明(S14道示)	河川	5.7	
橋	39	横内橋	053490031	横内仲村線	2級	峰浜村橋字大沢家下	RC・RC中実床版橋 +PC中空床版	1	不明(1973)	不明	14.00	6.20	不明(S47道示)	河川	4.2	
	40	寺ノ沢新橋	053490036	大信田東線	その他	峰浜村橋字大信田	PC・プレキャスト床版	1	2002	A活荷重	8.40	7.20	不明(H8道示)	河川	5.6	
	41	小母谷橋	053490039	磯村浜田線	1級	字磯村	PC・プレキャスト床版	1	1965	TL-14	10.00	6.80	不明(S39道示)	河川	0.4	
	42	湯の尻橋	053490040	磯村浜田線	1級	字八森	RC・RC中実床版橋	1	1951	TL-14	2.50	5.48	不明(S14道示)	河川	0.4	
	43	寺の後橋	053490041	磯村浜田線	1級	字寺の後	RC・RC中実床版橋	1	1951	TL-14	2.30	7.70	不明(S14道示)	河川	0.2	
	44	白瀬1号橋	0534990042	磯村浜田線	1級	字寺の後	PC・プレキャスト中空床版	1	1980	TL-14	10.10	7.21	不明(S53道示)	河川	0.14	
	45	平沢橋	053490046	小入川岩館線	1級	字平沢	RC・RC中実床版橋	2	1965	TL-20	11.10	5.25	不明(S39道示)	河川	0.13	
	46	観海橋	053490049	観海浜通線	1級	八森字中浜	PC・プレキャスト床版	1	1982	TL-20	10.44	11.20	不明(S55道示)	河川	0.04	
	47	白瀬2号橋	053490051	白瀬線	その他	字八森	PC・プレキャスト床版	1	1979	TL-14	7.85	5.42	不明(S53道示)	河川	0.3	
	48	白瀬3号橋	053490052	湯の沢線	その他	字寺沢	PC・プレキャスト床版	1	1980	TL-14	8.74	7.23	不明(S53道示)	河川	0.9	
	49	新浜田橋	053490054	本館線	2級	字新浜田	RC溝橋(BOXカハート)	1	1973	TL-14	2.10	6.50	不明(S47道示)	河川	0.4	
	50	山内新橋	053490056	山内線	その他	字山内	PC・PC桁橋その他	1	1972	TL-14	8.57	4.45	不明(S39道示)	河川	0.3	

※架設年次及び適用示方書の( )内は、修繕計画策定のための推定値(仮定値)を表す。

1-3. 橋梁諸元一覽表

区分	整理番号	橋梁名	管理番号	路線		所在	橋梁諸元						迂回路の有無	路下条件	適用示方書	海岸線からの距離(km)	備考
				路線名	道路種別		形式	径間数	架設年次	活荷重	橋長(m)	全幅員(m)					
道路橋	51	茂浦浜橋	053490057	茂浦浜線	その他	字茂浦	RC・RC中実床版橋	1	1976	TL-14	2.50	5.44	有	河川	不明(S47道示)	0.10	
	52	大持橋	053490058	立石線	その他	字大持沢	RC溝橋(BOXカハ・ト)	1	不明(1973)	不明	4.00	7.05	有	河川	不明(S47道示)	1.8	
	53	ウロン沢橋	053490061	石川大野線	その他	峰浜石川	RC溝橋(BOXカハ・ト)	1	1963	TL-14	11.00	9.80	有	河川	不明(S31道示)	6.7	
	54	小釜沢橋	053490062	目名淵大沢線	1級	峰浜目名淵	RC溝橋(BOXカハ・ト)	1	不明(1973)	不明	5.90	9.80	有	河川	不明(S47道示)	1.5	
	55	奥入瀬橋	053490063	白神二ッ森線	1級	八森真瀬沢	RC溝橋(BOXカハ・ト)	1	不明(1973)	不明	5.80	4.00	有	河川	不明(S47道示)	7.3	
	56	嘉治助台橋	053490066	八森山麓線	1級	八森上嘉治助台	RC溝橋(BOXカハ・ト)	1	不明(1973)	不明	2.40	18.20	有	河川	不明(S47道示)	0.7	
	57	茂浦橋	053490067	茂浦中浜線	その他	字八森中浜	RC溝橋(BOXカハ・ト)	1	不明(1973)	不明	3.90	29.00	有	河川	不明(S47道示)	0.2	
	58	中浜橋	053490068	中浜線	その他	字中浜	RC溝橋(BOXカハ・ト)	1	1982	不明	3.90	15.00	有	河川	不明(S55道示)	0.14	
	59	鮎橋	053490069	八森中通学線	その他	八森上嘉治助台	RC溝橋(BOXカハ・ト)	1	不明(1973)	不明	2.60	2.00	有	河川	不明(S47道示)	0.4	
	60	大谷橋	053490028	水沢ダム線	1級	峰浜水沢字大谷	PC・プレテン中空床版	1	1977	不明	10.40	6.00	有	河川	不明(S47道示)	5.8	
	61	強坂橋	053490037	坂形線	2級	峰浜村田中字狐崎	RC溝橋(BOXカハ・ト)	1	不明(1973)	不明	3.20	6.70	有	水路	不明(S47道示)	1.8	
	62	浜田橋	053490043	磯村浜田線	1級	字浜田	RC・RC中実床版橋	1	1947	TL-14	2.75	5.00	有	河川	不明(S14道示)	0.12	
	63	門の沢橋	053490047	岩館海岸線	1級	字門の沢	RC溝橋(BOXカハ・ト)	1	1955	TL-14	2.50	7.33	有	河川	不明(S14道示)	0.07	
	64	杉の沢橋	053490055	八森小通学線	その他	字五輪台上段	PC・PC桁橋その他	1	1984	TL-14	6.16	5.30	有	河川	不明(S55道示)	0.4	
	65	雪沢橋	053490064	白神二ッ森線	1級	八森真瀬沢	RC・RC中実床版橋	1	不明(1973)	不明	5.50	6.60	有	河川	不明(S47道示)	8.0	
	66	籠田橋	053490065	八森山麓線	1級	八森籠田	PC・プレテン床版	1	不明(1973)	不明	8.50	8.70	有	河川	不明(S47道示)	0.8	
	67	寺沢橋	053490030	大沢大信田線	1級	峰浜村塙字大信田	PC・プレテン中空床版	1	2002	A活荷重	9.50	5.50	有	河川	不明(H6道示)	5.6	
	68	子ゴキ橋	05349100290	岩館海岸線	1級	八森子ゴキ	PC・プレテン床版	1	不明(1973)	不明	17.60	8.20	有	線路	不明(S47道示)	0.3	
	69	峰浜高架橋	20-1	田中央線	1級	浜田中字川向	鋼溶接I桁合成	3	2004	B活荷重	96.50	12.00	有	線路・河川	H14道示	1.6	
	70	滝の上橋	05349100750	八小線	1級	八森字滝ノ上	RC・RC床版橋(その他)	1	1987	不明	8.70	6.00	無	河川	不明(S55道示)	0.7	
	71	ふれあい橋さわめ	05349400130	松原1号線	その他	峰浜村水沢字カッチキ台	鋼溶接I桁不明	1	1997	不明	24.20	4.20	有	線路	不明(H6道示)	1.4	
	72	岩小歩道橋	1018-1	ノケソリ線	その他	八森ノケソリ	PC・プレテンI桁	1	1977	不明	21.70	3.50	有	線路	不明(S47道示)	0.2	
	73	あきた白神駅歩道橋	05349100260	あきた白神駅線	その他	八森字御所の台	鋼溶接I桁不明	2	1993	不明	55.00	3.50	有	線路	不明(H2道示)	0.3	
	74	観小歩道橋	05349100180	八森小通学線	その他	八森字家の後	PC・プレテン床版	5	1976	不明	47.70	2.40	有	線路	不明(S47道示)	0.2	

※架設年次及び適用示方書の( )内は、修繕計画策定のための推定値(仮定値)を表す。

## 2. 橋梁の健全度

### 2-1. 橋梁点検の実施状況

八峰町が管理する橋梁は74橋で、平成26年度～平成30年度にかけて1巡目点検が終了し、令和元年度より2巡目点検を実施している。

実施内訳は以下のとおりである。

橋梁点検の実施内訳

(単位:橋)

1巡目点検			2巡目点検		
実施年度	点検橋梁数	備考	実施年度	点検橋梁数	備考
平成26年度	67		令和元年度	67	
平成28年度	2		令和3年度	2	
平成29年度	2				
平成30年度	3				
計	74		計	69	

### 2-2. 損傷度評価

平成29年度～令和3年度に行われた橋梁点検の結果を集計すると、橋梁全体の評価として評価Ⅱが49橋(66%)と最も多く、続いて評価Ⅲが16橋(22%)、評価Ⅰが9橋(12%)、評価Ⅳが0橋となっている。

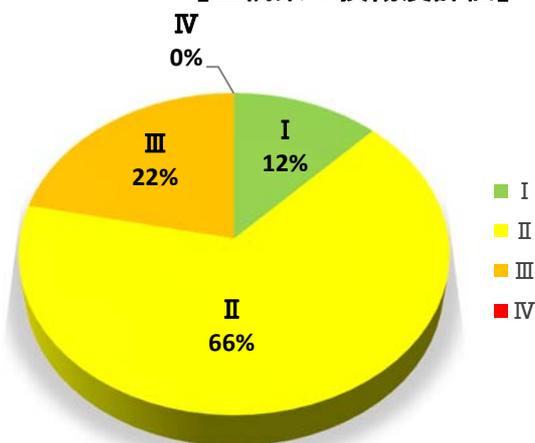
なお、以下の損傷度評価は、「道路橋定期点検要領(国土交通省道路局)」に基づいた4段階評価(国交省へ報告する健全度評価)で集計したものである。

橋梁点検結果総括表

(単位:橋)

評価	橋梁全体の評価	主桁	横桁	床版	下部工	支承部	その他	備考
I	9	26	15	22	13	46	21	
II	49	24	11	34	53	15	45	
III	16	8	2	7	8	1	8	
IV	0	0	0	0	0	0	0	
計	74	58	28	63	74	62	74	

【全橋梁の損傷度評価】



【部材毎の損傷度評価】



【判定区分：道路橋定期点検要領(国土交通省)】

区 分		状 態	考 え 方
I	健 全	道路橋の機能に支障が生じていない状態。	監視や対策を行う必要のない状態
II	予防保全段階	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。	状況に応じて、監視や対策を行うことが望ましい状態
III	早期措置段階	道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。	早期に監視や対策を行う必要がある状態
IV	緊急措置段階	道路橋の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。	緊急に対策を行う必要がある状態

※評価区分の変換(参考)

道路橋定期点検要領(国土交通省)に定めている健全度の評価区分(4段階)と、秋田県及び国土技術政策総合研究所(以下「国総研」という)での評価区分(5段階)に違いがあるため、橋梁定期点検で使用している「橋梁点検業務検査結果報告書作成要領(案)」(市町村橋梁等長寿化連絡協議会)に基づき以下の通り変換するものとする。

国交省区分	国総研, 秋田県区分
I	a, b (A, B)
II	c (C)
III	d (D)
IV	e (E)

次頁に「橋梁点検業務検査結果報告書作成要領(案)」P4～P7を添付。

## 5. 健全性の診断

定期点検では、部材単位の健全性の診断と道路橋毎の健全性の診断を行っており、「国土交通省」に報告する健全度と「秋田県」及び「国土技術政策総合研究所」（以下「国総研」という）で示されている健全度の評価判定が「国土交通省」では4段階、「秋田県」及び「国総研」では5段階評価となっている。

このことから、定期点検は「秋田県」又は「国総研」の基準で行っていることが多く、「国土交通省」の報告書への変換が必要となる。

### (1) 部材単位の健全度の診断

区分	状態	考え	方
I 健全	道路橋の機能に支障が生じていない状態。	監視や対策を行う必要のない状態	
II 予防保全段階	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。	状況に応じて、監視や対策を行うことが望ましい状態	
III 早期措置段階	道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。	早期に監視や対策を行う必要がある状態	
IV 緊急措置段階	道路橋の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。	緊急に対策を行う必要がある状態	

【判定区分：秋田県橋梁点検マニュアル】

区分	概念	一般的状況
A	【良好】	損傷が特に認められない
B	【ほぼ良好】	損傷が小さい
C	【軽度】	損傷がある
D	【顕著】	損傷が大きい
E	【深刻】	損傷が非常に大きい

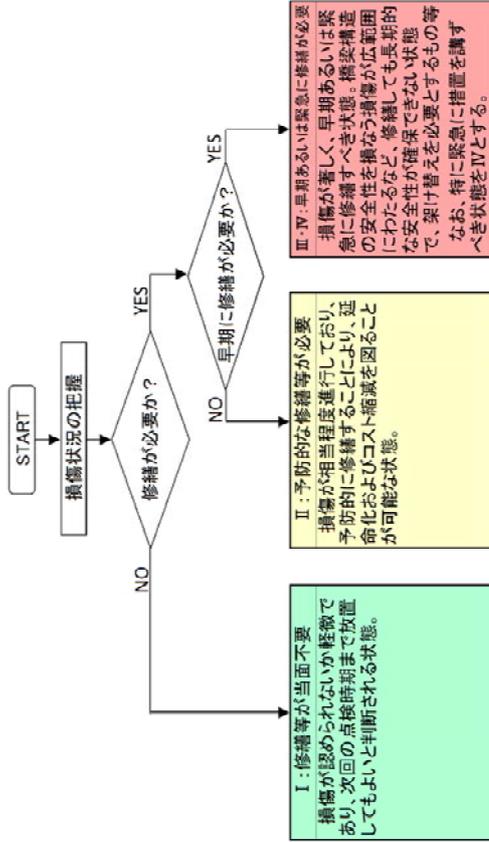
### (2) 健全度区分の変換

#### 1) 健全度の評価

(イ) 健全度区分の検討  
本要領では「道路橋定期点検要領（平成26年6月：国土交通省 道路局）」をもとに、橋梁の各部材を以下の健全度に分類した。

- ① 健全度区分 I（修繕等が当面不要）  
損傷が認められないか軽微であり、回目の点検時期まで放置してもよいと判断される状態。
- ② 健全度区分 II（予防的な修繕が必要）  
損傷が相当程度進行しており、予防的に修繕することにより、延命化およびコスト削減を図ることが可能な状態。

- ③ 健全度区分 III・IV（早期あるいは緊急に修繕が必要）  
健全度区分 III・IVとは、損傷が著しく、早期あるいは緊急に修繕すべき状態。橋梁構造の安全性を損なう損傷が広範囲にわたるなど、修繕しても長期的な安全性が確保できない状態を講ずべき状態とするもの等も含む。  
なお、特に緊急に措置を講ずべき状態を IV とする。



#### (ロ) 健全度ごとの損傷形態

前項で選定した健全度において、点検結果から考えられる損傷形態について健全度区分の細分類を行う。「道路橋」に関する基礎データ収集要領（案）」をもとに設定した健全度ごとの損傷形態を示す。

なお、健全度区分 I は損傷が軽微または確認されない状態で、当該損傷に対して当面対策が不要であるため、損傷形態による細分類は行わない。

健全度ごとの損傷形態一覧表 (2)

健全度	対象部材	損傷形態	損傷内容	損傷評価面(国総研)
II	鋼製主構・主桁及び鋼床版	II	表面的な錆が広範囲に広がっている。	腐食:c
	コンクリート床版(鋼橋)	II	0.2mm程度の格子状ひびわれが発生している状態で漏水・遊離石灰は確認出来ない。または一方向ひびわれであるが、漏水・遊離石灰が確認できる状態。	主桁ひびわれ:c
	コンクリート主桁・床版(コンクリート橋)	II	漏水・遊離石灰を伴わない影響の大きいひびわれの状態(0.2mm以下も含む)。または、影響の小さいひびわれが漏水や遊離石灰を伴っている状態。	主桁ひびわれ:c
	下部工(コンクリート)	II	0.2mm程度の格子状ひびわれが発生している状態で漏水・遊離石灰は確認出来ない。または、一方向ひびわれであるが、漏水・遊離石灰が確認できる状態。	床版ひびわれ:c
	下部工(コンクリート)	II	漏水・遊離石灰を伴わない影響の大きいひびわれの状態(0.2mm以下も含む)。または、影響の小さいひびわれが漏水や遊離石灰を伴っている状態。	下部工ひびわれ:c
	支承	II	表面的な錆が広範囲に広がっている。	腐食:c
	伸縮装置	II	予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。	支承の機能障害:有
	高欄・防護柵	II	伸縮装置部の段差(20mm以上)、鋼製伸縮装置の破断・脱落が見られる。	機能障害:有
	地震	II	板厚減少を伴う著しい腐食、ビームの破断等、大きく事故を誘発する可能性が高い状態。	機能障害:有
	舗装	II	著しい鉄筋の腐食を伴う鉄筋露出。20mm程度以上(走行に支障が有り明らかにわかる程度)の段差がある。	機能障害:有 路面の凹凸:有
I	全部材	II	上記に該当しない損傷。	個別検討
	全部材	I	損傷が軽微または確認されない状態。	上記の評価以外

(ハ) 健全度ごとの損傷形態一覧表 (1)

健全度	対象部材	損傷形態	損傷内容	損傷評価面(国総研)
II・IV	鋼製主構・主桁及び鋼床版	III・IV	広範囲(e)または局部的(d)に板厚減少、鋼材表面の著しい膨張がみられる。	腐食:e,d
		III・IV	明らかに亀裂を生じている。亀裂の疑いのある塗膜割れが生じている。	亀裂:有
		III・IV	ボルトの脱落がある。(本数の多寡によらない)	ボルトの抜け落ち:有
		III・IV	破断している。(部材がつかっている場合は亀裂)	破断:有
		III・IV	連続的な角落ちがみられ、漏水・遊離石灰が確認できる状態(e)または、0.2mm程度の格子状ひびわれが発生しており、漏水・遊離石灰が確認できる状態。	床版ひびわれ:e,d
	コンクリート床版(鋼橋)	III・IV	0.2mm以上のひびわれが目立ち、部分的な角落ちが見られるが、漏水・遊離石灰は確認できない状態。(d)	鉄筋露出:有 抜け落ち:有
		III・IV	広範囲に鋼材断面の減少、鋼材の著しい膨張が見られる。	主桁ひびわれ:e,d
		III・IV	コンクリート塊の抜け落ちがある。	
		III・IV	影響の大きい0.2mm以上のひびわれから著しい遊離石灰・錆汁が発生している。(e)	
		III・IV	また、影響の大きい0.2mm以上のひびわれが、漏水や軽微な遊離石灰を伴っている状態。(d)	
	コンクリート主桁・床版(コンクリート橋)	III・IV	影響の小さい0.2mm以上のひびわれが著しい遊離石灰・錆汁を伴っている状態。	床版ひびわれ:e,d
		III・IV	連続的な角落ちがみられ、漏水・遊離石灰が確認できる状態(e)または、0.2mm程度の格子状ひびわれが発生しており、漏水・遊離石灰が確認できる状態。(d)	鉄筋露出:有 抜け落ち:有
		III・IV	0.2mm以上のひびわれが目立ち、部分的な角落ちが見られるが、漏水・遊離石灰は確認できない状態。(d)	高:有
		III・IV	広範囲に鋼材断面の減少、鋼材の著しい膨張が見られる。	
		III・IV	コンクリート塊の抜け落ちがある。	
下部工(コンクリート)	III・IV	PCケーブル定着部の損傷(程度によらない)、PCケーブルの損傷。	下部工ひびわれ:e,d	
	III・IV	影響の大きい0.2mm以上のひびわれから著しい遊離石灰・錆汁が発生している。(e)		
	III・IV	または、影響の大きい0.2mm以上のひびわれが、漏水や軽微な遊離石灰を伴っている状態。		
	III・IV	影響の小さい0.2mm以上のひびわれが著しい遊離石灰・錆汁を伴っている状態。(d)		
	III・IV	広範囲に鋼材断面の減少、鋼材の著しい膨張が見られる。	鉄筋露出:有 常:有	
下部工(鋼製)	III・IV	PCケーブル定着部の損傷(程度によらない)、PCケーブルの損傷。	腐食:e,d	
	III・IV	広範囲(e)または局部的(d)に板厚減少、鋼材表面の著しい膨張がみられる。	亀裂:有	
	III・IV	ボルトの脱落がある。(本数の多寡によらない)	ボルトの抜け落ち:有	
	III・IV	破断している。(部材がつかっている場合は亀裂)	破断:有	
	III・IV	著しく劣化されている。沈下・移動・傾斜のいずれがある。	下部工の変状:有 支承の機能障害:有	
全部材	III・IV	上記に該当しない損傷。	個別検討	

### 2-3. 橋梁種別毎の損傷度評価

八峰町が管理する橋梁の大半はコンクリート橋で約76%(N=56橋 BOX, C含む)を占め、鋼橋の割合は約24%(N=18橋)となっている。橋梁の種類別に損傷度を見てみると、評価Ⅲのコンクリート橋が14橋(25%)、鋼橋で2橋(11%)となっており、部材毎の評価を見てもそれほど広範囲に損傷が進行している状況ではないと判断出来る。

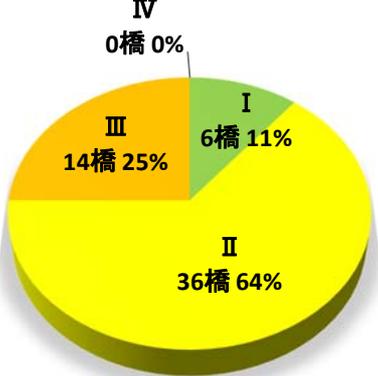
また、本町は日本海沿岸に沿った地域であり、塩害の影響を受けるとされる範囲(海岸線から700m)内に架けられている橋梁は30橋存在するが、塩害が主たる要因と考えられる著しい損傷や変状は確認されていない。

コンクリート橋の損傷度評価別橋梁数(BOX, C含む)

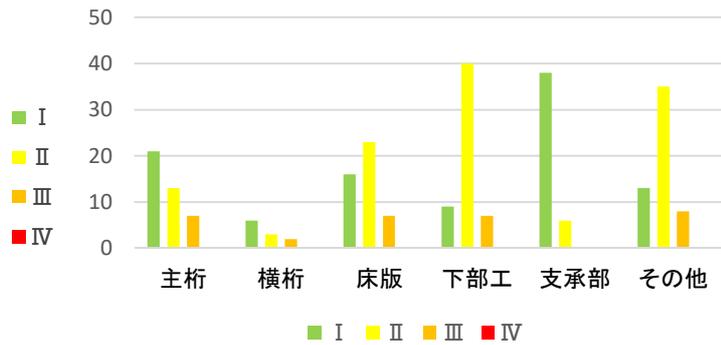
(単位:橋)

評価	橋梁全体	部 材 名						備 考
		主桁	横桁	床版	下部工	支承部	その他	
I	6	21	6	16	9	38	13	
II	36	13	3	23	40	6	35	
III	14	7	2	7	7	0	8	
IV	0	0	0	0	0	0	0	
計	56	41	11	46	56	44	56	

【コンクリート橋の損傷度評価】



【コンクリート橋の部材別損傷度評価】



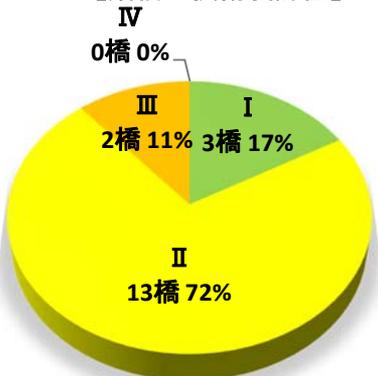
鋼橋の損傷度評価別橋梁数

(単位:橋)

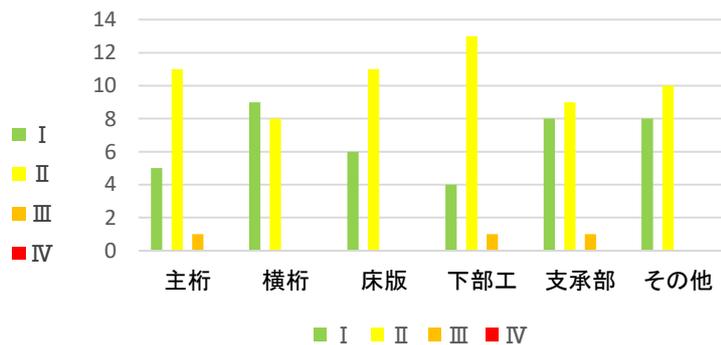
評価	橋梁全体	部 材 名						備 考
		主桁	横桁	床版	下部工	支承部	その他	
I	3	5	9	6	4	8	8	
II	13	11	8	11	13	9	10	
III	2	1	0	0	1	1	0	
IV	0	0	0	0	0	0	0	
計	18	17	17	17	18	18	18	

※あきた白神駅歩道橋の主桁、横桁、床版については、目視確認が出来ていないため、部材毎の評価には含んでいない。

【鋼橋の損傷度評価】



【鋼橋の部材別損傷度評価】



2-4. 変状の種類別の区分

損傷の主な原因として追及するため、変状を種類別に集計して見てみると、鋼橋における鋼部材(支承含む)の劣化はすべて腐食が原因となっており、コンクリート部材はひびわれ、剥離・鉄筋露出、漏水・遊離石灰が主な原因となっている。

その他の路面については、路面の凹凸が主な原因(評価Ⅱ)となっている。

Ⅲ 評価橋梁

上部工(鋼橋) (単位:橋)

変状の種類	主桁・横桁
腐食	1
亀裂	0
破断	0
計	1

上部工(コンクリート橋) (単位:橋)

変状の種類	主桁・横桁
ひびわれ	4
剥離・鉄筋露出	3
漏水・遊離石灰	0
変形・欠損	1
定着部の異常	0
計	8

床版・下部工 (単位:橋)

変状の種類	床版	下部工
床版ひびわれ・ひびわれ	0	4
剥離・鉄筋露出	2	1
漏水・遊離石灰	4	2
漏水・滞水	0	0
うき	1	0
変形・欠損	0	1
沈下・移動・傾斜	0	0
洗掘	0	0
計	7	8

支承部 (単位:橋)

変状の種類	支承
腐食	1
剥離・鉄筋露出	0
ゆるみ・脱落	0
変色劣化	0
変形・欠損	0
計	1

その他(路面) (単位:橋)

変状の種類	路面
路面の凹凸	0
抜け落ち	0
舗装の異常	0
うき	0
伸縮装置の異常	0
計	0

【主桁(鋼橋)】



【床版】



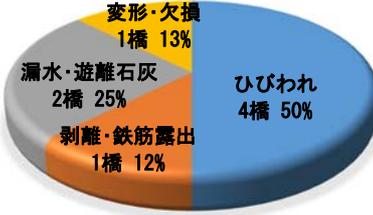
【支承部】



【主桁(コンクリート橋)】



【下部工】



## II 評価橋梁

上部工(鋼橋) (単位:橋)

変状の種類	主桁・横桁
腐食	11
亀裂	0
破断	0
計	11

上部工(コンクリート橋) (単位:橋)

変状の種類	主桁・横桁
ひびわれ	4
剥離・鉄筋露出	6
漏水・遊離石灰	4
変形・欠損	0
定着部の異常	1
計	15

床版・下部工 (単位:橋)

変状の種類	床版	下部工
床版ひびわれ・ひびわれ	12	28
剥離・鉄筋露出	8	10
漏水・遊離石灰	14	10
漏水・滞水	0	1
うき	0	4
変形・欠損	0	0
沈下・移動・傾斜	0	0
洗掘	0	0
計	34	53

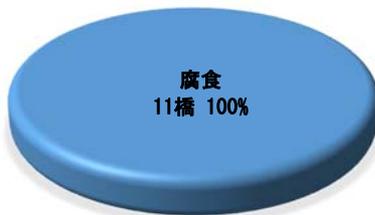
支承部 (単位:橋)

変状の種類	支承
腐食	10
剥離・鉄筋露出	1
ゆるみ・脱落	1
変色劣化	3
変形・欠損	0
計	15

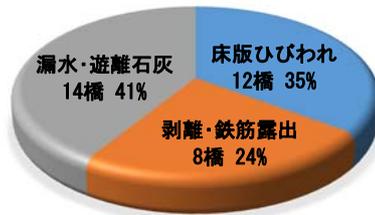
その他(路面) (単位:橋)

変状の種類	路面
路面の凹凸	10
抜け落ち	0
舗装の異常	5
うき・剥離	1
伸縮装置の異常	0
計	16

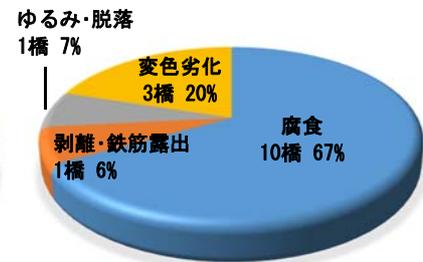
【主桁(鋼橋)】



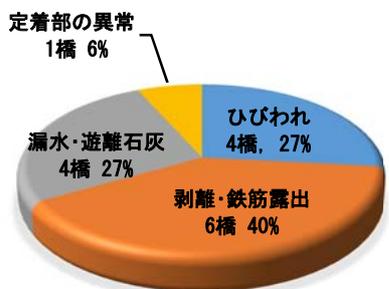
【床版】



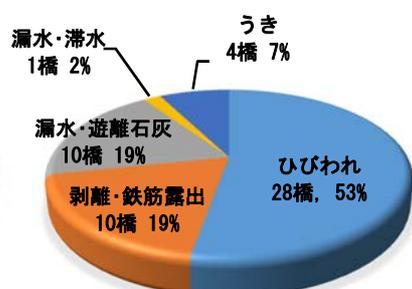
【支承部】



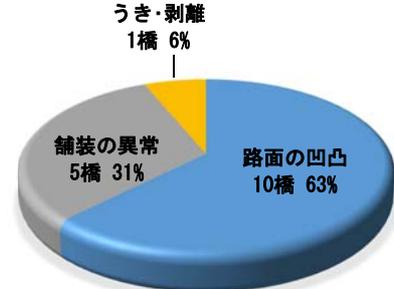
【主桁(コンクリート橋)】



【下部工】



【その他(路面)】



2-5. 損傷度評価一覧表

区分	整理番号	橋梁名	形式	点検年度	損傷度評価												備考		
					橋梁毎の評価	主桁		横桁		床版		下部構造		支承部		その他			
						判定区分	変状の種類	判定区分		変状の種類	その他部材								
	1	田中橋	鋼溶接・H形鋼不明	R1	II	I	変状無し	I	変状無し	II	剥離・鉄筋露出	I	変状無し	II	ゆるみ・脱落	I	変状無し		H30, H31補修工事
	2	神津橋	鋼溶接・H形鋼不明	R1	III	I	腐食	I	変状無し	II	床版ひびわれ	III	ひびわれ	II	腐食	I	変状無し		R2補修設計 R4補修工事
	3	仲村橋	鋼溶接・H形鋼不明	R1	I	I	変状無し		H25補修設計 H26補修工事										
	4	橋橋	鋼溶接・H形鋼不明	R1	I	I	変状無し		H26補修設計 H27補修工事										
	5	苗吉橋	鋼溶接・H形鋼不明	R1	III	III	腐食	II	腐食	II	剥離・鉄筋露出	II	ひびわれ	III	腐食	II	漏水	伸縮装置	R2補修設計 R4補修工事
	6	向田面橋	鋼溶接・H形鋼不明	R1	I	I	変状無し		H28補修設計 R1補修工事										
	7	日和見橋	PC・ボステント桁	R1	III	II	剥離・鉄筋露出	III	ひびわれ	I	変状無し	II	ひびわれ	I	変状無し	II	舗装の異常	路面	H30補修設計 R1補修工事
	8	水沢橋	PC・ボステント中空床版	R1	III	III	ひびわれ	-	横析なし	II	床版ひびわれ	II	剥離・鉄筋露出	II	点検不可	II	路面の凹凸	路面	H28補修設計 H30補修工事
	9	欄干橋	鋼溶接・H形鋼不明	R1	II	II	腐食	II	腐食	II	剥離・鉄筋露出	II	剥離・鉄筋露出	II	腐食	II	路面の凹凸	路面	R4補修設計 R5補修工事予定
	10	白神橋	鋼溶接・I桁不明	R1	II	II	腐食	I	変状無し	II	床版ひびわれ	II	ひびわれ	I	変状無し	I	変状無し		
	11	白神大橋	鋼溶接・I桁不明	R1	II	II	腐食	II	剥離・鉄筋露出	II	床版ひびわれ	II	ひびわれ	I	変状無し	I	変状無し		
	12	小入川橋	PC・プレテント床版	R1	II	II	剥離・鉄筋露出	-	横析なし	II	床版ひびわれ	II	ひびわれ	II	剥離・鉄筋露出	I	変状無し		H26補修設計 H27補修工事
	13	白瀑橋	PC・プレテント桁	R1	II	II	剥離・鉄筋露出	II	剥離・鉄筋露出	II	漏水・遊離石灰	II	ひびわれ	I	変状無し	I	変状無し		
	14	尼子橋	鋼溶接・箱桁不明	R1	II	II	腐食	I	変状無し	II	床版ひびわれ	II	ひびわれ	II	腐食	I	変状無し		
	15	畑谷橋	鋼溶接・I桁不明	R1	II	II	腐食	II	腐食	II	漏水・遊離石灰	II	漏水・遊離石灰	II	腐食	II	路面の凹凸	路面	
	16	天童岩子新橋	鋼溶接・H形鋼不明	R1	II	II	腐食	II	腐食	I	変状無し	II	ひびわれ	II	腐食	II	漏水	伸縮装置	
	17	高寺下橋	鋼溶接・H形鋼不明	R1	II	II	腐食	II	腐食	I	変状無し	II	漏水・滞水	II	腐食	II	漏水	伸縮装置	
	18	奥の台橋	鋼溶接・I桁不明	R1	II	II	腐食	II	腐食	II	床版ひびわれ	II	ひびわれ	II	腐食	II	ボルトの脱落	防護柵	
	19	大畑田橋	鋼溶接・H形鋼不明	R1	II	II	腐食	II	腐食	II	剥離・鉄筋露出	II	漏水・遊離石灰	II	腐食	II	変形・脱落	防護柵	
	20	小手萩橋	PC・ボステント桁	R1	I	I	変状無し												
	21	南夏井橋	PC・プレテント桁	R1	I	I	変状無し												
	22	夏井沢橋	PC・プレテント桁	R1	II	II	変状無し	II	定着部の異常	I	変状無し	I	変状無し	I	変状無し	II	路面の凹凸	路面	
	23	濁川橋	PC・プレテント中空床版	R1	II	II	変状無し	-	横析なし	II	漏水・遊離石灰	II	漏水・遊離石灰	I	変状無し	II	路面の凹凸	路面	
	24	川向橋	RC・RC中空床版橋	R1	III	III	剥離・鉄筋露出	-	横析なし	-	床版なし	III	ひびわれ	I	変状無し	III	剥離・鉄筋露出	地覆	R3補修工事
	25	向橋	RC・RC中空床版橋	R1	II	I	変状無し	-	横析なし	-	床版なし	II	うき	I	変状無し	II	ひびわれ	地覆	

※定期点検 (H29年度～R3年度) 結果より

2-5. 損傷度評価一覧表

区分	整理番号	橋梁名	形式	点検年度	損傷度評価												備考		
					橋梁毎の評価		主桁		横桁		床版		下部構造		支承部			その他	
					判定区分	変状の種類	判定区分	変状の種類	判定区分	変状の種類	判定区分	変状の種類	判定区分	変状の種類	判定区分	変状の種類		判定区分	変状の種類
	26	内荒巻橋	RC・RC中実床版橋	R1	Ⅲ	変状無し	-	横桁なし	-	床版なし	Ⅲ	漏水・遊離石灰	Ⅲ	変色劣化	Ⅲ	漏水	伸縮装置	R3補修設計 R4補修工事	
	27	北夏井橋	PC・PC床版橋(その他)	R1	Ⅲ	ひびわれ	-	横桁なし	-	漏水・遊離石灰	Ⅲ	ひびわれ	Ⅲ	変状無し	Ⅲ	漏水	伸縮装置	R2補修工事	
	28	第2北夏井橋	PC・PC床版橋(その他)	R1	Ⅲ	漏水・遊離石灰	-	横桁なし	-	漏水・遊離石灰	Ⅲ	変形・欠損	Ⅲ	変状無し	Ⅲ	漏水	伸縮装置	R2補修工事	
	29	磯村橋	RC・RC1橋	R1	Ⅱ	変状無し	Ⅰ	変状無し	Ⅰ	漏水・遊離石灰	Ⅱ	ひびわれ	Ⅱ	変状無し	Ⅱ	漏水	伸縮装置	H27補修設計 H28補修工事	
	30	新川橋	RC・RC中実床版橋	R1	Ⅰ	変状無し	-	横桁なし	-	床版なし	Ⅰ	変状無し	Ⅰ	変状無し	Ⅰ	変状無し		H27補修設計 H28補修工事	
	31	治助川橋	RC・RC中実床版橋	R1	Ⅰ	変状無し	-	横桁なし	-	床版なし	Ⅰ	変状無し	Ⅰ	変状無し	Ⅰ	変状無し		H27補修設計 H28補修工事	
	32	狭田川橋	RC・RC中実床版橋	R1	Ⅲ	主桁なし	-	横桁なし	-	うき	Ⅲ	ひびわれ	Ⅲ	変状無し	Ⅱ	路面の凹凸	路面	H27補修設計 H29補修工事	
	33	上の川橋	PC・プレテン中空床版	R1	Ⅲ	剥離・鉄筋露出	-	横桁なし	-	漏水・遊離石灰	Ⅲ	漏水・遊離石灰	Ⅱ	変状無し	Ⅲ	漏水	伸縮装置	H30補修設計 R2補修工事	
	34	本館橋	RC・RC中実床版橋	R1	Ⅲ	変形・欠損	-	横桁なし	-	床版なし	-	ひびわれ	Ⅱ	変状無し	Ⅱ	剥離・鉄筋露出	地覆	R1補修設計 R2補修工事	
	35	高野々橋	RC・RC中実床版橋	R1	Ⅲ	主桁なし	-	横桁なし	-	漏水・遊離石灰	Ⅲ	漏水・遊離石灰	Ⅲ	変状無し	Ⅱ	剥離・鉄筋露出	地覆	R1補修設計 R2補修工事	
	36	寺下橋	RC・RC1橋	R1	Ⅰ	変状無し	Ⅰ	変状無し	Ⅰ	変状無し	Ⅰ	変状無し	Ⅰ	変状無し	Ⅰ	変状無し			
道	37	大久保岱沢橋	PC・プレテン中空床版	R1	Ⅱ	変状無し	-	横桁なし	-	変状無し	Ⅰ	ひびわれ	Ⅱ	変状無し	Ⅲ	漏水	伸縮装置		
路	38	大久保岱橋	PC・プレテン中空床版	R1	Ⅱ	変状無し	-	横桁なし	-	変状無し	Ⅰ	うき	Ⅱ	変状無し	Ⅲ	ひびわれ・うき	地覆		
橋	39	横内橋	RC・RC1橋	R1	Ⅱ	ひびわれ	Ⅰ	変状無し	Ⅰ	変状無し	Ⅰ	ひびわれ	Ⅱ	腐食	Ⅰ	変状無し			
	40	寺ノ沢新橋	PC・プレテン床版	R1	Ⅱ	変状無し	-	横桁なし	-	変状無し	Ⅰ	ひびわれ	Ⅱ	変状無し	Ⅱ	防食機能劣化	防護柵		
	41	小母谷橋	PC・プレテン床版	R1	Ⅱ	漏水・遊離石灰	-	横桁なし	-	漏水・遊離石灰	Ⅱ	ひびわれ	Ⅱ	変状無し	Ⅱ	漏水	伸縮装置		
	42	湯の尻橋	RC・RC中実床版橋	R1	Ⅱ	ひびわれ	-	横桁なし	-	床版なし	-	剥離・鉄筋露出	Ⅱ	変状無し	Ⅱ	腐食	防護柵		
	43	寺の後橋	RC・RC中実床版橋	R1	Ⅱ	剥離・鉄筋露出	-	横桁なし	-	床版なし	-	剥離・鉄筋露出	Ⅱ	変状無し	Ⅱ	舗装の異常	路面		
	44	白瀬1号橋	PC・プレテン中空床版	R1	Ⅱ	ひびわれ	-	横桁なし	-	変状無し	Ⅰ	ひびわれ	Ⅱ	変状無し	Ⅱ	ひびわれ	地覆		
	45	平沢橋	RC・RC中実床版橋	R1	Ⅱ	主桁なし	-	横桁なし	-	床版ひびわれ	Ⅱ	剥離・鉄筋露出	Ⅱ	変色劣化	Ⅱ	舗装の異常	路面		
	46	観海橋	PC・プレテン床版	R1	Ⅲ	ひびわれ	-	横桁なし	-	床版ひびわれ	Ⅱ	剥離・鉄筋露出	Ⅲ	変状無し	Ⅱ	路面の凹凸	路面	R3補修設計 R4補修工事	
	47	白瀬2号橋	PC・プレテン床版	R1	Ⅱ	漏水・遊離石灰	-	横桁なし	-	漏水・遊離石灰	Ⅱ	ひびわれ	Ⅱ	変状無し	Ⅱ	遊離石灰	地覆		
	48	白瀬3号橋	PC・プレテン床版	R1	Ⅱ	漏水・遊離石灰	-	横桁なし	-	変状無し	Ⅰ	ひびわれ	Ⅱ	変状無し	Ⅱ	遊離石灰	地覆		
	49	新浜田橋	RC溝橋(BOXカルバート)	R1	Ⅱ	主桁なし	-	横桁なし	-	漏水・遊離石灰	Ⅱ	漏水・遊離石灰	Ⅱ	支承なし	Ⅱ	舗装の異常	路面		
	50	山内新橋	PC・PC桁橋その他	R1	Ⅱ	ひびわれ	-	横桁なし	-	床版ひびわれ	Ⅱ	ひびわれ	Ⅱ	変状無し	Ⅱ	ひびわれ	地覆	H25補修設計 H26補修工事	

※定期点検(H29年度～R3年度)結果より

2-5. 損傷度評価一覧表

区分	整理番号	橋梁名	形式	点検年度	橋梁毎の評価	損傷度評価												備考
						主桁		横桁		床版		下部構造		支承部		その他		
						判定区分	変状の種類	判定区分	変状の種類	判定区分	変状の種類	判定区分	変状の種類	判定区分	変状の種類	判定区分	変状の種類	
	51	茂浦浜橋	RC・RC中実床版橋	R1	III	-	主桁なし	-	横桁なし	III	剥離・鉄筋露出	II	剥離・鉄筋露出	I	変状無し	I	変状無し	
	52	大持橋	RC溝橋(BOXカルバート)	R1	II	-	主桁なし	-	横桁なし	II	剥離・鉄筋露出	II	剥離・鉄筋露出	-	支承なし	II	ひびわれ	地覆
	53	ウルの沢橋	RCT橋	R1	III	III	剥離・鉄筋露出	III	ひびわれ	II	ひびわれ	II	ひびわれ	II	腐食	III	漏水が顕著	伸縮装置
	54	小釜沢橋	RC溝橋(BOXカルバート)	R1	II	I	変状無し	-	横桁なし	-	床版なし	II	ひびわれ	II	支承なし	II	ひびわれ	地覆
	55	奥入瀬橋	RC溝橋(BOXカルバート)	R1	II	-	主桁なし	-	横桁なし	II	漏水・遊離石灰	II	漏水・遊離石灰	-	支承なし	I	変状無し	
	56	嘉治助台橋	RC溝橋(BOXカルバート)	R1	II	-	主桁なし	-	横桁なし	II	剥離・鉄筋露出	II	剥離・鉄筋露出	-	支承なし	II	剥離・鉄筋露出	地覆
	57	茂浦橋	RC溝橋(BOXカルバート)	R1	II	-	主桁なし	-	横桁なし	II	漏水・遊離石灰	II	剥離・鉄筋露出	-	支承なし	II	ひびわれ	地覆
	58	中浜橋	RC溝橋(BOXカルバート)	R1	II	-	主桁なし	-	横桁なし	II	床版ひびわれ	II	うき	-	支承なし	II	腐食・亀裂	防護柵
	59	鯨橋	RC溝橋(BOXカルバート)	R1	II	-	主桁なし	-	横桁なし	I	変状無し	II	ひびわれ	II	支承なし	II	路面の凹凸	路面
	60	大岱橋	PC・プレテン中空床版	R1	I	I	変状無し	-	横桁なし	I	変状無し	I	変状無し	I	変状無し	II	漏水	伸縮装置
	61	強坂橋	RC溝橋(BOXカルバート)	R1	II	I	変状無し	-	横桁なし	-	床版なし	II	ひびわれ	-	支承なし	II	欠損	地覆
	62	浜田橋	RC・RC中実床版橋	R1	II	-	主桁なし	-	横桁なし	II	剥離・鉄筋露出	II	剥離・鉄筋露出	-	支承なし	I	変状無し	H24補修工事
	63	門の沢橋	RC溝橋(BOXカルバート)	R1	II	-	主桁なし	-	横桁なし	II	剥離・鉄筋露出	I	変状無し	-	支承なし	II	路面の凹凸	路面
	64	杉の沢橋	PC・PC桁橋その他	R1	II	I	変状無し	II	剥離・鉄筋露出	II	漏水・遊離石灰	II	漏水・遊離石灰	I	変状無し	II	漏水	伸縮装置
	65	雪沢橋	RC・RC中実床版橋	R1	II	-	主桁なし	-	横桁なし	I	変状無し	II	漏水・遊離石灰	I	変状無し	II	路面の凹凸	路面
	66	竜田橋	PC・プレテン床版	R1	II	I	変状無し	-	横桁なし	I	変状無し	II	ひびわれ	I	変状無し	II	腐食・亀裂	防護柵
	67	寺沢橋	PC・プレテン中空床版	R1	II	I	変状無し	-	横桁なし	II	漏水・遊離石灰	II	ひびわれ	I	変状無し	II	変形・防食機能劣化	防護柵
	68	チゴキ橋	PC・プレテン床版	R3	II	II	剥離・鉄筋露出	-	横桁なし	II	漏水・遊離石灰	II	剥離・鉄筋露出	II	変色劣化	II	剥離	地覆
	69	峰浜高架橋	鋼溶接・I桁合成	H29	II	II	腐食	I	変状無し	II	床版ひびわれ	II	ひびわれ	I	変状無し	II	舗装の異常	路面
	70	滝の上橋	RC・RC床版橋(その他)	H30	II	-	主桁なし	-	横桁なし	I	変状無し	II	漏水・遊離石灰	I	変状無し	I	変状無し	
	71	ふれあい橋さわめ	鋼溶接・I桁不明	R3	II	I	変状無し	I	変状無し	I	変状無し	II	ひびわれ	I	変状無し	II	腐食	外装板
	72	岩小歩道橋	PC・プレテンT桁	H29	III	I	変状無し	I	変状無し	III	剥離・鉄筋露出	I	変状無し	I	変状無し	I	変状無し	R0修繕・耐震補強予定
	73	あきた白神駅歩道橋	鋼溶接・I桁不明	H30	II	-	点検不可	-	点検不可	-	点検不可	II	ひびわれ	I	変状無し	II	欠損	排水管
	74	観小歩道橋	PC・プレテン床版	H30	II	I	変状無し	-	横桁なし	II	漏水・遊離石灰	II	うき	I	変状無し	II	うき・剥離	路面

※定期点検(H29年度～R3年度)結果より

## 2-6. 早期に措置を講ずべき橋梁

橋梁定期点検結果(H29～R3)では、早期に措置を講ずべき状態にある橋梁(評価Ⅲ)は以下の16橋であるが、その内11橋については補修工事済み(補修工事中)である。

評価Ⅲの橋梁のほとんどはコンクリート橋で、変状の種類としてはひびわれ、剥離・鉄筋露出、漏水・遊離石灰の3つに集中している。

### 早期に措置を講ずべき橋梁

整理番号	橋梁名	形式	架設年次	評価Ⅲの部材	変状の種類	備考
2	神陣橋	鋼溶接・H形鋼不明	1978	下部工	ひびわれ	R4補修工事中
5	苗吉橋	鋼溶接・H形鋼不明	1973	主桁、支承部	腐食	R4補修工事中
7	日和見橋	PC・ポステンT桁	1991	主桁	腐食	R1補修工事済み
8	水沢橋	PC・ポステン床版	1961	主桁	ひびわれ	H30補修工事・再劣化
24	川向橋	RC・RC中実床版橋	不明	主桁、下部工	剥離・鉄筋露出、ひびわれ	R3補修工事済み
26	内荒巻橋	RC・RC中実床版橋	1984	下部工	漏水・遊離石灰	R4補修工事中
27	北夏井橋	PC・PC床版橋(その他)	1953	主桁、床版、下部工	ひびわれ、漏水・遊離石灰	R2補修工事済み
28	第2北夏井橋	PC・PC床版橋(その他)	1953	床版、下部工	漏水・遊離石灰、変形・欠損	R2補修工事済み
32	狭田川橋	RC・RC中実床版橋	1955	床版、下部工	うき、ひびわれ	H29補修工事・再劣化
33	上の川橋	PC・プレテン中空床版	1981	主桁、床版	剥離・鉄筋露出、漏水・遊離石灰	R2補修工事済み
34	本館橋	RC・RC中実床版橋	1978	主桁	変形・欠損	R2補修工事済み
35	高野々橋	RC・RC中実床版橋	1968	床版、下部工	漏水・遊離石灰	R2補修工事済み
46	観海橋	PC・プレテン床版	1982	主桁、下部工	ひびわれ、剥離・鉄筋露出	R4補修工事中
51	茂浦浜橋	RC・RC中実床版橋	1976	床版	剥離・鉄筋露出	
53	ウルシ沢橋	RCT橋+PC中空床版	1963	主桁、横桁	剥離・鉄筋露出、ひびわれ	R2より交通規制(片側交互通行)
72	岩小歩道橋	PC・プレテンT桁	1977	床版	剥離、鉄筋露出	R8補修・耐震補強工事予定(設計済み)

※定期点検(H29年度～R3年度)結果より

次頁に橋梁毎の損傷状況写真を添付。

早期に措置を講ずべき橋梁の損傷状況(補修工事済み及び補修工事中の橋梁を除く)

橋梁名				8. 水沢橋			
橋梁名	目名濁大沢線	橋長	62.60 m	全幅員	5.60 m	架設年次	1961 年
路線名	PC・ボスレン床版						
形式	全 景						
側 面		正 面					
							
損傷写真							
部材名	主桁	変状の種類	ひびわれ	部材名	変状の種類	メモ	
メモ	主桁(PC桁)に、橋軸方向のひび割れ、漏水・遊離石灰が見られる。						

橋梁名				32. 狭田川橋			
橋梁名	岩館海岸線	橋長	4.05 m	全幅員	9.30 m	架設年次	1955 年
路線名	RC・RC中実床版橋						
形式	全 景						
側 面		正 面					
							
損傷写真							
部材名	床版	変状の種類	うき	部材名	下部工	変状の種類	ひびわれ
メモ	部分的にうきが見られる。						
部材名	メモ		メモ		ひびわれとうきが同一箇所が発生している。		

早期に措置を講ずべき橋梁の損傷状況(補修工事済み及び補修工事中の橋梁を除く)

橋梁名		51. 茂浦浜橋			
路線名	茂浦浜線	橋長	2.50 m	全幅員	5.44 m
形式	RC・RC中実床版橋		架設年次	1976 年	
全 景					
					
側 面			正 面		
損傷写真					
部材名	床版	変状の種類	剥離・鉄筋露出	部材名	変状の種類
メモ	広範囲の剥離・鉄筋露出がみられ、鉄筋は腐食している。			メモ	

橋梁名		53. ウルシ沢橋			
路線名	石川大野線	橋長	11.00 m	全幅員	9.80 m
形式	RC・RCT橋+PC・プレテン中空床版		架設年次	1963 年	
全 景					
					
側 面			正 面		
損傷写真					
部材名	主桁	変状の種類	剥離・鉄筋露出	部材名	変状の種類
メモ	広範囲の剥離・鉄筋露出、ひび割れ、うきがみられる。			メモ	0.2mm以上のひびわれと遊離石灰が見られる。
部材名	横桁	変状の種類	ひびわれ	部材名	ひびわれ

早期に措置を講ずべき橋梁の損傷状況(補修工事済み及び補修工事中の橋梁を除く)

72. 岩小歩道橋			
橋梁名	ノケソリ線	橋長	全幅員
	PC・プレテンT桁	21.70 m	3.50 m
路線名	架設年次	1977 年	
形式	全 景		
			
側 面		正 面	
損傷写真			
			
部材名	床版	変状の種類	剥離・鉄筋露出
メモ	終点側の間詰め床版部に部分的なうき、剥離、鉄筋露出がみられる。		
部材名	変状の種類	部材名	変状の種類
メモ		部材名	メモ
部材名	変状の種類	部材名	変状の種類
メモ		部材名	メモ

### 第3章 修繕計画の策定

# 1. 橋梁長寿命化計画の背景と目的

## 1-1. 背景

八森町と峰浜村が合併（H18）して誕生した八峰町は、秋田県北西部に位置し、東は県内唯一の世界自然遺産「白神山地」を有する藤里町、南は能代市、西は日本海、北は青森県に接しています。町の広大な森林は白神山地の一部で、秋田白神県立自然公園に指定されているエリアもある。また、起伏に富んだ八森地区の海岸も八森岩館県立自然公園に指定されています。このように、県内唯一の世界遺産と2つの県立自然公園を有する自然豊かなところが八峰町の特徴ともいえる「海」「里」「山」の地理的資源に恵まれ、心ともに豊かな町として発展して来た。

**鉄道** 東日本旅客鉄道：五能線 - 沢目駅 - 東八森駅 - 八森駅 - 滝ノ間駅 - あきた白神駅 - 岩館駅

**バス** 秋北バス：能代市 - 沢目駅 - 八峰町役場 - 八森駅 - 岩館駅

**道路** 一般国道：国道101号（道の駅みねはま、道の駅はちもり）

主要地方道：秋田県道63号常盤峰浜線

一般県道：秋田県道143号石川向能代線  
秋田県道154号椿台小入川線  
秋田県道209号塙川能代線

近年の我が国の社会情勢の変化にともない、本町においても、人口の流出、少子高齢化、1次産業の低迷と地方に共通する社会構造上の問題点を有しており、町の活性化に向けて多くの課題を抱えている。「海」「里」「山」の地域資源を農林水産業の復活及び観光産業知的産業等の発展の起爆剤として、それぞれの地域資源について有機的なネットワークを構築し有効活用していくことが最大の課題である。

このような状況において、橋梁をはじめとする道路構造物の老朽化とそれに伴う維持管理費用の増大が新たな問題として顕在化してきた。現在、町が管理している橋梁は74橋あり、そのうち橋梁の寿命といわれてきた50年を経過している橋梁は25橋（34%・供用年が不明な橋除く）で、20年後には48橋（65%）の橋梁が寿命を迎え、このまま老朽化が進むと大規模修繕や更新の費用が一時期に集中することや道路ネットワークの機能低下が懸念される。

## 1-2. 目的

長寿命化計画の目的としては、“町民の生活基盤の安定”や“生活の利便性の確保”のために「事後保全型」の管理手法から「予防保全型」の管理手法への転換を図り、効果的な橋梁の修繕計画を策定し、長期的維持管理コストの縮減を目指すものとする。



## 2. 修繕計画の策定方針

### 2-1. 修繕計画の基本方針

修繕計画を策定するにあたって、以下の基本方針に基づき計画するものとする。

#### 【修繕計画の基本方針】

- ・これまでの事後保全型(損傷が著しくなってから補修)の管理から、予防保全型(損傷が軽微なうちに修繕)の管理へ転換することを基本とする。
- ・対策時期及び予算にバラツキが生じないように、損傷状況からの健全度と社会的影響等からの重要度より優先度を検討し、単年度に対策が集中しないよう前倒しや先送りの調整を行い、対策の平準化を図る。
- ・今までの定期点検の結果、健全度評価Ⅲと診断された橋梁を最優先に補修を実施する計画とする。
- ・定期点検で新に対策が必要な橋梁(部材)が発見された場合には、優先的に対策を実施するものとし、点検結果に応じて修繕計画を更新する。

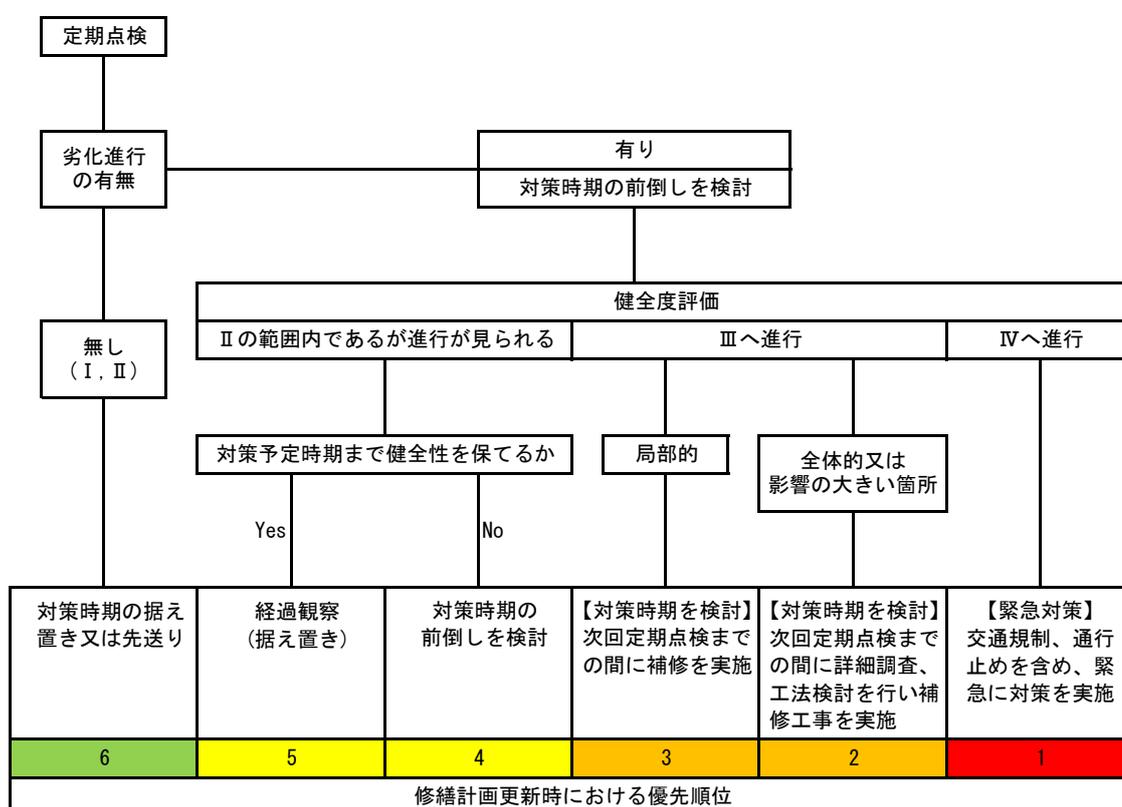
### 2-2. 修繕計画の更新方法

本計画では、あくまでも現時点での点検結果を基に予測した将来の劣化に対して対策を検討したものであるため、今後の定期点検で橋梁の劣化状態を再確認し、その都度計画を見直し、修正しながら効果的に対策を実施する必要がある。

#### (1) 定期点検において劣化進行が見られた場合の考え方

定期点検において劣化の進行が見られた場合、以下のフローを参考に修繕計画の再検討を行うものとする。

#### 【定期点検後の修繕計画の更新フロー】



(2) 健全度評価が同じ橋梁が複数確認された場合の考え方

健全度評価が同じ橋梁が複数確認された場合、損傷部材及び諸元重要度などから優先順位を決め、修繕計画に反映させるものとする。

損傷部材の優先順位

部材	順位
主桁	1
床版	2
下部工	3
支承	4

諸元重要度

項目	優先度(高い>低い)
交差条件	道路・鉄道>河川>水路>その他
橋長	長い>短い
適用示方書	古い>新しい
供用年数	古い>新しい
迂回路	無し>有り
路線区分	1級>2級>その他
海岸からの距離	近い>遠い

### 3. 維持管理方針

#### 3-1. 維持管理の基本方針

維持管理方法としては主に予防保全型と事後保全型に分けられ、以下のように定められている。

##### 「予防保全型」

点検に基づき損傷が軽微な段階で、小規模な補修工事を短いサイクルで行うなど、施設が致命的な損傷を受ける前に適切な対策を実施する。

また、コンクリート構造物の表面保護工などでは、損傷が生じる前に対策を実施する場合もある。

橋梁の床版補修を例にとると、定期点検で軽微なひび割れが確認できた時点で、通行規制を伴わない桁下から補修が可能である炭素繊維接着工法等による対策を行う。

##### 「事後保全型」:

損傷がある程度進行した段階で補修工事を行うなど、施設が要求される機能を喪失した時点、あるいは喪失する直前に対策を実施する。

橋梁の床版補修を例にとると、ひび割れの劣化がある程度進んだ段階で、通行規制を伴う上面増厚や打換え工法等による対策を行う。

(道路アセットマネジメントハンドブック P37)

橋梁長寿命化修繕計画では、大規模な損傷を受ける前に補修を行い延命を図るとともに、大規模工事による通行止めや長期にわたる交通規制など、道路利用者への負担軽減等を踏まえ、予防保全型での修繕を基本としている。

しかし小さい橋においては、下記の比較例のとおり事後保全型管理で行った方が経済的な場合もあるため、補修内容や補修回数にもよるが、予防保全型と事後保全型での修繕費用の削減効果はあまり変わらないため、各橋梁の特性を考慮し実施可能な維持管理方法を設定するものとする。

#### 【小規模橋梁の維持管理方針別の補修費比較(例)】

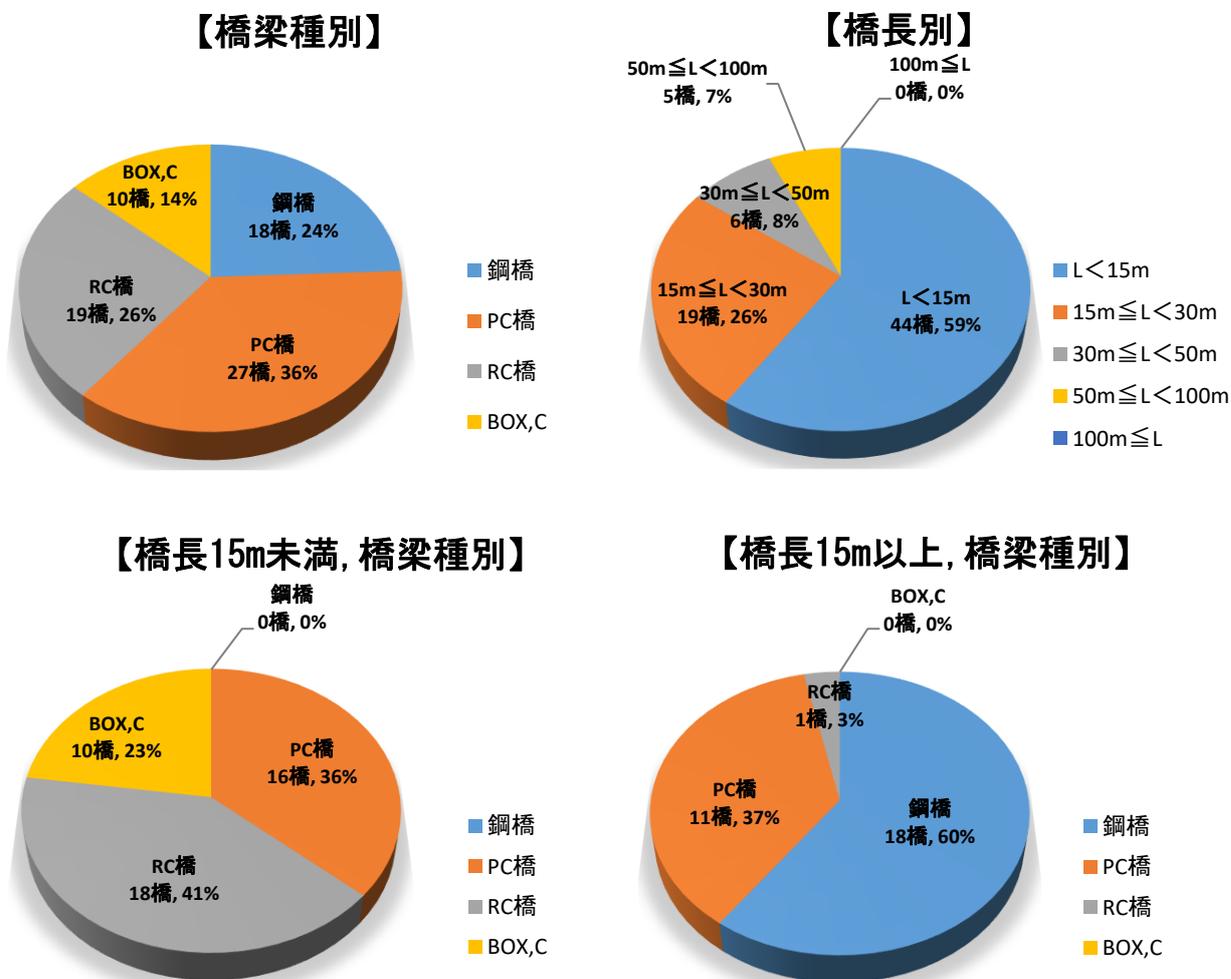
床版補修 B4.5m×L3.0m 架替えサイクル： 予防保全型=100年, 事後保全型=60年

維持管理区分	予防保全型	事後保全型
100年間での 想定される補修費	ひび割れ補修・断面修復 810千円/回 × 4回 = 3,240千円	ひび割れ補修・断面修復 930千円/回 × 2回 = 1,860千円
	炭素繊維接着 1,880千円/回 × 1回 = 1,880千円	炭素繊維接着 1,880千円/回 × 2回 = 3,760千円
調査費	300千円/回 × 2回 = 600千円	300千円/回 × 2回 = 600千円
設計費	1,500千円/回 × 4回 = 6,000千円	1,500千円/回 × 2回 = 3,000千円
架け替え費	17,000千円	17,000千円
費用計	28,720千円	26,220千円
備考	20年程度に1回補修すると想定	架け替え後、40年程度に1回補修すると想定

### 3-2. 橋梁の特性

計画対象橋梁N=74橋の特性を見てみると、15.0m未満の橋梁は44橋(59%)で、すべてコンクリート橋(ボックスカルバート含む)により建設されている。

橋長15m以上の橋梁については、半数以上が鋼橋(N=18橋, 60%)により建設されており、コンクリート橋では12橋中11橋がPC橋となっている。



橋梁種別と橋長

単位: 橋

種別	橋梁数	橋長別内訳					
		15m未満	15~30m未満	30~50m未満	50~100m未満	100m以上	
鋼橋	18	0	11	4	3	0	
Co橋	PC橋	27	16	7	2	2	0
	RC橋	19	18	1	0	0	0
ボックスカルバート	10	10	0	0	0	0	
計	74	44	19	6	5	0	

※次頁 橋梁規模一覧表参照。

橋梁規模一覧表

番号	橋梁名	形式	橋長 (m)	全幅員 (m)	番号	橋梁名	形式	橋長 (m)	全幅員 (m)
1	田中橋	鋼溶接・H形鋼不明	40.00	5.40	41	小母谷橋	PC・プレテン床版	10.00	6.80
2	神陣橋	鋼溶接・H形鋼不明	41.00	5.80	42	湯の尻橋	RC・RC中実床版橋	2.50	5.48
3	仲村橋	鋼溶接・H形鋼不明	15.00	6.00	43	寺の後橋	RC・RC中実床版橋	2.30	7.70
4	塙橋	鋼溶接・H形鋼不明	15.00	6.00	44	白瀑1号橋	PC・プレテン中空床版	10.10	7.21
5	苗吉橋	鋼溶接・H形鋼不明	17.60	5.80	45	平沢橋	RC・RC中実床版橋	11.10	5.25
6	向田面橋	鋼溶接・H形鋼不明	17.60	6.20	46	観海橋	PC・プレテン床版	10.44	11.20
7	日和見橋	PC・ポステンT桁	58.50	11.12	47	白瀑2号橋	PC・プレテン床版	7.85	5.42
8	水沢橋	PC・ポステン床版	62.60	5.60	48	白瀑3号橋	PC・プレテン床版	8.74	7.23
9	欄干橋	鋼溶接・H形鋼不明	16.50	4.80	49	新浜田橋	RC溝橋(BOXカルバート)	2.10	6.50
10	白神橋	鋼溶接・I桁不明	44.80	8.22	50	山内新橋	PC・PC桁橋その他	8.57	4.45
11	白神大橋	鋼溶接・I桁不明	40.00	8.22	51	茂浦浜橋	RC・RC中実床版橋	2.50	5.44
12	小入川橋	PC・プレテン床版	16.60	4.83	52	大持橋	RC溝橋(BOXカルバート)	4.00	7.05
13	白瀑橋	PC・プレテンT桁	19.70	8.20	53	ウルシ沢橋	RCT橋+PC中空床版	11.00	9.80
14	尼子橋	鋼溶接・箱桁不明	61.10	7.70	54	小釜沢橋	RC溝橋(BOXカルバート)	5.90	9.80
15	畑谷橋	鋼溶接・I桁不明+PC中空床版	20.40	9.20	55	奥入瀬橋	RC溝橋(BOXカルバート)	5.80	4.00
16	天童岩子新橋	鋼溶接・H形鋼不明	23.60	5.00	56	嘉治助台橋	RC溝橋(BOXカルバート)	2.40	18.20
17	高寺下橋	鋼溶接・H形鋼不明	23.60	6.20	57	茂浦橋	RC溝橋(BOXカルバート)	3.90	29.00
18	奥の台橋	鋼溶接・I桁不明	26.60	5.20	58	中浜橋	RC溝橋(BOXカルバート)	3.90	15.00
19	大信田橋	鋼溶接・H形鋼不明	23.90	5.20	59	鯨橋	RC溝橋(BOXカルバート)	2.60	2.00
20	小手萩橋	PC・ポステンT桁	32.50	5.20	60	大岱橋	PC・プレテン中空床版	10.40	6.00
21	南夏井橋	PC・プレテンT桁	24.00	9.70	61	強坂橋	RC溝橋(BOXカルバート)	3.20	6.70
22	夏井沢橋	PC・プレテンT桁	28.50	9.70	62	浜田橋	RC・RC中実床版橋	2.75	5.00
23	濁川橋	PC・プレテン中空床版	16.70	7.50	63	門の沢橋	RC溝橋(BOXカルバート)	2.50	7.33
24	川向橋	RC・RC中実床版橋	5.00	7.55	64	杉の沢橋	PC・PC桁橋その他	6.16	5.30
25	向橋	RC・RC中実床版橋	5.70	5.60	65	雪沢橋	RC・RC中実床版橋	5.50	6.60
26	内荒巻橋	RC・RC中実床版橋	7.80	6.00	66	籠田橋	PC・プレテン床版	8.50	8.70
27	北夏井橋	PC・PC床版橋(その他)	4.10	4.90	67	寺沢橋	PC・プレテン中空床版	9.50	5.50
28	第2北夏井橋	PC・PC床版橋(その他)	4.00	4.50	68	チゴキ橋	PC・プレテン床版	17.60	8.20
29	磯村橋	RC・RCT橋	10.75	7.30	69	峰浜高架橋	鋼溶接・I桁合成	96.50	12.00
30	新川橋	RC・RC中実床版橋	2.80	6.00	70	滝の上橋	RC・RC床版橋(その他)	8.70	6.00
31	治助川橋	RC・RC中実床版橋	2.80	4.94	71	ふれあい橋さわめ	鋼溶接・I桁不明	24.20	4.20
32	狭田川橋	RC・RC中実床版橋	4.05	9.30	72	岩小歩道橋	PC・プレテンT桁	21.70	3.50
33	上の川橋	PC・プレテン中空床版	8.45	8.22	73	あきた白神駅歩道橋	鋼溶接・I桁不明	55.00	3.50
34	本館橋	RC・RC中実床版橋	3.18	4.41	74	観小歩道橋	PC・プレテン床版	47.70	2.40
35	高野々橋	RC・RC中実床版橋	5.00	7.30					
36	寺下橋	RC・RCT橋+I桁非合成	16.00	9.30					
37	大久保岱沢橋	PC・プレテン中空床版	9.00	7.70					
38	大久保岱橋	PC・プレテン中空床版	6.80	4.80					
39	横内橋	RC・RCT橋+PC中空床版	14.00	6.20					
40	寺ノ沢新橋	PC・プレテン床版	8.40	7.20					

### 3-3. 維持管理方針

八峰町の管理する橋梁74橋の内、橋長15m未満の小規模橋梁は44橋(59%)と半数以上で、ボックスカルバートの10橋はすべて10m未満で、その内8橋は5m未満となっている。

これら小規模橋梁を予防保全型での短いサイクルで補修工事を行うことは、道路管理者や道路利用者への負担が大きくなるものの、費用効果はあまり期待できないと言える。

しかし、15m未満の橋梁でも橋梁形式がPC・プレテン中空床版やPC・プレテン床版の橋梁については、防水工の整備や計画的な舗装打替え、軽微な段階での補修を行うことで、長期延命化が期待出来ることから、本計画での維持管理方針は、橋長と橋梁形式より以下の条件で区分するものとする。

#### 【維持管理方式の区分】

区分条件		理 由
予 防 保 全 型	橋長15m以上の橋	・ 予防保全型の管理手法で管理する事で、修繕費用の削減を図る。
	PC橋 (橋長15m未満含む)	・ 防水層の整備や計画的な舗装打替え、補修等の予防保全措置を行い、長寿命化、コスト削減を図る。
事 後 保 全 型	橋長15m未満の橋 (PC橋を除く)	・ 小断面であるため予防保全型での効果がそれほど期待出来ない。 ・ 舗装等の橋上から維持修繕を適宜行いながら使用し、供用年数、損傷状況を確認しながら、将来的に架け替えを検討する橋。
事 後 保 全 型 (計 画 的 更 新)	小規模橋梁で2.0m未満に 縮小可能と思われる橋梁 集約・撤去予定の橋梁	・ 供用年数、損傷状況を確認しながら、適宜ボックスカルバートへの更新を図る橋。 ・ 橋長2.0m未満のボックスカルバートに更新することで、定期点検費、修繕費及び維持管理費の削減が図られる。 ・ 損傷状況や利用状況より撤去が効果的で、将来的に撤去を検討する橋。

#### 管理手法別橋梁数

管理手法	橋梁数	備 考
予防保全型	44橋	
事後保全型	23橋	
事後保全型 (計画的更新)	7橋	

※橋梁毎の管理手法一覧表参照

### 予防保全型の橋梁



1. 田中橋 (鋼溶接・H形鋼)



8. 水沢橋 (PC・ポステン中空床版)

### 事後保全型の橋梁



26. 内荒巻橋 (RC・RC中実床版橋)



57. 茂浦橋 (ボックスカルバート)

### 事後保全型 (計画的更新) の橋梁



24. 川向橋 (RC・RC中実床版橋)



62. 浜田橋 (RC・RC中実床版橋)

橋梁毎の管理手法一覧表

区分	番号	橋梁名	形式	橋長 (m)	全幅員 (m)	管理手法			区分	番号	橋梁名	形式	橋長 (m)	全幅員 (m)	管理手法			
						事後保全型 (計画的更新)	事後保全型	予防保全型							事後保全型 (計画的更新)	事後保全型	予防保全型	
道 路 橋	1	田中橋	鋼溶接・H形鋼不明	40.00	5.40					41	小母合橋	PC・プレテン床版	10.00	6.80				
	2	神俣橋	鋼溶接・H形鋼不明	41.00	5.80					42	瀧の尻橋	RC・RC中実床版橋	2.50	5.48				
	3	仲村橋	鋼溶接・H形鋼不明	15.00	6.00					43	寺の後橋	RC・RC中実床版橋	2.30	7.70				
	4	塙橋	鋼溶接・H形鋼不明	15.00	6.00					44	白瀬号橋	PC・プレテン中空床版	10.10	7.21				
	5	苗吉橋	鋼溶接・H形鋼不明	17.60	5.80					45	平沢橋	RC・RC中実床版橋	11.10	5.25				
	6	向田面橋	鋼溶接・H形鋼不明	17.60	6.20					46	観海橋	PC・プレテン床版	10.44	11.20				
	7	日和見橋	PC・ボスステンI桁	58.50	11.12					47	白瀬2号橋	PC・プレテン床版	7.85	5.42				
	8	水沢橋	PC・ボスステン床版	62.60	5.60					48	白瀬3号橋	PC・プレテン床版	8.74	7.23				
	9	榎干橋	鋼溶接・H形鋼不明	16.50	4.80					49	新浜田橋	RC溝橋(BOXカルバート)	2.10	6.50				
	10	白神橋	鋼溶接・I桁不明	44.80	8.22					50	山内新橋	PC・PC桁橋その他	8.57	4.45				
	11	白神大橋	鋼溶接・I桁不明	40.00	8.22					51	茂浦兵橋	RC・RC中実床版橋	2.50	5.44				
	12	小入川橋	PC・プレテン床版	16.60	4.83					52	大持橋	RC溝橋(BOXカルバート)	4.00	7.05				
	13	白瀬橋	PC・プレテンI桁	19.70	8.20					53	ウルン沢橋	RCT橋+PC中空床版	11.00	9.80				
	14	尾子橋	鋼溶接・箱桁不明	61.10	7.70					54	小釜沢橋	RC溝橋(BOXカルバート)	5.90	9.80				
	15	畑谷橋	鋼溶接・I桁不明+PC中空床版	20.40	9.20					55	奥入瀬橋	RC溝橋(BOXカルバート)	5.80	4.00				
	16	天童岩子新橋	鋼溶接・H形鋼不明	23.60	5.00					56	嘉治助台橋	RC溝橋(BOXカルバート)	2.40	18.20				
	17	高寺下橋	鋼溶接・H形鋼不明	23.60	6.20					57	茂浦橋	RC溝橋(BOXカルバート)	3.90	29.00				
	18	奥の台橋	鋼溶接・I桁不明	26.60	5.20					58	中浜橋	RC溝橋(BOXカルバート)	3.90	15.00				
	19	大信田橋	鋼溶接・H形鋼不明	23.90	5.20					59	鯉橋	RC溝橋(BOXカルバート)	2.60	2.00				
	20	小手萩橋	PC・ボスステンI桁	32.50	5.20					60	大位橋	PC・プレテン中空床版	10.40	6.00				
	21	南夏井橋	PC・プレテンI桁	24.00	9.70					61	強坂橋	RC溝橋(BOXカルバート)	3.20	6.70				
	22	夏井沢橋	PC・プレテンI桁	28.50	9.70					62	菜田橋	RC・RC中実床版橋	2.75	5.00				
	23	濁川橋	PC・プレテン中空床版	16.70	7.50					63	門の沢橋	RC溝橋(BOXカルバート)	2.50	7.33				
	24	川向橋	RC・RC中実床版橋	5.00	7.55					64	杉の沢橋	PC・PC桁橋その他	6.16	5.30				
	25	向橋	RC・RC中実床版橋	5.70	5.60					65	雪沢橋	RC・RC中実床版橋	5.50	6.80				
	26	内荒巻橋	RC・RC中実床版橋	7.80	6.00					66	籠田橋	PC・プレテン床版	8.50	8.70				
	27	北夏井橋	PC・RC床版橋(その他)	4.10	4.90					67	寺沢橋	PC・プレテン中空床版	9.50	5.50				
	28	第2北夏井橋	PC・RC床版橋(その他)	4.00	4.50					68	子ギキ橋	PC・プレテン床版	17.60	8.20				
	29	磯村橋	RC・RCT橋	10.75	7.30					69	峰浜高架橋	鋼溶接・I桁合成	96.50	12.00				
	30	新川橋	RC・RC中実床版橋	2.80	6.00					70	瀧の上橋	RC・RC床版橋(その他)	8.70	6.00				
	31	治助川橋	RC・RC中実床版橋	2.80	4.94					71	ふれあい橋さわめ	鋼溶接・I桁不明	24.20	4.20				
	32	狹田川橋	RC・RC中実床版橋	4.05	9.30					72	岩小歩道橋	PC・プレテンI桁	21.70	3.50				
	33	上の川橋	PC・プレテン中空床版	8.45	8.22					73	あきた白神歩道橋	鋼溶接・I桁不明	55.00	3.50				
	34	本館橋	RC・RC中実床版橋	3.18	4.41					74	観小歩道橋	PC・プレテン床版	47.70	2.40				
	35	高野々橋	RC・RC中実床版橋	5.00	7.30													
	36	寺下橋	RC・RCT橋+I桁非合成	16.00	9.30													
	37	大久保岱沢橋	PC・プレテン中空床版	9.00	7.70													
	38	大久保岱橋	PC・プレテン中空床版	6.80	4.80													
	39	横内橋	RC・RCT橋+PC中空床版	14.00	6.20													
	40	寺ノ沢新橋	PC・プレテン床版	8.40	7.20													
										対象橋梁数		44	23	7				

### 3-4. 施設の集約化・撤去

八峰町では代替えが可能な2橋(51. 茂浦浜橋、53. ウルシ沢橋)について集約化・撤去の検討を行うものとする。

集約化・撤去に向けて今後地元関係者への説明を順次行い、ウルシ沢橋を令和9年度、茂浦浜橋を令和14年度までの集約化・撤去を目指し、令和11年度の定期点検ではウルシ沢橋の定期点検費として約22万円、令和16年度の定期点検ではウルシ沢橋と茂浦浜橋の定期点検費約44万円(22万円/橋)のコスト縮減を目標とする。

また、橋長が2.0m未満へ縮小可能と思われる5橋については、計画的に小断面のボックスカルバートへの更新を行い、維持管理費の縮減を図る計画とする。

横断歩道橋4橋については全て線路を横断する施設で、海沿いの集落から駅や小学校へ行くための重要な施設として利用されている。

今後は、地域住民の生活形態、利用頻度、人口の状況及び定期点検結果等を踏まえ、総合的に施設の適正を判断し、集約化・撤去について検討を行い、維持管理費等の縮減を図るものとする。

#### 将来的に撤去を検討する橋梁

整理番号	51	
橋梁名	茂浦浜橋	
路線名	茂浦浜線	
橋長	2.5m	
全幅員	5.44m	
橋梁形式	RC・RC中実床版橋	
供用開始年	1976年	
整理番号	53	
橋梁名	ウルシ沢橋	
路線名	石川大野線	
橋長	11.0m	
全幅員	9.80m	
橋梁形式	RCT橋 PC中空床版	
供用開始年	1963年	

橋長が2.0m未満に縮小可能と思われる橋梁

整理番号	24	
橋梁名	川向橋	
路線名	田中橋	
橋長	5.0m	
全幅員	7.55m	
橋梁形式	RC・RC中実床版橋	
供用開始年	不明	
整理番号	30	
橋梁名	新川橋	
路線名	磯村浜田線	
橋長	2.8m	
全幅員	6.0m	
橋梁形式	RC・RC中実床版橋	
供用開始年	1962年	
整理番号	42	
橋梁名	湯の尻橋	
路線名	磯村浜田線	
橋長	2.5m	
全幅員	5.48m	
橋梁形式	RC・RC中実床版橋	
供用開始年	1951年	
整理番号	43	
橋梁名	寺の後橋	
路線名	磯村浜田線	
橋長	2.3m	
全幅員	7.7m	
橋梁形式	RC・RC中実床版橋	
供用開始年	1951年	
整理番号	62	
橋梁名	浜田橋	
路線名	磯村浜田線	
橋長	2.75m	
全幅員	5.0m	
橋梁形式	RC・RC中実床版橋	
供用開始年	1947年	

## 4. 対策の優先度設定

対策の優先順位は、健全度から算出する「総合評価値（橋梁単位での健全性）」と「橋梁諸元重要度」による、重み計算により設定することとする。

### 4-1. 橋梁諸元による重要度

諸元項目ごとに重み係数と、各諸元項目の評価項目ごとに評点を設定し、加重平均をとることにより諸元項目を考慮した重要度を100点満点で算出する。

諸元重要度の計算に考慮した項目及び評点は以下の通りとする。

#### 諸元項目の重み設定

橋梁諸元	重み係数	備考
交差状況	0.15	第三者被害
橋長	0.15	対策の規模(容易/困難)
適用示方書	0.15	構造的性
供用年数	0.15	歴史的価値
迂回路の有無	0.15	災害時
路線の区分	0.15	利用頻度
海岸からの距離	0.10	地域特性

#### 各項目の評点設定

##### 交差状況

評価項目	評点	備考
道路・鉄道	100	—
河川・開水路・湖沼	50	—
その他	25	—

##### 橋長

データ範囲	評点	備考
15未満	0	—
15以上30未満	25	—
30以上50未満	50	—
50以上100未満	75	—
100以上	100	長大橋

##### 適用示方書

評価項目	評点
大正15年	100
昭和14年	90
昭和31年	80
昭和39年	70
昭和47年	60
昭和53年	50
昭和55年	40
平成2年	30
平成6年	20
平成7年	20
平成8年	20
平成14年	10
その他	0

※ 適用示方書が不明な橋梁については、架設年未満の最も近い年の示方書を適用していると仮定し設定するものとする。

供用年数

データ範囲	評点	備考
25未満	0	—
25以上50未満	30	—
50以上75未満	65	—
75以上	100	—

※ 架設年が不明な橋梁については、高度経済成長期(1955～1973)に架設されたと推定し、1973年(昭和48年)に供用されたと仮定するものとする。

迂回路の有無

評価項目	評点	備考
無し	100	—
有り	0	—

路線の区分

データ範囲	評点	備考
1級町道	100	—
2級町道	50	—
その他	0	—

海岸からの距離

データ範囲	評点	備考
100m以下	100	—
100mを超えて300m以下	75	—
300mを超えて500m以下	50	—
500mを超えて700m以下	25	—
700mを超える	0	—

○諸元重要度の算出例

橋梁諸元	重み係数	評価項目	評点	重み×評点
交差状況	0.15	河川	50	$0.15 \times 50 = 7.50$
橋長	0.15	100m以上	100	$0.15 \times 100 = 15.00$
適用示方書	0.15	昭和47年	30	$0.15 \times 30 = 4.50$
供用年数	0.15	35年	30	$0.15 \times 30 = 4.50$
迂回路の有無	0.15	迂回路無し	100	$0.15 \times 100 = 15.00$
路線の区分	0.15	2級町道	50	$0.15 \times 50 = 7.50$
海岸からの距離	0.10	100m以下	100	$0.10 \times 100 = 10.00$
諸元重要度				68.50

←数値が大きいほど重要度が高い

#### 4-2. 総合評価値(橋梁の健全性)

部材ごとに設定した健全度評点情報をもとに評点化を行い、部材ごとに設定した重み係数をもとに損傷度評価値を算出する。

健全度の評点及び各部材の重み係数は、以下の通りとする。

健全度の評点化

健全度		評点
下上部部 工工 ・ 支床 承版	I	0
	II	20
	III	80
	IV	100
路面	凹凸無し	0
	凹凸有り	80

各部材の重み係数

部 材	重み係数		
	耐荷性	災害抵抗性	走行安全性
上部工	1.0	0.4	0.2
床版	0.6	0.2	1.0
下部工	0.2	1.0	-
支承	0.2	0.8	0.2
路面	-	-	0.8

<説明> 耐荷性 : 活荷重に対する耐荷性  
 災害抵抗性 : 主に地震に対する抵抗性  
 走行安全性 : 車両の走行に対する安全性

#### ○損傷度評価値の算出例

損傷度評価値は、各材の部材の評点に該当する項目の重み係数を乗じて、着目する抗安全性毎に合計した値とする。なお、損傷度評価値が100を超える場合は、100として取り扱う。

上記作業を径間ごとに行い、その最大値を橋梁全体の損傷度評価値とする。

総合評価値は、100から橋梁全体の損傷度評価値を差し引いた値として求める。

#### 損傷度評価値の算出例

部材	健全度 評点	損傷度評価値		
		耐荷性	災害抵抗性	走行安全性
上部工	II : 20	$20 \times 1.0 = 20.00$	$20 \times 0.4 = 8.00$	$20 \times 0.2 = 4.00$
床版	II : 20	$20 \times 0.6 = 12.00$	$20 \times 0.2 = 4.00$	$20 \times 1.0 = 20.00$
下部工	III : 80	$80 \times 0.2 = 16.00$	$80 \times 1.0 = 80.00$	-
支承	II : 20	$20 \times 0.2 = 4.00$	$20 \times 0.8 = 16.00$	$20 \times 0.2 = 4.00$
路面	有 : 80	-	-	$80 \times 0.8 = 64.00$
損傷度評価値合計		52.00	100.00	92.00

#### 総合評価値

総合評価値	耐荷性	災害抵抗性	走行安全性
(100-損傷度評価値)	48.00	0.00	8.00

←数値が大きい程健全な状態

#### 4-3. 長寿命化計画開始時の優先順位

##### (1) 総合評価指数と諸元重要度の関係

総合評価指標を諸元重要度のそれぞれを下表に示すように3つの区分に分類し、9つのカテゴリに分類する。各カテゴリに優先順位を1～9の間で設定し、順位の低いものほど優先度が高く評価される。

		諸元重要度		
		100以下60以上	60未満30以上	30未満
総合評価値 (橋梁の健全性)	30未満	1	3	6
	30以上60未満	2	5	8
	60以上100以下	4	7	9

同ランク内に複数の橋梁が存在する場合は、諸元重要度を総合評価値で除した値の降順で優先順位を決定する。

##### ○耐荷性に着目した場合の参考例

###### 総合評価値

総合評価値 (100-損傷度評価値)	耐荷性	災害抵抗性	走行安全性
	48.00	0.00	8.00

総合評価値 : 48.00 ⇒ 30以上60未満  
 諸元重要度 : 68.50 ⇒ 100以下60以上

		諸元重要度		
		100以下60以上	60未満30以上	30未満
総合評価値 (橋梁の健全性)	30未満	1	3	6
	30以上60未満	2	5	8
	60以上100以下	4	7	9

よって優先順位は2位となる。

##### (2) 長寿命化修繕計画開始時の優先順位

前項の総合評価指数と諸元重要度の関係に基づき、対象橋梁74橋について長寿命化修繕計画開始時の優先順位(耐荷性に着目した場合)を設定した。

なお、ここでの優先順位は鋼材の腐食、コンクリートのひびわれの損傷度ランクに主眼をおいて健全度ランクを設定して順位付けをしたもので、亀裂や破断など局所的な損傷でかつ緊急対策の対策となる損傷(「有・無」で評価される損傷)は最優先で対策を実施する方針であるため、この優先順位を決める際の指標となる健全度には考慮していない。

次頁に、長寿命化修繕計画開始時の優先順位一覧表及び諸元重要度による優先順位一覧表(参考)、総合評価値による優先順位一覧表(参考)を添付。

長寿命化修繕計画開始時の優先順位一覧表(耐荷性に着目)

整理番号	橋梁名	諸元重要度	総合評価値			諸元評価値区分	総合評価値区分(耐荷性)	カテゴリ区分(k)	順位評点			優先順位	国交省評価(点検時)	備考
			耐荷性	災害抵抗性	走行安全性				重要度/評価値(a)	順位係数(b=1000/k)	合計(a+b)			
5	苗吉橋	39.75	0.00	0.00	0.00	2	1	3	100.00000	333.33333	433.33333	1	III	
46	鯉海橋	43.00	0.00	0.00	0.00	2	1	3	100.00000	333.33333	433.33333	1	III	
27	北夏井橋	30.75	0.00	0.00	4.00	2	1	3	100.00000	333.33333	433.33333	1	III	
8	水沢橋	55.50	4.00	46.00	0.00	2	1	3	13.87500	333.33333	347.20833	4	III	
24	川向橋	36.00	4.00	0.00	84.00	2	1	3	9.00000	333.33333	342.33333	5	III	
7	日和見橋	57.25	16.00	48.00	84.00	2	1	3	3.57813	333.33333	336.91146	6	III	
28	第2北夏井橋	30.75	16.00	4.00	16.00	2	1	3	1.92188	333.33333	335.25521	7	III	
32	挾田川橋	55.75	36.00	12.00	0.00	2	2	5	1.54861	200.00000	201.54861	8	III	
2	神陣橋	58.50	48.00	0.00	72.00	2	2	5	1.21875	200.00000	201.21875	9	III	
35	高野々橋	42.75	36.00	12.00	0.00	2	2	5	1.18750	200.00000	201.18750	10	III	
72	岩小歩道橋	39.75	52.00	92.00	20.00	2	2	5	0.76442	200.00000	200.76442	11	II	
51	茂浦浜橋	31.00	48.00	72.00	20.00	2	2	5	0.64583	200.00000	200.64583	12	III	
33	上の川橋	25.50	0.00	40.00	4.00	3	1	6	100.00000	166.66667	266.66667	13	III	
53	ウルシ沢橋	29.25	0.00	30.00	60.00	3	1	6	100.00000	166.66667	266.66667	13	III	
34	本館橋	21.00	16.00	48.00	84.00	3	1	6	1.31250	166.66667	167.97917	15	III	
12	小入川橋	56.50	60.00	54.00	72.00	2	3	7	0.94167	142.85714	143.79881	16	II	
68	チヨキ橋	54.75	60.00	54.00	72.00	2	3	7	0.91250	142.85714	143.76964	17	II	
18	奥の台橋	51.75	60.00	54.00	72.00	2	3	7	0.86250	142.85714	143.71964	18	II	
15	畑谷橋	46.50	60.00	54.00	8.00	2	3	7	0.77500	142.85714	143.63214	19	II	
19	大信田橋	46.50	60.00	54.00	72.00	2	3	7	0.77500	142.85714	143.63214	19	II	
10	白神橋	48.00	64.00	70.00	76.00	2	3	7	0.75000	142.85714	143.60714	21	II	
11	白神大橋	48.00	64.00	70.00	76.00	2	3	7	0.75000	142.85714	143.60714	21	II	

長寿命化修繕計画開始時の優先順位一覧表(耐荷性に着目)

整理番号	橋梁名	諸元重要度	総合評価値			諸元評価値区分	総合評価値区分(耐荷性)	カテゴリ区分(k)	順位評点			優先順位	国交省評価(点検時)	備考
			耐荷性	災害抵抗性	走行安全性				重要度/評価値(a)	順位係数(b=1000/k)	合計(a+b)			
41	小母谷橋	47.75	64.00	70.00	76.00	2	3	7	0.74609	142.85714	143.60323	23	II	
43	寺の後橋	53.25	76.00	72.00	96.00	2	3	7	0.70066	142.85714	143.55780	24	II	
69	峰浜高架橋	42.75	64.00	70.00	76.00	2	3	7	0.66797	142.85714	143.52511	25	II	
42	湯の尻橋	50.75	76.00	72.00	96.00	2	3	7	0.66776	142.85714	143.52490	26	II	
62	浜田橋	53.25	84.00	78.00	80.00	2	3	7	0.63393	142.85714	143.49107	27	II	
63	門の沢橋	55.75	88.00	98.00	16.00	2	3	7	0.63352	142.85714	143.49066	28	II	
14	尼子橋	37.75	60.00	54.00	72.00	2	3	7	0.62917	142.85714	143.48631	29	II	
45	平沢橋	50.25	80.00	62.00	76.00	2	3	7	0.62813	142.85714	143.48527	30	II	
1	田中橋	50.25	84.00	82.00	76.00	2	3	7	0.59821	142.85714	143.45535	31	II	
29	磯村橋	49.25	84.00	78.00	80.00	2	3	7	0.58631	142.85714	143.44345	32	II	
13	白瀑橋	36.75	64.00	70.00	76.00	2	3	7	0.57422	142.85714	143.43136	33	II	
23	濁川橋	48.00	84.00	78.00	16.00	2	3	7	0.57143	142.85714	143.42857	34	II	
44	白瀑1号橋	42.00	76.00	72.00	96.00	2	3	7	0.55263	142.85714	143.40977	35	II	
30	新川橋	54.25	100.00	100.00	100.00	2	3	7	0.54250	142.85714	143.39964	36	I	
31	治助川橋	54.25	100.00	100.00	100.00	2	3	7	0.54250	142.85714	143.39964	36	I	
70	滝の上橋	50.50	96.00	80.00	100.00	2	3	7	0.52604	142.85714	143.38318	38	III	
74	観小歩道橋	43.50	84.00	78.00	80.00	2	3	7	0.51786	142.85714	143.37500	39	II	
49	新浜田橋	41.00	84.00	78.00	80.00	2	3	7	0.48810	142.85714	143.34524	40	II	
36	寺下橋	48.00	100.00	100.00	100.00	2	3	7	0.48000	142.85714	143.33714	41	I	
38	大久保岱橋	45.75	96.00	80.00	100.00	2	3	7	0.47656	142.85714	143.33370	42	II	
50	山内新橋	30.00	64.00	70.00	76.00	2	3	7	0.46875	142.85714	143.32589	43	II	
3	仲村橋	46.50	100.00	100.00	100.00	2	3	7	0.46500	142.85714	143.32214	44	I	

長寿命化修繕計画開始時の優先順位一覧表(耐荷性に着目)

整理番号	橋梁名	諸元重要度	総合評価値			諸元評価値区分	総合評価値区分(耐荷性)	カテゴリ区分(k)	順位評点			優先順位	国交省評価(点検時)	備考
			耐荷性	災害抵抗性	走行安全性				重要度/評価値(a)	順位係数(b=1000/k)	合計(a+b)			
4	塙橋	46.50	100.00	100.00	100.00	2	3	7	0.46500	142.85714	143.32214	44	I	
56	嘉治助台橋	38.50	84.00	78.00	80.00	2	3	7	0.45833	142.85714	143.31547	46	II	
73	あきた白神駅歩道橋	42.75	96.00	80.00	100.00	2	3	7	0.44531	142.85714	143.30245	47	II	
55	奥入瀬橋	36.00	84.00	78.00	80.00	2	3	7	0.42857	142.85714	143.28571	48	II	
66	籠田橋	36.00	96.00	80.00	100.00	2	3	7	0.37500	142.85714	143.23214	49	II	
25	向橋	36.00	96.00	80.00	100.00	2	3	7	0.37500	142.85714	143.23214	49	II	
37	大久保岱沢橋	36.00	96.00	80.00	100.00	2	3	7	0.37500	142.85714	143.23214	49	II	
54	小釜沢橋	36.00	96.00	80.00	100.00	2	3	7	0.37500	142.85714	143.23214	49	II	
65	雪沢橋	36.00	96.00	80.00	36.00	2	3	7	0.37500	142.85714	143.23214	49	II	
60	大岱橋	36.00	100.00	100.00	100.00	2	3	7	0.36000	142.85714	143.21714	54	I	
6	向田面橋	32.25	100.00	100.00	100.00	2	3	7	0.32250	142.85714	143.17964	55	I	
9	柵干橋	26.25	60.00	54.00	8.00	3	3	9	0.43750	111.11111	111.54861	56	II	
47	白瀑2号橋	27.00	64.00	70.00	76.00	3	3	9	0.42188	111.11111	111.53299	57	II	
39	横内橋	28.50	72.00	56.00	92.00	3	3	9	0.39583	111.11111	111.50694	58	II	
64	杉の沢橋	23.00	64.00	70.00	76.00	3	3	9	0.35938	111.11111	111.47049	59	II	
22	夏井沢橋	27.75	80.00	92.00	32.00	3	3	9	0.34688	111.11111	111.45799	60	II	
57	茂浦橋	28.50	84.00	78.00	80.00	3	3	9	0.33929	111.11111	111.45040	61	II	
26	内壳巻橋	25.50	80.00	4.00	32.00	3	3	9	0.31875	111.11111	111.42986	62	III	
67	寺沢橋	25.50	84.00	78.00	80.00	3	3	9	0.30357	111.11111	111.41468	63	II	
58	中浜橋	25.50	84.00	78.00	80.00	3	3	9	0.30357	111.11111	111.41468	63	II	
16	天童岩子新橋	21.75	72.00	56.00	92.00	3	3	9	0.30208	111.11111	111.41319	65	II	
61	強坂橋	28.50	96.00	80.00	100.00	3	3	9	0.29688	111.11111	111.40799	66	II	

長寿命化修繕計画開始時の優先順位一覧表(耐荷性に着目)

整理番号	橋梁名	諸元重要度	総合評価値			諸元評価値区分	総合評価値区分(耐荷性)	カテゴリ区分(k)	順位評点			優先順位	国交省評価(点検時)	備考
			耐荷性	災害抵抗性	走行安全性				重要度/評価値(a)	順位係数(b=1000/k)	合計(a+b)			
21	南夏井橋	27.75	100.00	100.00	100.00	3	3	9	0.27750	111.11111	111.38861	67	I	
59	鯨橋	26.00	96.00	80.00	36.00	3	3	9	0.27083	111.11111	111.38194	68	II	
48	白瀑3号橋	19.50	76.00	72.00	96.00	3	3	9	0.25658	111.11111	111.36769	69	II	
52	大持橋	21.00	84.00	78.00	80.00	3	3	9	0.25000	111.11111	111.36111	70	II	
71	ふれあい橋さわめ	21.75	96.00	80.00	100.00	3	3	9	0.22656	111.11111	111.33767	71	II	
17	高寺下橋	15.75	72.00	56.00	92.00	3	3	9	0.21875	111.11111	111.32986	72	II	
20	小手萩橋	16.50	100.00	100.00	100.00	3	3	9	0.16500	111.11111	111.27611	73	I	
40	寺ノ沢新橋	10.50	96.00	80.00	100.00	3	3	9	0.10938	111.11111	111.22049	74	II	

橋梁諸元重要度による優先順位一覧表(参考)

整理番号	橋梁名	交差状況	橋長	適用示方書	供用年数	迂回路の有無	路線の区分	海岸からの距離	諸元重要度	優先順位
2	神陣橋	河川	41.0	昭和47年	25年以上 50年未満	無し	1級	700mを超える	58.50	1
7	日和見橋	河川	58.5	昭和47年	25年以上 50年未満	有り	1級	100m以下	57.25	2
12	小入川橋	河川	16.6	昭和39年	50年以上 75年未満	有り	1級	100m以下	56.50	3
32	挾田川橋	河川	4.1	昭和14年	50年以上 75年未満	有り	1級	100m以下	55.75	4
63	門の沢橋	河川	2.5	昭和14年	50年以上 75年未満	有り	1級	100m以下	55.75	4
8	水沢橋	河川	62.6	昭和31年	50年以上 75年未満	有り	1級	700mを超える	55.50	6
68	チゴキ橋	鉄道	17.6	昭和47年	25年以上 50年未満	有り	1級	100mを超えて300m以下	54.75	7
30	新川橋	河川	2.8	昭和31年	50年以上 75年未満	有り	1級	100m以下	54.25	8
31	治助川橋	河川	2.8	昭和31年	50年以上 75年未満	有り	1級	100m以下	54.25	8
43	寺の後橋	河川	2.3	昭和14年	50年以上 75年未満	有り	1級	100mを超えて300m以下	53.25	10
62	浜田橋	河川	2.8	昭和14年	50年以上 75年未満	有り	1級	100mを超えて300m以下	53.25	10
18	奥の台橋	河川	26.6	昭和55年	25年以上 50年未満	無し	1級	700mを超える	51.75	12
42	湯の尻橋	河川	2.5	昭和14年	50年以上 75年未満	有り	1級	300mを超えて500m以下	50.75	13
70	滝の上橋	河川	8.7	昭和55年	25年以上 50年未満	無し	1級	500mを超えて700m以下	50.50	14
1	田中橋	河川	40.0	昭和39年	50年以上 75年未満	有り	1級	700mを超える	50.25	15
45	平沢橋	河川	11.1	昭和39年	50年以上 75年未満	有り	1級	100mを超えて300m以下	50.25	15
29	磯村橋	河川	10.8	昭和31年	50年以上 75年未満	有り	1級	300mを超えて500m以下	49.25	17
10	白神橋	河川	44.8	平成8年	25年未満	無し	1級	700mを超える	48.00	18
11	白神大橋	河川	40.0	平成8年	25年未満	無し	1級	700mを超える	48.00	18
23	濁川橋	河川	16.7	昭和31年	50年以上 75年未満	有り	1級	700mを超える	48.00	18
36	寺下橋	河川	16.0	昭和31年	50年以上 75年未満	有り	1級	700mを超える	48.00	18
41	小母谷橋	河川	10.0	昭和39年	50年以上 75年未満	有り	1級	300mを超えて500m以下	47.75	22
3	仲村橋	河川	15.0	昭和39年	50年以上 75年未満	有り	1級	700mを超える	46.50	23
4	塙橋	河川	15.0	昭和39年	50年以上 75年未満	有り	1級	700mを超える	46.50	23
15	畑谷橋	河川	20.4	昭和39年	50年以上 75年未満	有り	1級	700mを超える	46.50	23
19	大信田橋	河川	23.9	昭和39年	50年以上 75年未満	有り	1級	700mを超える	46.50	23
38	大久保岱橋	河川	6.8	昭和14年	50年以上 75年未満	有り	1級	700mを超える	45.75	27
74	観小歩道橋	鉄道	47.7	昭和47年	25年以上 50年未満	有り	その他	100mを超えて300m以下	43.50	28
46	観海橋	河川	10.4	昭和55年	25年以上 50年未満	有り	1級	100m以下	43.00	29
73	あきた白神駅歩道橋	鉄道	55.0	平成2年	25年以上 50年未満	有り	その他	100mを超えて300m以下	42.75	30
35	高野々橋	河川	5.0	昭和39年	50年以上 75年未満	有り	1級	700mを超える	42.75	30
69	峰浜高架橋	鉄道	96.5	平成14年	25年未満	有り	1級	700mを超える	42.75	30
44	白瀑1号橋	河川	10.1	昭和53年	25年以上 50年未満	有り	1級	100mを超えて300m以下	42.00	33
49	新浜田橋	河川	2.1	昭和47年	25年以上 50年未満	有り	1級	300mを超えて500m以下	41.00	34
72	岩小歩道橋	鉄道	21.7	昭和47年	25年以上 50年未満	有り	その他	100mを超えて300m以下	39.75	35
5	苗吉橋	河川	17.6	昭和47年	25年以上 50年未満	有り	1級	700mを超える	39.75	35
56	嘉治助台橋	河川	2.4	昭和47年	25年以上 50年未満	有り	1級	500mを超えて700m以下	38.50	37

橋梁諸元重要度による優先順位一覧表(参考)

整理番号	橋梁名	交差状況	橋長	適用示方書	供用年数	迂回路の有無	路線の区分	海岸からの距離	諸元重要度	優先順位
14	尼子橋	河川	61.1	平成2年	25年以上 50年未満	有り	1級	500mを超えて700m以下	37.75	38
13	白瀑橋	河川	19.7	昭和55年	25年以上 50年未満	有り	1級	700mを超える	36.75	39
66	箆田橋	河川	8.5	昭和47年	25年以上 50年未満	有り	1級	700mを超える	36.00	40
24	川向橋	河川	5.0	昭和47年	25年以上 50年未満	有り	1級	700mを超える	36.00	40
25	向橋	河川	5.7	昭和47年	25年以上 50年未満	有り	1級	700mを超える	36.00	40
37	大久保岱沢橋	河川	9.0	昭和47年	25年以上 50年未満	有り	1級	700mを超える	36.00	40
54	小釜沢橋	河川	5.9	昭和47年	25年以上 50年未満	有り	1級	700mを超える	36.00	40
55	奥入瀬橋	河川	5.8	昭和47年	25年以上 50年未満	有り	1級	700mを超える	36.00	40
60	大岱橋	河川	10.4	昭和47年	25年以上 50年未満	有り	1級	700mを超える	36.00	40
65	雪沢橋	河川	5.5	昭和47年	25年以上 50年未満	有り	1級	700mを超える	36.00	40
6	向田面橋	河川	17.6	昭和47年	25年以上 50年未満	有り	2級	700mを超える	32.25	48
51	茂浦浜橋	河川	2.5	昭和47年	25年以上 50年未満	有り	その他	100m以下	31.00	49
27	北夏井橋	河川	4.1	昭和14年	50年以上 75年未満	有り	その他	700mを超える	30.75	50
28	第2北夏井橋	河川	4.0	昭和14年	50年以上 75年未満	有り	その他	700mを超える	30.75	50
50	山内新橋	河川	8.6	昭和39年	25年以上 50年未満	有り	その他	100mを超えて300m以下	30.00	52
53	ウルシ沢橋	河川	11.0	昭和31年	50年以上 75年未満	有り	その他	700mを超える	29.25	53
39	横内橋	河川	14.0	昭和47年	25年以上 50年未満	有り	2級	700mを超える	28.50	54
61	強坂橋	河川	3.2	昭和47年	25年以上 50年未満	有り	2級	700mを超える	28.50	54
57	茂浦橋	河川	3.9	昭和47年	25年以上 50年未満	有り	その他	100mを超えて300m以下	28.50	54
21	南夏井橋	河川	24.0	平成14年	25年未満	有り	1級	700mを超える	27.75	57
22	夏井沢橋	河川	28.5	平成14年	25年未満	有り	1級	700mを超える	27.75	57
47	白瀑2号橋	河川	7.9	昭和53年	25年以上 50年未満	有り	その他	100mを超えて300m以下	27.00	59
9	欄干橋	河川	16.5	昭和39年	25年以上 50年未満	有り	その他	700mを超える	26.25	60
59	鯨橋	河川	2.6	昭和47年	25年以上 50年未満	有り	その他	300mを超えて500m以下	26.00	61
67	寺沢橋	河川	9.5	平成8年	25年未満	有り	1級	700mを超える	25.50	62
26	内荒巻橋	河川	7.8	昭和55年	25年以上 50年未満	有り	2級	700mを超える	25.50	62
33	上の川橋	河川	8.5	昭和55年	25年以上 50年未満	有り	その他	100mを超えて300m以下	25.50	62
58	中浜橋	河川	3.9	昭和55年	25年以上 50年未満	有り	その他	100mを超えて300m以下	25.50	62
64	杉の沢橋	河川	6.2	昭和55年	25年以上 50年未満	有り	その他	300mを超えて500m以下	23.00	66
71	ふれあい橋さわめ	鉄道	24.2	平成8年	25年未満	有り	その他	700mを超える	21.75	67
16	天童岩子新橋	河川	23.6	昭和55年	25年以上 50年未満	有り	その他	700mを超える	21.75	67
34	本館橋	河川	3.2	昭和47年	25年以上 50年未満	有り	その他	700mを超える	21.00	69
52	大持橋	河川	4.0	昭和47年	25年以上 50年未満	有り	その他	700mを超える	21.00	69
48	白瀑3号橋	河川	8.7	昭和53年	25年以上 50年未満	有り	その他	700mを超える	19.50	71
20	小手萩橋	河川	32.5	平成14年	25年未満	有り	その他	700mを超える	16.50	72
17	高寺下橋	河川	23.6	平成2年	25年未満	有り	その他	700mを超える	15.75	73
40	寺ノ沢新橋	河川	8.4	平成8年	25年未満	有り	その他	700mを超える	10.50	74

総合評価値(耐荷性)による優先順位一覧表(参考)

整理番号	橋梁名	総合評価値			優先順位 (耐荷性評価値)	国交省 評価	備考
		耐荷性	災害抵抗性	走行安全性			
5	苗吉橋	0.00	0.00	0.00	1	Ⅲ	
27	北夏井橋	0.00	0.00	4.00	1	Ⅲ	
33	上の川橋	0.00	40.00	4.00	1	Ⅲ	
46	観海橋	0.00	0.00	0.00	1	Ⅲ	
53	ウルシ沢橋	0.00	30.00	60.00	1	Ⅲ	
8	水沢橋	4.00	46.00	0.00	6	Ⅲ	
24	川向橋	4.00	0.00	84.00	6	Ⅲ	
7	日和見橋	16.00	48.00	84.00	8	Ⅲ	
28	第2北夏井橋	16.00	4.00	16.00	8	Ⅲ	
34	本館橋	16.00	48.00	84.00	8	Ⅲ	
32	挟田川橋	36.00	12.00	0.00	11	Ⅲ	
35	高野々橋	36.00	12.00	0.00	11	Ⅲ	
2	神陣橋	48.00	0.00	72.00	13	Ⅲ	
51	茂浦浜橋	48.00	72.00	20.00	13	Ⅲ	
72	岩小歩道橋	52.00	92.00	20.00	15	Ⅱ	
9	欄干橋	60.00	54.00	8.00	16	Ⅱ	
12	小入川橋	60.00	54.00	72.00	16	Ⅱ	
14	尼子橋	60.00	54.00	72.00	16	Ⅱ	
15	畑谷橋	60.00	54.00	8.00	16	Ⅱ	
18	奥の台橋	60.00	54.00	72.00	16	Ⅱ	
19	大信田橋	60.00	54.00	72.00	16	Ⅱ	
68	チゴキ橋	60.00	54.00	72.00	16	Ⅱ	
10	白神橋	64.00	70.00	76.00	23	Ⅱ	
11	白神大橋	64.00	70.00	76.00	23	Ⅱ	
13	白瀑橋	64.00	70.00	76.00	23	Ⅱ	
41	小母谷橋	64.00	70.00	76.00	23	Ⅱ	
47	白瀑2号橋	64.00	70.00	76.00	23	Ⅱ	
50	山内新橋	64.00	70.00	76.00	23	Ⅱ	
64	杉の沢橋	64.00	70.00	76.00	23	Ⅱ	
69	峰浜高架橋	64.00	70.00	76.00	23	Ⅱ	
16	天童岩子新橋	72.00	56.00	92.00	31	Ⅱ	
17	高寺下橋	72.00	56.00	92.00	31	Ⅱ	
39	横内橋	72.00	56.00	92.00	31	Ⅱ	
42	湯の尻橋	76.00	72.00	96.00	34	Ⅱ	
43	寺の後橋	76.00	72.00	96.00	34	Ⅱ	
44	白瀑1号橋	76.00	72.00	96.00	34	Ⅱ	
48	白瀑3号橋	76.00	72.00	96.00	34	Ⅱ	

総合評価値(耐荷性)による優先順位一覧表(参考)

整理番号	橋梁名	総合評価値			優先順位 (耐荷性評価値)	国交省 評価	備考
		耐荷性	災害抵抗性	走行安全性			
22	夏井沢橋	80.00	92.00	32.00	38	II	
26	内荒巻橋	80.00	4.00	32.00	38	III	
45	平沢橋	80.00	62.00	76.00	38	II	
1	田中橋	84.00	82.00	76.00	41	II	
23	濁川橋	84.00	78.00	16.00	41	II	
29	磯村橋	84.00	78.00	80.00	41	II	
49	新浜田橋	84.00	78.00	80.00	41	II	
52	大持橋	84.00	78.00	80.00	41	II	
55	奥入瀬橋	84.00	78.00	80.00	41	II	
56	嘉治助台橋	84.00	78.00	80.00	41	II	
57	茂浦橋	84.00	78.00	80.00	41	II	
58	中浜橋	84.00	78.00	80.00	41	II	
62	浜田橋	84.00	78.00	80.00	41	II	
67	寺沢橋	84.00	78.00	80.00	41	II	
74	観小歩道橋	84.00	78.00	80.00	41	II	
63	門の沢橋	88.00	98.00	16.00	53	II	
70	滝の上橋	96.00	80.00	100.00	54	III	
71	ふれあい橋さわめ	96.00	80.00	100.00	54	II	
73	あきた白神駅歩道橋	96.00	80.00	100.00	54	II	
25	向橋	96.00	80.00	100.00	54	II	
37	大久保岱沢橋	96.00	80.00	100.00	54	II	
38	大久保岱橋	96.00	80.00	100.00	54	II	
40	寺ノ沢新橋	96.00	80.00	100.00	54	II	
54	小釜沢橋	96.00	80.00	100.00	54	II	
59	鯨橋	96.00	80.00	36.00	54	II	
61	強坂橋	96.00	80.00	100.00	54	II	
65	雪沢橋	96.00	80.00	36.00	54	II	
66	籠田橋	96.00	80.00	100.00	54	II	
3	仲村橋	100.00	100.00	100.00	66	I	
4	塙橋	100.00	100.00	100.00	66	I	
6	向田面橋	100.00	100.00	100.00	66	I	
20	小手萩橋	100.00	100.00	100.00	66	I	
21	南夏井橋	100.00	100.00	100.00	66	I	
30	新川橋	100.00	100.00	100.00	66	I	
31	治助川橋	100.00	100.00	100.00	66	I	
36	寺下橋	100.00	100.00	100.00	66	I	
60	大岱橋	100.00	100.00	100.00	66	I	

橋梁毎の諸元重要度と損傷度評価値

整理番号		1		橋梁名		田中橋		諸元重要度						損傷度評価値					
橋梁諸元				諸元重要度 ①×②	部材	健全度		耐荷性		災害抵抗性		走行安全性							
項目	重み係数 ①	評価項目	評点 ②			評価	評点 ①	重み係数 ②	評価値 ①×②	重み係数 ③	評価値 ①×③	重み係数 ④	評価値 ①×④						
交差状況	0.15	河川	50	7.50	上部工	I	0	1.0	0.00	0.4	0.00	0.2	0.00						
橋長	0.15	40.0m	50	7.50	床版	II	20	0.6	12.00	0.1	2.00	1.0	20.00						
適用示方書	0.15	昭和39年	70	10.50	下部工	I	0	0.2	0.00	1.0	0.00	—	—						
供用年数	0.15	50年以上 75年未満	65	9.75	支承	II	20	0.2	4.00	0.8	16.00	0.2	4.00						
迂回路の有無	0.15	有り	0	0.00	路面(凹凸)	無	0	—	—	—	—	1.0	0.00						
路線の区分	0.15	1級	100	15.00															
海岸からの距離	0.10	700mを超える	0	0.00	損傷度評価値			16.00		18.00		24.00							
諸元重要度計				50.25	総合評価値(100-損傷度評価値)			84.00		82.00		76.00							

整理番号		2		橋梁名		神陣橋		諸元重要度						損傷度評価値					
橋梁諸元				諸元重要度 ①×②	部材	健全度		耐荷性		災害抵抗性		走行安全性							
項目	重み係数 ①	評価項目	評点 ②			評価	評点 ①	重み係数 ②	評価値 ①×②	重み係数 ③	評価値 ①×③	重み係数 ④	評価値 ①×④						
交差状況	0.15	河川	50	7.50	上部工	II	20	1.0	20.00	0.4	8.00	0.2	4.00						
橋長	0.15	41.0m	50	7.50	床版	II	20	0.6	12.00	0.1	2.00	1.0	20.00						
適用示方書	0.15	昭和47年	60	9.00	下部工	III	80	0.2	16.00	1.0	80.00	—	—						
供用年数	0.15	25年以上 50年未満	30	4.50	支承	II	20	0.2	4.00	0.8	16.00	0.2	4.00						
迂回路の有無	0.15	無し	100	15.00	路面(凹凸)	無	0	—	—	—	—	0.8	0.00						
路線の区分	0.15	1級	100	15.00															
海岸からの距離	0.10	700mを超える	0	0.00	損傷度評価値			52.00		100.00		28.00							
諸元重要度計				58.50	総合評価値(100-損傷度評価値)			48.00		0.00		72.00							

整理番号		3		橋梁名		仲村橋		諸元重要度						損傷度評価値					
橋梁諸元				諸元重要度 ①×②	部材	健全度		耐荷性		災害抵抗性		走行安全性							
項目	重み係数 ①	評価項目	評点 ②			評価	評点 ①	重み係数 ②	評価値 ①×②	重み係数 ③	評価値 ①×③	重み係数 ④	評価値 ①×④						
交差状況	0.15	河川	50	7.50	上部工	I	0	1.0	0.00	0.4	0.00	0.2	0.00						
橋長	0.15	15.0m	25	3.75	床版	I	0	0.6	0.00	0.1	0.00	1.0	0.00						
適用示方書	0.15	昭和39年	70	10.50	下部工	I	0	0.2	0.00	1.0	0.00	—	—						
供用年数	0.15	50年以上 75年未満	65	9.75	支承	I	0	0.2	0.00	0.8	0.00	0.2	0.00						
迂回路の有無	0.15	有り	0	0.00	路面(凹凸)	無	0	—	—	—	—	0.8	0.00						
路線の区分	0.15	1級	100	15.00															
海岸からの距離	0.10	700mを超える	0	0.00	損傷度評価値			0.00		0.00		0.00							
諸元重要度計				46.50	総合評価値(100-損傷度評価値)			100.00		100.00		100.00							

橋梁毎の諸元重要度と損傷度評価値

整理番号		4		橋梁名		塙橋		諸元重要度						損傷度評価値					
橋梁諸元				諸元重要度 ①×②	部材	健全度		耐荷性		災害抵抗性		走行安全性							
項目	重み係数 ①	評価項目	評点 ②			評価	評点 ①	重み係数 ②	評価値 ①×②	重み係数 ③	評価値 ①×③	重み係数 ④	評価値 ①×④						
交差状況	0.15	河川	50	7.50	上部工	I	0	1.0	0.00	0.4	0.00	0.2	0.00						
橋 長	0.15	15.0m	25	3.75	床 版	I	0	0.6	0.00	0.1	0.00	1.0	0.00						
適用示方書	0.15	昭和39年	70	10.50	下部工	I	0	0.2	0.00	1.0	0.00	—	—						
供用年数	0.15	50年以上 75年未満	65	9.75	支 承	I	0	0.2	0.00	0.8	0.00	0.2	0.00						
迂回路の有無	0.15	有り	0	0.00	路面(凹凸)	無	0	—	—	—	—	0.8	0.00						
路線の区分	0.15	1級	100	15.00															
海岸からの距離	0.10	700mを超える	0	0.00	損傷度評価値				0.00		0.00		0.00						
<b>諸元重要度 計</b>				<b>46.50</b>	<b>総合評価値(100-損傷度評価値)</b>				<b>100.00</b>		<b>100.00</b>		<b>100.00</b>						

整理番号		5		橋梁名		苗吉橋		諸元重要度						損傷度評価値					
橋梁諸元				諸元重要度 ①×②	部材	健全度		耐荷性		災害抵抗性		走行安全性							
項目	重み係数 ①	評価項目	評点 ②			評価	評点 ①	重み係数 ②	評価値 ①×②	重み係数 ③	評価値 ①×③	重み係数 ④	評価値 ①×④						
交差状況	0.15	河川	50	7.50	上部工	Ⅲ	80	1.0	80.00	0.4	32.00	0.2	16.00						
橋 長	0.15	17.6m	25	3.75	床 版	Ⅱ	20	0.6	12.00	0.1	2.00	1.0	20.00						
適用示方書	0.15	昭和47年	60	9.00	下部工	Ⅱ	20	0.2	4.00	1.0	20.00	—	—						
供用年数	0.15	25年以上 50年未満	30	4.50	支 承	Ⅲ	80	0.2	16.00	0.8	64.00	0.2	16.00						
迂回路の有無	0.15	有り	0	0.00	路面(凹凸)	有	80	—	—	—	—	0.8	64.00						
路線の区分	0.15	1級	100	15.00															
海岸からの距離	0.10	700mを超える	0	0.00	損傷度評価値				100.00		100.00		100.00						
<b>諸元重要度 計</b>				<b>39.75</b>	<b>総合評価値(100-損傷度評価値)</b>				<b>0.00</b>		<b>0.00</b>		<b>0.00</b>						

整理番号		6		橋梁名		向田面橋		諸元重要度						損傷度評価値					
橋梁諸元				諸元重要度 ①×②	部材	健全度		耐荷性		災害抵抗性		走行安全性							
項目	重み係数 ①	評価項目	評点 ②			評価	評点 ①	重み係数 ②	評価値 ①×②	重み係数 ③	評価値 ①×③	重み係数 ④	評価値 ①×④						
交差状況	0.15	河川	50	7.50	上部工	I	0	1.0	0.00	0.4	0.00	0.2	0.00						
橋 長	0.15	17.6m	25	3.75	床 版	I	0	0.6	0.00	0.1	0.00	1.0	0.00						
適用示方書	0.15	昭和47年	60	9.00	下部工	I	0	0.2	0.00	1.0	0.00	—	—						
供用年数	0.15	25年以上 50年未満	30	4.50	支 承	I	0	0.2	0.00	0.8	0.00	0.2	0.00						
迂回路の有無	0.15	有り	0	0.00	路面(凹凸)	無	0	—	—	—	—	0.8	0.00						
路線の区分	0.15	2級	50	7.50															
海岸からの距離	0.10	700mを超える	0	0.00	損傷度評価値				0.00		0.00		0.00						
<b>諸元重要度 計</b>				<b>32.25</b>	<b>総合評価値(100-損傷度評価値)</b>				<b>100.00</b>		<b>100.00</b>		<b>100.00</b>						

橋梁毎の諸元重要度と損傷度評価値

整理番号		7		橋梁名		日和見橋		諸元重要度						損傷度評価値					
橋梁諸元				諸元重要度 ①×②	部材	健全度		耐荷性		災害抵抗性		走行安全性							
項目	重み係数 ①	評価項目	評点 ②			評価	評点 ①	重み係数 ②	評価値 ①×②	重み係数 ③	評価値 ①×③	重み係数 ④	評価値 ①×④						
交差状況	0.15	河川	50	7.50	上部工	Ⅲ	80	1.0	80.00	0.4	32.00	0.2	16.00						
橋長	0.15	58.5m	75	11.25	床版	I	0	0.6	0.00	0.1	0.00	1.0	0.00						
適用示方書	0.15	昭和47年	60	9.00	下部工	Ⅱ	20	0.2	4.00	1.0	20.00	—	—						
供用年数	0.15	25年以上 50年未満	30	4.50	支承	I	0	0.2	0.00	0.8	0.00	0.2	0.00						
迂回路の有無	0.15	有り	0	0.00	路面(凹凸)	無	0	—	—	—	—	0.8	0.00						
路線の区分	0.15	1級	100	15.00															
海岸からの距離	0.10	100m以下	100	10.00	損傷度評価値			84.00		52.00		16.00							
諸元重要度計				57.25	総合評価値(100-損傷度評価値)			16.00		48.00		84.00							

整理番号		8		橋梁名		水沢橋		諸元重要度						損傷度評価値					
橋梁諸元				諸元重要度 ①×②	部材	健全度		耐荷性		災害抵抗性		走行安全性							
項目	重み係数 ①	評価項目	評点 ②			評価	評点 ①	重み係数 ②	評価値 ①×②	重み係数 ③	評価値 ①×③	重み係数 ④	評価値 ①×④						
交差状況	0.15	河川	50	7.50	上部工	Ⅲ	80	1.0	80.00	0.4	32.00	0.2	16.00						
橋長	0.15	62.6m	75	11.25	床版	Ⅱ	20	0.6	12.00	0.1	2.00	1.0	20.00						
適用示方書	0.15	昭和31年	80	12.00	下部工	Ⅱ	20	0.2	4.00	1.0	20.00	—	—						
供用年数	0.15	50年以上 75年未満	65	9.75	支承	—	—	0.2	—	0.8	—	0.2	—						
迂回路の有無	0.15	有り	0	0.00	路面(凹凸)	有	80	—	—	—	—	0.8	64.00						
路線の区分	0.15	1級	100	15.00															
海岸からの距離	0.10	700mを超える	0	0.00	損傷度評価値			96.00		54.00		100.00							
諸元重要度計				55.50	総合評価値(100-損傷度評価値)			4.00		46.00		0.00							

整理番号		9		橋梁名		欄干橋		諸元重要度						損傷度評価値					
橋梁諸元				諸元重要度 ①×②	部材	健全度		耐荷性		災害抵抗性		走行安全性							
項目	重み係数 ①	評価項目	評点 ②			評価	評点 ①	重み係数 ②	評価値 ①×②	重み係数 ③	評価値 ①×③	重み係数 ④	評価値 ①×④						
交差状況	0.15	河川	50	7.50	上部工	Ⅱ	20	1.0	20.00	0.4	8.00	0.2	4.00						
橋長	0.15	16.5m	25	3.75	床版	Ⅱ	20	0.6	12.00	0.1	2.00	1.0	20.00						
適用示方書	0.15	昭和39年	70	10.50	下部工	Ⅱ	20	0.2	4.00	1.0	20.00	—	—						
供用年数	0.15	25年以上 50年未満	30	4.50	支承	Ⅱ	20	0.2	4.00	0.8	16.00	0.2	4.00						
迂回路の有無	0.15	有り	0	0.00	路面(凹凸)	有	80	—	—	—	—	0.8	64.00						
路線の区分	0.15	その他	0	0.00															
海岸からの距離	0.10	700mを超える	0	0.00	損傷度評価値			40.00		46.00		92.00							
諸元重要度計				26.25	総合評価値(100-損傷度評価値)			60.00		54.00		8.00							

橋梁毎の諸元重要度と損傷度評価値

整理番号		10		橋梁名		白神橋		諸元重要度						損傷度評価値					
橋梁諸元				諸元重要度 ①×②	部材	健全度		耐荷性		災害抵抗性		走行安全性							
項目	重み係数 ①	評価項目	評点 ②			評価	評点 ①	重み係数 ②	評価値 ①×②	重み係数 ③	評価値 ①×③	重み係数 ④	評価値 ①×④						
交差状況	0.15	河川	50	7.50	上部工	II	20	1.0	20.00	0.4	8.00	0.2	4.00						
橋長	0.15	44.8m	50	7.50	床版	II	20	0.6	12.00	0.1	2.00	1.0	20.00						
適用示方書	0.15	平成8年	20	3.00	下部工	II	20	0.2	4.00	1.0	20.00	—	—						
供用年数	0.15	25年未満	0	0.00	支承	I	0	0.2	0.00	0.8	0.00	0.2	0.00						
迂回路の有無	0.15	無し	100	15.00	路面(凹凸)	無	0	—	—	—	—	0.8	0.00						
路線の区分	0.15	1級	100	15.00															
海岸からの距離	0.10	700mを超える	0	0.00	損傷度評価値			36.00		30.00		24.00							
諸元重要度計				48.00	総合評価値(100-損傷度評価値)			64.00		70.00		76.00							

整理番号		11		橋梁名		白神大橋		諸元重要度						損傷度評価値					
橋梁諸元				諸元重要度 ①×②	部材	健全度		耐荷性		災害抵抗性		走行安全性							
項目	重み係数 ①	評価項目	評点 ②			評価	評点 ①	重み係数 ②	評価値 ①×②	重み係数 ③	評価値 ①×③	重み係数 ④	評価値 ①×④						
交差状況	0.15	河川	50	7.50	上部工	II	20	1.0	20.00	0.4	8.00	0.2	4.00						
橋長	0.15	40.0m	50	7.50	床版	II	20	0.6	12.00	0.1	2.00	1.0	20.00						
適用示方書	0.15	平成8年	20	3.00	下部工	II	20	0.2	4.00	1.0	20.00	—	—						
供用年数	0.15	25年未満	0	0.00	支承	I	0	0.2	0.00	0.8	0.00	0.2	0.00						
迂回路の有無	0.15	無し	100	15.00	路面(凹凸)	無	0	—	—	—	—	0.8	0.00						
路線の区分	0.15	1級	100	15.00															
海岸からの距離	0.10	700mを超える	0	0.00	損傷度評価値			36.00		30.00		24.00							
諸元重要度計				48.00	総合評価値(100-損傷度評価値)			64.00		70.00		76.00							

整理番号		12		橋梁名		小入川橋		諸元重要度						損傷度評価値					
橋梁諸元				諸元重要度 ①×②	部材	健全度		耐荷性		災害抵抗性		走行安全性							
項目	重み係数 ①	評価項目	評点 ②			評価	評点 ①	重み係数 ②	評価値 ①×②	重み係数 ③	評価値 ①×③	重み係数 ④	評価値 ①×④						
交差状況	0.15	河川	50	7.50	上部工	II	20	1.0	20.00	0.4	8.00	0.2	4.00						
橋長	0.15	16.6m	25	3.75	床版	II	20	0.6	12.00	0.1	2.00	1.0	20.00						
適用示方書	0.15	昭和39年	70	10.50	下部工	II	20	0.2	4.00	1.0	20.00	—	—						
供用年数	0.15	50年以上 75年未満	65	9.75	支承	II	20	0.2	4.00	0.8	16.00	0.2	4.00						
迂回路の有無	0.15	有り	0	0.00	路面(凹凸)	無	0	—	—	—	—	0.8	0.00						
路線の区分	0.15	1級	100	15.00															
海岸からの距離	0.10	100m以下	100	10.00	損傷度評価値			40.00		46.00		28.00							
諸元重要度計				56.50	総合評価値(100-損傷度評価値)			60.00		54.00		72.00							

橋梁毎の諸元重要度と損傷度評価値

整理番号		13		橋梁名		白瀑橋		諸元重要度						損傷度評価値					
橋梁諸元				諸元重要度 ①×②	部材	健全度		耐荷性		災害抵抗性		走行安全性							
項目	重み係数 ①	評価項目	評点 ②			評価	評点 ①	重み係数 ②	評価値 ①×②	重み係数 ③	評価値 ①×③	重み係数 ④	評価値 ①×④						
交差状況	0.15	河川	50	7.50	上部工	II	20	1.0	20.00	0.4	8.00	0.2	4.00						
橋長	0.15	19.7m	25	3.75	床版	II	20	0.6	12.00	0.1	2.00	1.0	20.00						
適用示方書	0.15	昭和55年	40	6.00	下部工	II	20	0.2	4.00	1.0	20.00	—	—						
供用年数	0.15	25年以上 50年未満	30	4.50	支承	I	0	0.2	0.00	0.8	0.00	0.2	0.00						
迂回路の有無	0.15	有り	0	0.00	路面(凹凸)	無	0	—	—	—	—	0.8	0.00						
路線の区分	0.15	1級	100	15.00															
海岸からの距離	0.10	700mを超える	0	0.00	損傷度評価値			36.00		30.00		24.00							
諸元重要度計				36.75	総合評価値(100-損傷度評価値)			64.00		70.00		76.00							

整理番号		14		橋梁名		尼子橋		諸元重要度						損傷度評価値					
橋梁諸元				諸元重要度 ①×②	部材	健全度		耐荷性		災害抵抗性		走行安全性							
項目	重み係数 ①	評価項目	評点 ②			評価	評点 ①	重み係数 ②	評価値 ①×②	重み係数 ③	評価値 ①×③	重み係数 ④	評価値 ①×④						
交差状況	0.15	河川	50	7.50	上部工	II	20	1.0	20.00	0.4	8.00	0.2	4.00						
橋長	0.15	61.1m	25	3.75	床版	II	20	0.6	12.00	0.1	2.00	1.0	20.00						
適用示方書	0.15	平成2年	30	4.50	下部工	II	20	0.2	4.00	1.0	20.00	—	—						
供用年数	0.15	25年以上 50年未満	30	4.50	支承	II	20	0.2	4.00	0.8	16.00	0.2	4.00						
迂回路の有無	0.15	有り	0	0.00	路面(凹凸)	無	0	—	—	—	—	0.8	0.00						
路線の区分	0.15	1級	100	15.00															
海岸からの距離	0.10	500mを超えて700m以下	25	2.50	損傷度評価値			40.00		46.00		28.00							
諸元重要度計				37.75	総合評価値(100-損傷度評価値)			60.00		54.00		72.00							

整理番号		15		橋梁名		畑谷橋		諸元重要度						損傷度評価値					
橋梁諸元				諸元重要度 ①×②	部材	健全度		耐荷性		災害抵抗性		走行安全性							
項目	重み係数 ①	評価項目	評点 ②			評価	評点 ①	重み係数 ②	評価値 ①×②	重み係数 ③	評価値 ①×③	重み係数 ④	評価値 ①×④						
交差状況	0.15	河川	50	7.50	上部工	II	20	1.0	20.00	0.4	8.00	0.2	4.00						
橋長	0.15	20.4m	25	3.75	床版	II	20	0.6	12.00	0.1	2.00	1.0	20.00						
適用示方書	0.15	昭和39年	70	10.50	下部工	II	20	0.2	4.00	1.0	20.00	—	—						
供用年数	0.15	50年以上 75年未満	65	9.75	支承	II	20	0.2	4.00	0.8	16.00	0.2	4.00						
迂回路の有無	0.15	有り	0	0.00	路面(凹凸)	有	80	—	—	—	—	0.8	64.00						
路線の区分	0.15	1級	100	15.00															
海岸からの距離	0.10	700mを超える	0	0.00	損傷度評価値			40.00		46.00		92.00							
諸元重要度計				46.50	総合評価値(100-損傷度評価値)			60.00		54.00		8.00							

橋梁毎の諸元重要度と損傷度評価値

整理番号		16		橋梁名		天童岩子新橋		諸元重要度						損傷度評価値					
橋梁諸元				諸元重要度 ①×②	部材	健全度		耐荷性		災害抵抗性		走行安全性							
項目	重み係数 ①	評価項目	評点 ②			評価	評点 ①	重み係数 ②	評価値 ①×②	重み係数 ③	評価値 ①×③	重み係数 ④	評価値 ①×④						
交差状況	0.15	河川	50	7.50	上部工	II	20	1.0	20.00	0.4	8.00	0.2	4.00						
橋長	0.15	23.6m	25	3.75	床版	I	0	0.6	0.00	0.1	0.00	1.0	0.00						
適用示方書	0.15	昭和55年	40	6.00	下部工	II	20	0.2	4.00	1.0	20.00	—	—						
供用年数	0.15	25年以上 50年未満	30	4.50	支承	II	20	0.2	4.00	0.8	16.00	0.2	4.00						
迂回路の有無	0.15	有り	0	0.00	路面(凹凸)	無	0	—	—	—	—	0.8	0.00						
路線の区分	0.15	その他	0	0.00															
海岸からの距離	0.10	700mを超える	0	0.00	損傷度評価値			28.00		44.00		8.00							
<b>諸元重要度 計</b>				<b>21.75</b>	<b>総合評価値(100-損傷度評価値)</b>			<b>72.00</b>		<b>56.00</b>		<b>92.00</b>							

整理番号		17		橋梁名		高寺下橋		諸元重要度						損傷度評価値					
橋梁諸元				諸元重要度 ①×②	部材	健全度		耐荷性		災害抵抗性		走行安全性							
項目	重み係数 ①	評価項目	評点 ②			評価	評点 ①	重み係数 ②	評価値 ①×②	重み係数 ③	評価値 ①×③	重み係数 ④	評価値 ①×④						
交差状況	0.15	河川	50	7.50	上部工	II	20	1.0	20.00	0.4	8.00	0.2	4.00						
橋長	0.15	23.6m	25	3.75	床版	I	0	0.6	0.00	0.1	0.00	1.0	0.00						
適用示方書	0.15	平成2年	30	4.50	下部工	II	20	0.2	4.00	1.0	20.00	—	—						
供用年数	0.15	25年未満	0	0.00	支承	II	20	0.2	4.00	0.8	16.00	0.2	4.00						
迂回路の有無	0.15	有り	0	0.00	路面(凹凸)	無	0	—	—	—	—	0.8	0.00						
路線の区分	0.15	その他	0	0.00															
海岸からの距離	0.10	700mを超える	0	0.00	損傷度評価値			28.00		44.00		8.00							
<b>諸元重要度 計</b>				<b>15.75</b>	<b>総合評価値(100-損傷度評価値)</b>			<b>72.00</b>		<b>56.00</b>		<b>92.00</b>							

整理番号		18		橋梁名		奥の台橋		諸元重要度						損傷度評価値					
橋梁諸元				諸元重要度 ①×②	部材	健全度		耐荷性		災害抵抗性		走行安全性							
項目	重み係数 ①	評価項目	評点 ②			評価	評点 ①	重み係数 ②	評価値 ①×②	重み係数 ③	評価値 ①×③	重み係数 ④	評価値 ①×④						
交差状況	0.15	河川	50	7.50	上部工	II	20	1.0	20.00	0.4	8.00	0.2	4.00						
橋長	0.15	26.6m	25	3.75	床版	II	20	0.6	12.00	0.1	2.00	1.0	20.00						
適用示方書	0.15	昭和55年	40	6.00	下部工	II	20	0.2	4.00	1.0	20.00	—	—						
供用年数	0.15	25年以上 50年未満	30	4.50	支承	II	20	0.2	4.00	0.8	16.00	0.2	4.00						
迂回路の有無	0.15	無し	100	15.00	路面(凹凸)	無	0	—	—	—	—	0.8	0.00						
路線の区分	0.15	1級	100	15.00															
海岸からの距離	0.10	700mを超える	0	0.00	損傷度評価値			40.00		46.00		28.00							
<b>諸元重要度 計</b>				<b>51.75</b>	<b>総合評価値(100-損傷度評価値)</b>			<b>60.00</b>		<b>54.00</b>		<b>72.00</b>							

橋梁毎の諸元重要度と損傷度評価値

整理番号		19		橋梁名		大信田橋		諸元重要度						損傷度評価値					
橋梁諸元				諸元重要度 ①×②	部材	健全度		耐荷性		災害抵抗性		走行安全性							
項目	重み係数 ①	評価項目	評点 ②			評価	評点 ①	重み係数 ②	評価値 ①×②	重み係数 ③	評価値 ①×③	重み係数 ④	評価値 ①×④						
交差状況	0.15	河川	50	7.50	上部工	II	20	1.0	20.00	0.4	8.00	0.2	4.00						
橋長	0.15	23.9m	25	3.75	床版	II	20	0.6	12.00	0.1	2.00	1.0	20.00						
適用示方書	0.15	昭和39年	70	10.50	下部工	II	20	0.2	4.00	1.0	20.00	—	—						
供用年数	0.15	50年以上 75年未満	65	9.75	支承	II	20	0.2	4.00	0.8	16.00	0.2	4.00						
迂回路の有無	0.15	有り	0	0.00	路面(凹凸)	無	0	—	—	—	—	0.8	0.00						
路線の区分	0.15	1級	100	15.00															
海岸からの距離	0.10	700mを超える	0	0.00	損傷度評価値			40.00		46.00		28.00							
<b>諸元重要度 計</b>				<b>46.50</b>	<b>総合評価値(100-損傷度評価値)</b>			<b>60.00</b>		<b>54.00</b>		<b>72.00</b>							

整理番号		20		橋梁名		小手萩橋		諸元重要度						損傷度評価値					
橋梁諸元				諸元重要度 ①×②	部材	健全度		耐荷性		災害抵抗性		走行安全性							
項目	重み係数 ①	評価項目	評点 ②			評価	評点 ①	重み係数 ②	評価値 ①×②	重み係数 ③	評価値 ①×③	重み係数 ④	評価値 ①×④						
交差状況	0.15	河川	50	7.50	上部工	I	0	1.0	0.00	0.4	0.00	0.2	0.00						
橋長	0.15	32.5m	50	7.50	床版	I	0	0.6	0.00	0.1	0.00	1.0	0.00						
適用示方書	0.15	平成14年	10	1.50	下部工	I	0	0.2	0.00	1.0	0.00	—	—						
供用年数	0.15	25年未満	0	0.00	支承	I	0	0.2	0.00	0.8	0.00	0.2	0.00						
迂回路の有無	0.15	有り	0	0.00	路面(凹凸)	無	0	—	—	—	—	0.8	0.00						
路線の区分	0.15	その他	0	0.00															
海岸からの距離	0.10	700mを超える	0	0.00	損傷度評価値			0.00		0.00		0.00							
<b>諸元重要度 計</b>				<b>16.50</b>	<b>総合評価値(100-損傷度評価値)</b>			<b>100.00</b>		<b>100.00</b>		<b>100.00</b>							

整理番号		21		橋梁名		南夏井橋		諸元重要度						損傷度評価値					
橋梁諸元				諸元重要度 ①×②	部材	健全度		耐荷性		災害抵抗性		走行安全性							
項目	重み係数 ①	評価項目	評点 ②			評価	評点 ①	重み係数 ②	評価値 ①×②	重み係数 ③	評価値 ①×③	重み係数 ④	評価値 ①×④						
交差状況	0.15	河川	50	7.50	上部工	I	0	1.0	0.00	0.4	0.00	0.2	0.00						
橋長	0.15	24.0m	25	3.75	床版	I	0	0.6	0.00	0.1	0.00	1.0	0.00						
適用示方書	0.15	平成14年	10	1.50	下部工	I	0	0.2	0.00	1.0	0.00	—	—						
供用年数	0.15	25年未満	0	0.00	支承	I	0	0.2	0.00	0.8	0.00	0.2	0.00						
迂回路の有無	0.15	有り	0	0.00	路面(凹凸)	無	0	—	—	—	—	0.8	0.00						
路線の区分	0.15	1級	100	15.00															
海岸からの距離	0.10	700mを超える	0	0.00	損傷度評価値			0.00		0.00		0.00							
<b>諸元重要度 計</b>				<b>27.75</b>	<b>総合評価値(100-損傷度評価値)</b>			<b>100.00</b>		<b>100.00</b>		<b>100.00</b>							

橋梁毎の諸元重要度と損傷度評価値

整理番号		22		橋梁名		夏井沢橋		諸元重要度						損傷度評価値					
橋梁諸元				諸元重要度 ①×②	部材	健全度		耐荷性		災害抵抗性		走行安全性							
項目	重み係数 ①	評価項目	評点 ②			評価	評点 ①	重み係数 ②	評価値 ①×②	重み係数 ③	評価値 ①×③	重み係数 ④	評価値 ①×④						
交差状況	0.15	河川	50	7.50	上部工	II	20	1.0	20.00	0.4	8.00	0.2	4.00						
橋長	0.15	28.5m	25	3.75	床版	I	0	0.6	0.00	0.1	0.00	1.0	0.00						
適用示方書	0.15	平成14年	10	1.50	下部工	I	0	0.2	0.00	1.0	0.00	—	—						
供用年数	0.15	25年未満	0	0.00	支承	I	0	0.2	0.00	0.8	0.00	0.2	0.00						
迂回路の有無	0.15	有り	0	0.00	路面(凹凸)	有	80	—	—	—	—	0.8	64.00						
路線の区分	0.15	1級	100	15.00															
海岸からの距離	0.10	700mを超える	0	0.00	損傷度評価値			20.00		8.00		68.00							
<b>諸元重要度 計</b>				<b>27.75</b>	<b>総合評価値(100-損傷度評価値)</b>			<b>80.00</b>		<b>92.00</b>		<b>32.00</b>							

整理番号		23		橋梁名		濁川橋		諸元重要度						損傷度評価値					
橋梁諸元				諸元重要度 ①×②	部材	健全度		耐荷性		災害抵抗性		走行安全性							
項目	重み係数 ①	評価項目	評点 ②			評価	評点 ①	重み係数 ②	評価値 ①×②	重み係数 ③	評価値 ①×③	重み係数 ④	評価値 ①×④						
交差状況	0.15	河川	50	7.50	上部工	I	0	1.0	0.00	0.4	0.00	0.2	0.00						
橋長	0.15	16.7m	25	3.75	床版	II	20	0.6	12.00	0.1	2.00	1.0	20.00						
適用示方書	0.15	昭和31年	80	12.00	下部工	II	20	0.2	4.00	1.0	20.00	—	—						
供用年数	0.15	50年以上 75年未満	65	9.75	支承	I	0	0.2	0.00	0.8	0.00	0.2	0.00						
迂回路の有無	0.15	有り	0	0.00	路面(凹凸)	有	80	—	—	—	—	0.8	64.00						
路線の区分	0.15	1級	100	15.00															
海岸からの距離	0.10	700mを超える	0	0.00	損傷度評価値			16.00		22.00		84.00							
<b>諸元重要度 計</b>				<b>48.00</b>	<b>総合評価値(100-損傷度評価値)</b>			<b>84.00</b>		<b>78.00</b>		<b>16.00</b>							

整理番号		24		橋梁名		川向橋		諸元重要度						損傷度評価値					
橋梁諸元				諸元重要度 ①×②	部材	健全度		耐荷性		災害抵抗性		走行安全性							
項目	重み係数 ①	評価項目	評点 ②			評価	評点 ①	重み係数 ②	評価値 ①×②	重み係数 ③	評価値 ①×③	重み係数 ④	評価値 ①×④						
交差状況	0.15	河川	50	7.50	上部工	III	80	1.0	80.00	0.4	32.00	0.2	16.00						
橋長	0.15	5.0m	0	0.00	床版	—	—	0.6	—	0.1	—	1.0	—						
適用示方書	0.15	昭和47年	60	9.00	下部工	III	80	0.2	16.00	1.0	80.00	—	—						
供用年数	0.15	25年以上 50年未満	30	4.50	支承	I	0	0.2	0.00	0.8	0.00	0.2	0.00						
迂回路の有無	0.15	有り	0	0.00	路面(凹凸)	無	0	—	—	—	—	0.8	0.00						
路線の区分	0.15	1級	100	15.00															
海岸からの距離	0.10	700mを超える	0	0.00	損傷度評価値			96.00		100.00		16.00							
<b>諸元重要度 計</b>				<b>36.00</b>	<b>総合評価値(100-損傷度評価値)</b>			<b>4.00</b>		<b>0.00</b>		<b>84.00</b>							

橋梁毎の諸元重要度と損傷度評価値

整理番号		25		橋梁名		向橋		諸元重要度						損傷度評価値					
橋梁諸元				諸元重要度 ①×②	部材	健全度		耐荷性		災害抵抗性		走行安全性							
項目	重み係数 ①	評価項目	評点 ②			評価	評点 ①	重み係数 ②	評価値 ①×②	重み係数 ③	評価値 ①×③	重み係数 ④	評価値 ①×④						
交差状況	0.15	河川	50	7.50	上部工	I	0	1.0	0.00	0.4	0.00	0.2	0.00						
橋長	0.15	5.7m	0	0.00	床版	—	—	0.6	—	0.1	—	1.0	—						
適用示方書	0.15	昭和47年	60	9.00	下部工	II	20	0.2	4.00	1.0	20.00	—	—						
供用年数	0.15	25年以上 50年未満	30	4.50	支承	I	0	0.2	0.00	0.8	0.00	0.2	0.00						
迂回路の有無	0.15	有り	0	0.00	路面(凹凸)	無	0	—	—	—	—	0.8	0.00						
路線の区分	0.15	1級	100	15.00															
海岸からの距離	0.10	700mを超える	0	0.00	損傷度評価値			4.00		20.00		0.00							
<b>諸元重要度 計</b>				<b>36.00</b>	<b>総合評価値(100-損傷度評価値)</b>			<b>96.00</b>		<b>80.00</b>		<b>100.00</b>							

整理番号		26		橋梁名		内荒巻橋		諸元重要度						損傷度評価値					
橋梁諸元				諸元重要度 ①×②	部材	健全度		耐荷性		災害抵抗性		走行安全性							
項目	重み係数 ①	評価項目	評点 ②			評価	評点 ①	重み係数 ②	評価値 ①×②	重み係数 ③	評価値 ①×③	重み係数 ④	評価値 ①×④						
交差状況	0.15	河川	50	7.50	上部工	I	0	1.0	0.00	0.4	0.00	0.2	0.00						
橋長	0.15	7.8m	0	0.00	床版	—	—	0.6	—	0.1	—	1.0	—						
適用示方書	0.15	昭和55年	40	6.00	下部工	III	80	0.2	16.00	1.0	80.00	—	—						
供用年数	0.15	25年以上 50年未満	30	4.50	支承	II	20	0.2	4.00	0.8	16.00	0.2	4.00						
迂回路の有無	0.15	有り	0	0.00	路面(凹凸)	有	80	—	—	—	—	0.8	64.00						
路線の区分	0.15	2級	50	7.50															
海岸からの距離	0.10	700mを超える	0	0.00	損傷度評価値			20.00		96.00		68.00							
<b>諸元重要度 計</b>				<b>25.50</b>	<b>総合評価値(100-損傷度評価値)</b>			<b>80.00</b>		<b>4.00</b>		<b>32.00</b>							

整理番号		27		橋梁名		北夏井橋		諸元重要度						損傷度評価値					
橋梁諸元				諸元重要度 ①×②	部材	健全度		耐荷性		災害抵抗性		走行安全性							
項目	重み係数 ①	評価項目	評点 ②			評価	評点 ①	重み係数 ②	評価値 ①×②	重み係数 ③	評価値 ①×③	重み係数 ④	評価値 ①×④						
交差状況	0.15	河川	50	7.50	上部工	III	80	1.0	80.00	0.4	32.00	0.2	16.00						
橋長	0.15	4.1m	0	0.00	床版	III	80	0.6	48.00	0.1	8.00	1.0	80.00						
適用示方書	0.15	昭和14年	90	13.50	下部工	III	80	0.2	16.00	1.0	80.00	—	—						
供用年数	0.15	50年以上 75年未満	65	9.75	支承	I	0	0.2	0.00	0.8	0.00	0.2	0.00						
迂回路の有無	0.15	有り	0	0.00	路面(凹凸)	無	0	—	—	—	—	0.8	0.00						
路線の区分	0.15	その他	0	0.00															
海岸からの距離	0.10	700mを超える	0	0.00	損傷度評価値			100.00		100.00		96.00							
<b>諸元重要度 計</b>				<b>30.75</b>	<b>総合評価値(100-損傷度評価値)</b>			<b>0.00</b>		<b>0.00</b>		<b>4.00</b>							

橋梁毎の諸元重要度と損傷度評価値

整理番号		28		橋梁名		第2北夏井橋		諸元重要度						損傷度評価値					
橋梁諸元				諸元重要度 ①×②	部材	健全度		耐荷性		災害抵抗性		走行安全性							
項目	重み係数 ①	評価項目	評点 ②			評価	評点 ①	重み係数 ②	評価値 ①×②	重み係数 ③	評価値 ①×③	重み係数 ④	評価値 ①×④						
交差状況	0.15	河川	50	7.50	上部工	II	20	1.0	20.00	0.4	8.00	0.2	4.00						
橋長	0.15	4.0m	0	0.00	床版	III	80	0.6	48.00	0.1	8.00	1.0	80.00						
適用示方書	0.15	昭和14年	90	13.50	下部工	III	80	0.2	16.00	1.0	80.00	-	-						
供用年数	0.15	50年以上 75年未満	65	9.75	支承	I	0	0.2	0.00	0.8	0.00	0.2	0.00						
迂回路の有無	0.15	有り	0	0.00	路面(凹凸)	無	0	-	-	-	-	0.8	0.00						
路線の区分	0.15	その他	0	0.00															
海岸からの距離	0.10	700mを超える	0	0.00	損傷度評価値				84.00		96.00		84.00						
<b>諸元重要度 計</b>				<b>30.75</b>	<b>総合評価値(100-損傷度評価値)</b>				<b>16.00</b>		<b>4.00</b>		<b>16.00</b>						

整理番号		29		橋梁名		磯村橋		諸元重要度						損傷度評価値					
橋梁諸元				諸元重要度 ①×②	部材	健全度		耐荷性		災害抵抗性		走行安全性							
項目	重み係数 ①	評価項目	評点 ②			評価	評点 ①	重み係数 ②	評価値 ①×②	重み係数 ③	評価値 ①×③	重み係数 ④	評価値 ①×④						
交差状況	0.15	河川	50	7.50	上部工	I	0	1.0	0.00	0.4	0.00	0.2	0.00						
橋長	0.15	10.75m	0	0.00	床版	II	20	0.6	12.00	0.1	2.00	1.0	20.00						
適用示方書	0.15	昭和31年	80	12.00	下部工	II	20	0.2	4.00	1.0	20.00	-	-						
供用年数	0.15	50年以上 75年未満	65	9.75	支承	I	0	0.2	0.00	0.8	0.00	0.2	0.00						
迂回路の有無	0.15	有り	0	0.00	路面(凹凸)	無	0	-	-	-	-	0.8	0.00						
路線の区分	0.15	1級	100	15.00															
海岸からの距離	0.10	300mを超えて500m以下	50	5.00	損傷度評価値				16.00		22.00		20.00						
<b>諸元重要度 計</b>				<b>49.25</b>	<b>総合評価値(100-損傷度評価値)</b>				<b>84.00</b>		<b>78.00</b>		<b>80.00</b>						

整理番号		30		橋梁名		新川橋		諸元重要度						損傷度評価値					
橋梁諸元				諸元重要度 ①×②	部材	健全度		耐荷性		災害抵抗性		走行安全性							
項目	重み係数 ①	評価項目	評点 ②			評価	評点 ①	重み係数 ②	評価値 ①×②	重み係数 ③	評価値 ①×③	重み係数 ④	評価値 ①×④						
交差状況	0.15	河川	50	7.50	上部工	I	0	1.0	0.00	0.4	0.00	0.2	0.00						
橋長	0.15	2.8m	0	0.00	床版	-	-	0.6	-	0.1	-	1.0	-						
適用示方書	0.15	昭和31年	80	12.00	下部工	I	0	0.2	0.00	1.0	0.00	-	-						
供用年数	0.15	50年以上 75年未満	65	9.75	支承	I	0	0.2	0.00	0.8	0.00	0.2	0.00						
迂回路の有無	0.15	有り	0	0.00	路面(凹凸)	無	0	-	-	-	-	0.8	0.00						
路線の区分	0.15	1級	100	15.00															
海岸からの距離	0.10	100m以下	100	10.00	損傷度評価値				0.00		0.00		0.00						
<b>諸元重要度 計</b>				<b>54.25</b>	<b>総合評価値(100-損傷度評価値)</b>				<b>100.00</b>		<b>100.00</b>		<b>100.00</b>						

橋梁毎の諸元重要度と損傷度評価値

整理番号		31		橋梁名		治助川橋		諸元重要度						損傷度評価値					
橋梁諸元				諸元重要度 ①×②	部材	健全度		耐荷性		災害抵抗性		走行安全性							
項目	重み係数 ①	評価項目	評点 ②			評価	評点 ①	重み係数 ②	評価値 ①×②	重み係数 ③	評価値 ①×③	重み係数 ④	評価値 ①×④						
交差状況	0.15	河川	50	7.50	上部工	I	0	1.0	0.00	0.4	0.00	0.2	0.00						
橋長	0.15	2.80m	0	0.00	床版	—	—	0.6	—	0.1	—	1.0	—						
適用示方書	0.15	昭和31年	80	12.00	下部工	I	0	0.2	0.00	1.0	0.00	—	—						
供用年数	0.15	50年以上 75年未満	65	9.75	支承	I	0	0.2	0.00	0.8	0.00	0.2	0.00						
迂回路の有無	0.15	有り	0	0.00	路面(凹凸)	無	0	—	—	—	—	0.8	0.00						
路線の区分	0.15	1級	100	15.00															
海岸からの距離	0.10	100m以下	100	10.00	損傷度評価値			0.00		0.00		0.00							
諸元重要度計				54.25	総合評価値(100-損傷度評価値)			100.00		100.00		100.00							

整理番号		32		橋梁名		挾田川橋		諸元重要度						損傷度評価値					
橋梁諸元				諸元重要度 ①×②	部材	健全度		耐荷性		災害抵抗性		走行安全性							
項目	重み係数 ①	評価項目	評点 ②			評価	評点 ①	重み係数 ②	評価値 ①×②	重み係数 ③	評価値 ①×③	重み係数 ④	評価値 ①×④						
交差状況	0.15	河川	50	7.50	上部工	—	—	1.0	—	0.4	—	0.2	—						
橋長	0.15	4.05m	0	0.00	床版	III	80	0.6	48.00	0.1	8.00	1.0	80.00						
適用示方書	0.15	昭和14年	90	13.50	下部工	III	80	0.2	16.00	1.0	80.00	—	—						
供用年数	0.15	50年以上 75年未満	65	9.75	支承	I	0	0.2	0.00	0.8	0.00	0.2	0.00						
迂回路の有無	0.15	有り	0	0.00	路面(凹凸)	有	80	—	—	—	—	0.8	64.00						
路線の区分	0.15	1級	100	15.00															
海岸からの距離	0.10	100m以下	100	10.00	損傷度評価値			64.00		88.00		100.00							
諸元重要度計				55.75	総合評価値(100-損傷度評価値)			36.00		12.00		0.00							

整理番号		33		橋梁名		上の川橋		諸元重要度						損傷度評価値					
橋梁諸元				諸元重要度 ①×②	部材	健全度		耐荷性		災害抵抗性		走行安全性							
項目	重み係数 ①	評価項目	評点 ②			評価	評点 ①	重み係数 ②	評価値 ①×②	重み係数 ③	評価値 ①×③	重み係数 ④	評価値 ①×④						
交差状況	0.15	河川	50	7.50	上部工	III	80	1.0	80.00	0.4	32.00	0.2	16.00						
橋長	0.15	8.45m	0	0.00	床版	III	80	0.6	48.00	0.1	8.00	1.0	80.00						
適用示方書	0.15	昭和55年	40	6.00	下部工	II	20	0.2	4.00	1.0	20.00	—	—						
供用年数	0.15	25年以上 50年未満	30	4.50	支承	I	0	0.2	0.00	0.8	0.00	0.2	0.00						
迂回路の有無	0.15	有り	0	0.00	路面(凹凸)	無	0	—	—	—	—	0.8	0.00						
路線の区分	0.15	その他	0	0.00															
海岸からの距離	0.10	100mを超えて300m以下	75	7.50	損傷度評価値			100.00		60.00		96.00							
諸元重要度計				25.50	総合評価値(100-損傷度評価値)			0.00		40.00		4.00							

橋梁毎の諸元重要度と損傷度評価値

整理番号		34		橋梁名		本館橋		諸元重要度						損傷度評価値					
橋梁諸元				諸元重要度 ①×②	部材	健全度		耐荷性		災害抵抗性		走行安全性							
項目	重み係数 ①	評価項目	評点 ②			評価	評点 ①	重み係数 ②	評価値 ①×②	重み係数 ③	評価値 ①×③	重み係数 ④	評価値 ①×④						
交差状況	0.15	河川	50	7.50	上部工	Ⅲ	80	1.0	80.00	0.4	32.00	0.2	16.00						
橋長	0.15	3.18m	0	0.00	床版	—	—	0.6	—	0.1	—	1.0	—						
適用示方書	0.15	昭和47年	60	9.00	下部工	Ⅱ	20	0.2	4.00	1.0	20.00	—	—						
供用年数	0.15	25年以上 50年未満	30	4.50	支承	Ⅰ	0	0.2	0.00	0.8	0.00	0.2	0.00						
迂回路の有無	0.15	有り	0	0.00	路面(凹凸)	無	0	—	—	—	—	0.8	0.00						
路線の区分	0.15	その他	0	0.00															
海岸からの距離	0.10	700mを超える	0	0.00	損傷度評価値			84.00		52.00		16.00							
諸元重要度計				21.00	総合評価値(100-損傷度評価値)			16.00		48.00		84.00							

整理番号		35		橋梁名		高野々橋		諸元重要度						損傷度評価値					
橋梁諸元				諸元重要度 ①×②	部材	健全度		耐荷性		災害抵抗性		走行安全性							
項目	重み係数 ①	評価項目	評点 ②			評価	評点 ①	重み係数 ②	評価値 ①×②	重み係数 ③	評価値 ①×③	重み係数 ④	評価値 ①×④						
交差状況	0.15	河川	50	7.50	上部工	—	—	1.0	—	0.4	—	0.2	—						
橋長	0.15	5.0m	0	0.00	床版	Ⅲ	80	0.6	48.00	0.1	8.00	1.0	80.00						
適用示方書	0.15	昭和39年	70	10.50	下部工	Ⅲ	80	0.2	16.00	1.0	80.00	—	—						
供用年数	0.15	50年以上 75年未満	65	9.75	支承	Ⅰ	0	0.2	0.00	0.8	0.00	0.2	0.00						
迂回路の有無	0.15	有り	0	0.00	路面(凹凸)	有	80	—	—	—	—	0.8	64.00						
路線の区分	0.15	1級	100	15.00															
海岸からの距離	0.10	700mを超える	0	0.00	損傷度評価値			64.00		88.00		100.00							
諸元重要度計				42.75	総合評価値(100-損傷度評価値)			36.00		12.00		0.00							

整理番号		36		橋梁名		寺下橋		諸元重要度						損傷度評価値					
橋梁諸元				諸元重要度 ①×②	部材	健全度		耐荷性		災害抵抗性		走行安全性							
項目	重み係数 ①	評価項目	評点 ②			評価	評点 ①	重み係数 ②	評価値 ①×②	重み係数 ③	評価値 ①×③	重み係数 ④	評価値 ①×④						
交差状況	0.15	河川	50	7.50	上部工	Ⅰ	0	1.0	0.00	0.4	0.00	0.2	0.00						
橋長	0.15	16.0m	25	3.75	床版	Ⅰ	0	0.6	0.00	0.1	0.00	1.0	0.00						
適用示方書	0.15	昭和31年	80	12.00	下部工	Ⅰ	0	0.2	0.00	1.0	0.00	—	—						
供用年数	0.15	50年以上 75年未満	65	9.75	支承	Ⅰ	0	0.2	0.00	0.8	0.00	0.2	0.00						
迂回路の有無	0.15	有り	0	0.00	路面(凹凸)	無	0	—	—	—	—	0.8	0.00						
路線の区分	0.15	1級	100	15.00															
海岸からの距離	0.10	700mを超える	0	0.00	損傷度評価値			0.00		0.00		0.00							
諸元重要度計				48.00	総合評価値(100-損傷度評価値)			100.00		100.00		100.00							

橋梁毎の諸元重要度と損傷度評価値

整理番号		37		橋梁名		大久保岱沢橋							
諸元重要度					損傷度評価値								
橋梁諸元				諸元重要度 ①×②	部材	健全度		耐荷性		災害抵抗性		走行安全性	
項目	重み係数 ①	評価項目	評点 ②			評価	評点 ①	重み係数 ②	評価値 ①×②	重み係数 ③	評価値 ①×③	重み係数 ④	評価値 ①×④
交差状況	0.15	河川	50	7.50	上部工	I	0	1.0	0.00	0.4	0.00	0.2	0.00
橋長	0.15	9.0m	0	0.00	床版	I	0	0.6	0.00	0.1	0.00	1.0	0.00
適用示方書	0.15	昭和47年	60	9.00	下部工	II	20	0.2	4.00	1.0	20.00	—	—
供用年数	0.15	25年以上 50年未満	30	4.50	支承	I	0	0.2	0.00	0.8	0.00	0.2	0.00
迂回路の有無	0.15	有り	0	0.00	路面(凹凸)	無	0	—	—	—	—	0.8	0.00
路線の区分	0.15	1級	100	15.00									
海岸からの距離	0.10	700mを超える	0	0.00	損傷度評価値			4.00		20.00		0.00	
諸元重要度計				36.00	総合評価値(100-損傷度評価値)			96.00		80.00		100.00	

整理番号		38		橋梁名		大久保岱橋							
諸元重要度					損傷度評価値								
橋梁諸元				諸元重要度 ①×②	部材	健全度		耐荷性		災害抵抗性		走行安全性	
項目	重み係数 ①	評価項目	評点 ②			評価	評点 ①	重み係数 ②	評価値 ①×②	重み係数 ③	評価値 ①×③	重み係数 ④	評価値 ①×④
交差状況	0.15	河川	50	7.50	上部工	I	0	1.0	0.00	0.4	0.00	0.2	0.00
橋長	0.15	6.8m	0	0.00	床版	I	0	0.6	0.00	0.1	0.00	1.0	0.00
適用示方書	0.15	昭和14年	90	13.50	下部工	II	20	0.2	4.00	1.0	20.00	—	—
供用年数	0.15	50年以上 75年未満	65	9.75	支承	I	0	0.2	0.00	0.8	0.00	0.2	0.00
迂回路の有無	0.15	有り	0	0.00	路面(凹凸)	無	0	—	—	—	—	0.8	0.00
路線の区分	0.15	1級	100	15.00									
海岸からの距離	0.10	700mを超える	0	0.00	損傷度評価値			4.00		20.00		0.00	
諸元重要度計				45.75	総合評価値(100-損傷度評価値)			96.00		80.00		100.00	

整理番号		39		橋梁名		横内橋							
諸元重要度					損傷度評価値								
橋梁諸元				諸元重要度 ①×②	部材	健全度		耐荷性		災害抵抗性		走行安全性	
項目	重み係数 ①	評価項目	評点 ②			評価	評点 ①	重み係数 ②	評価値 ①×②	重み係数 ③	評価値 ①×③	重み係数 ④	評価値 ①×④
交差状況	0.15	河川	50	7.50	上部工	II	20	1.0	20.00	0.4	8.00	0.2	4.00
橋長	0.15	14.0m	0	0.00	床版	I	0	0.6	0.00	0.1	0.00	1.0	0.00
適用示方書	0.15	昭和47年	60	9.00	下部工	II	20	0.2	4.00	1.0	20.00	—	—
供用年数	0.15	25年以上 50年未満	30	4.50	支承	II	20	0.2	4.00	0.8	16.00	0.2	4.00
迂回路の有無	0.15	有り	0	0.00	路面(凹凸)	無	0	—	—	—	—	0.8	0.00
路線の区分	0.15	2級	50	7.50									
海岸からの距離	0.10	700mを超える	0	0.00	損傷度評価値			28.00		44.00		8.00	
諸元重要度計				28.50	総合評価値(100-損傷度評価値)			72.00		56.00		92.00	

橋梁毎の諸元重要度と損傷度評価値

整理番号		40		橋梁名		寺ノ沢新橋		損傷度評価値					
橋梁諸元				諸元重要度 ①×②	部材	健全度		耐荷性		災害抵抗性		走行安全性	
項目	重み係数 ①	評価項目	評点 ②			評価	評点 ①	重み係数 ②	評価値 ①×②	重み係数 ③	評価値 ①×③	重み係数 ④	評価値 ①×④
交差状況	0.15	河川	50	7.50	上部工	I	0	1.0	0.00	0.4	0.00	0.2	0.00
橋長	0.15	8.4m	0	0.00	床版	I	0	0.6	0.00	0.1	0.00	1.0	0.00
適用示方書	0.15	平成8年	20	3.00	下部工	II	20	0.2	4.00	1.0	20.00	—	—
供用年数	0.15	25年未満	0	0.00	支承	I	0	0.2	0.00	0.8	0.00	0.2	0.00
迂回路の有無	0.15	有り	0	0.00	路面(凹凸)	無	0	—	—	—	—	0.8	0.00
路線の区分	0.15	その他	0	0.00									
海岸からの距離	0.10	700mを超える	0	0.00	損傷度評価値			4.00		20.00		0.00	
<b>諸元重要度計</b>				<b>10.50</b>	<b>総合評価値(100-損傷度評価値)</b>			<b>96.00</b>		<b>80.00</b>		<b>100.00</b>	

整理番号		41		橋梁名		小母谷橋		損傷度評価値					
橋梁諸元				諸元重要度 ①×②	部材	健全度		耐荷性		災害抵抗性		走行安全性	
項目	重み係数 ①	評価項目	評点 ②			評価	評点 ①	重み係数 ②	評価値 ①×②	重み係数 ③	評価値 ①×③	重み係数 ④	評価値 ①×④
交差状況	0.15	河川	50	7.50	上部工	II	20	1.0	20.00	0.4	8.00	0.2	4.00
橋長	0.15	10.0m	0	0.00	床版	II	20	0.6	12.00	0.1	2.00	1.0	20.00
適用示方書	0.15	昭和39年	70	10.50	下部工	II	20	0.2	4.00	1.0	20.00	—	—
供用年数	0.15	50年以上 75年未満	65	9.75	支承	I	0	0.2	0.00	0.8	0.00	0.2	0.00
迂回路の有無	0.15	有り	0	0.00	路面(凹凸)	無	0	—	—	—	—	0.8	0.00
路線の区分	0.15	1級	100	15.00									
海岸からの距離	0.10	300mを超えて500m以下	50	5.00	損傷度評価値			36.00		30.00		24.00	
<b>諸元重要度計</b>				<b>47.75</b>	<b>総合評価値(100-損傷度評価値)</b>			<b>64.00</b>		<b>70.00</b>		<b>76.00</b>	

整理番号		42		橋梁名		湯の尻橋		損傷度評価値					
橋梁諸元				諸元重要度 ①×②	部材	健全度		耐荷性		災害抵抗性		走行安全性	
項目	重み係数 ①	評価項目	評点 ②			評価	評点 ①	重み係数 ②	評価値 ①×②	重み係数 ③	評価値 ①×③	重み係数 ④	評価値 ①×④
交差状況	0.15	河川	50	7.50	上部工	II	20	1.0	20.00	0.4	8.00	0.2	4.00
橋長	0.15	2.5m	0	0.00	床版	—	—	0.6	—	0.1	—	1.0	—
適用示方書	0.15	昭和14年	90	13.50	下部工	II	20	0.2	4.00	1.0	20.00	—	—
供用年数	0.15	50年以上 75年未満	65	9.75	支承	I	0	0.2	0.00	0.8	0.00	0.2	0.00
迂回路の有無	0.15	有り	0	0.00	路面(凹凸)	無	0	—	—	—	—	0.8	0.00
路線の区分	0.15	1級	100	15.00									
海岸からの距離	0.10	300mを超えて500m以下	50	5.00	損傷度評価値			24.00		28.00		4.00	
<b>諸元重要度計</b>				<b>50.75</b>	<b>総合評価値(100-損傷度評価値)</b>			<b>76.00</b>		<b>72.00</b>		<b>96.00</b>	

橋梁毎の諸元重要度と損傷度評価値

整理番号		43		橋梁名		寺の後橋		諸元重要度						損傷度評価値					
橋梁諸元				諸元重要度 ①×②	部材	健全度		耐荷性		災害抵抗性		走行安全性							
項目	重み係数 ①	評価項目	評点 ②			評価	評点 ①	重み係数 ②	評価値 ①×②	重み係数 ③	評価値 ①×③	重み係数 ④	評価値 ①×④						
交差状況	0.15	河川	50	7.50	上部工	II	20	1.0	20.00	0.4	8.00	0.2	4.00						
橋長	0.15	2.3m	0	0.00	床版	-	-	0.6	-	0.1	-	1.0	-						
適用示方書	0.15	昭和14年	90	13.50	下部工	II	20	0.2	4.00	1.0	20.00	-	-						
供用年数	0.15	50年以上 75年未満	65	9.75	支承	I	0	0.2	0.00	0.8	0.00	0.2	0.00						
迂回路の有無	0.15	有り	0	0.00	路面(凹凸)	無	0	-	-	-	-	0.8	0.00						
路線の区分	0.15	1級	100	15.00															
海岸からの距離	0.10	100mを超えて300m以下	75	7.50	損傷度評価値			24.00		28.00		4.00							
<b>諸元重要度計</b>				<b>53.25</b>	<b>総合評価値(100-損傷度評価値)</b>			<b>76.00</b>		<b>72.00</b>		<b>96.00</b>							

整理番号		44		橋梁名		白瀑1号橋		諸元重要度						損傷度評価値					
橋梁諸元				諸元重要度 ①×②	部材	健全度		耐荷性		災害抵抗性		走行安全性							
項目	重み係数 ①	評価項目	評点 ②			評価	評点 ①	重み係数 ②	評価値 ①×②	重み係数 ③	評価値 ①×③	重み係数 ④	評価値 ①×④						
交差状況	0.15	河川	50	7.50	上部工	II	20	1.0	20.00	0.4	8.00	0.2	4.00						
橋長	0.15	10.1m	0	0.00	床版	I	0	0.6	0.00	0.1	0.00	1.0	0.00						
適用示方書	0.15	昭和53年	50	7.50	下部工	II	20	0.2	4.00	1.0	20.00	-	-						
供用年数	0.15	25年以上 50年未満	30	4.50	支承	I	0	0.2	0.00	0.8	0.00	0.2	0.00						
迂回路の有無	0.15	有り	0	0.00	路面(凹凸)	無	0	-	-	-	-	0.8	0.00						
路線の区分	0.15	1級	100	15.00															
海岸からの距離	0.10	100mを超えて300m以下	75	7.50	損傷度評価値			24.00		28.00		4.00							
<b>諸元重要度計</b>				<b>42.00</b>	<b>総合評価値(100-損傷度評価値)</b>			<b>76.00</b>		<b>72.00</b>		<b>96.00</b>							

整理番号		45		橋梁名		平沢橋		諸元重要度						損傷度評価値					
橋梁諸元				諸元重要度 ①×②	部材	健全度		耐荷性		災害抵抗性		走行安全性							
項目	重み係数 ①	評価項目	評点 ②			評価	評点 ①	重み係数 ②	評価値 ①×②	重み係数 ③	評価値 ①×③	重み係数 ④	評価値 ①×④						
交差状況	0.15	河川	50	7.50	上部工	-	-	1.0	-	0.4	-	0.2	-						
橋長	0.15	11.1m	0	0.00	床版	II	20	0.6	12.00	0.1	2.00	1.0	20.00						
適用示方書	0.15	昭和39年	70	10.50	下部工	II	20	0.2	4.00	1.0	20.00	-	-						
供用年数	0.15	50年以上 75年未満	65	9.75	支承	II	20	0.2	4.00	0.8	16.00	0.2	4.00						
迂回路の有無	0.15	有り	0	0.00	路面(凹凸)	無	0	-	-	-	-	0.8	0.00						
路線の区分	0.15	1級	100	15.00															
海岸からの距離	0.10	100mを超えて300m以下	75	7.50	損傷度評価値			20.00		38.00		24.00							
<b>諸元重要度計</b>				<b>50.25</b>	<b>総合評価値(100-損傷度評価値)</b>			<b>80.00</b>		<b>62.00</b>		<b>76.00</b>							

橋梁毎の諸元重要度と損傷度評価値

整理番号		46		橋梁名		観海橋		諸元重要度						損傷度評価値					
橋梁諸元				諸元重要度 ①×②	部材	健全度		耐荷性		災害抵抗性		走行安全性							
項目	重み係数 ①	評価項目	評点 ②			評価	評点 ①	重み係数 ②	評価値 ①×②	重み係数 ③	評価値 ①×③	重み係数 ④	評価値 ①×④						
交差状況	0.15	河川	50	7.50	上部工	Ⅲ	80	1.0	80.00	0.4	32.00	0.2	16.00						
橋長	0.15	10.44m	0	0.00	床版	Ⅱ	20	0.6	12.00	0.1	2.00	1.0	20.00						
適用示方書	0.15	昭和55年	40	6.00	下部工	Ⅲ	80	0.2	16.00	1.0	80.00	—	—						
供用年数	0.15	25年以上 50年未満	30	4.50	支承	Ⅰ	0	0.2	0.00	0.8	0.00	0.2	0.00						
迂回路の有無	0.15	有り	0	0.00	路面(凹凸)	有	80	—	—	—	—	0.8	64.00						
路線の区分	0.15	1級	100	15.00															
海岸からの距離	0.10	100m以下	100	10.00	損傷度評価値			100.00		100.00		100.00							
諸元重要度計				43.00	総合評価値(100-損傷度評価値)			0.00		0.00		0.00							

整理番号		47		橋梁名		白瀑2号橋		諸元重要度						損傷度評価値					
橋梁諸元				諸元重要度 ①×②	部材	健全度		耐荷性		災害抵抗性		走行安全性							
項目	重み係数 ①	評価項目	評点 ②			評価	評点 ①	重み係数 ②	評価値 ①×②	重み係数 ③	評価値 ①×③	重み係数 ④	評価値 ①×④						
交差状況	0.15	河川	50	7.50	上部工	Ⅱ	20	1.0	20.00	0.4	8.00	0.2	4.00						
橋長	0.15	7.85m	0	0.00	床版	Ⅱ	20	0.6	12.00	0.1	2.00	1.0	20.00						
適用示方書	0.15	昭和53年	50	7.50	下部工	Ⅱ	20	0.2	4.00	1.0	20.00	—	—						
供用年数	0.15	25年以上 50年未満	30	4.50	支承	Ⅰ	0	0.2	0.00	0.8	0.00	0.2	0.00						
迂回路の有無	0.15	有り	0	0.00	路面(凹凸)	無	0	—	—	—	—	0.8	0.00						
路線の区分	0.15	その他	0	0.00															
海岸からの距離	0.10	100mを超えて300m以下	75	7.50	損傷度評価値			36.00		30.00		24.00							
諸元重要度計				27.00	総合評価値(100-損傷度評価値)			64.00		70.00		76.00							

整理番号		48		橋梁名		白瀑3号橋		諸元重要度						損傷度評価値					
橋梁諸元				諸元重要度 ①×②	部材	健全度		耐荷性		災害抵抗性		走行安全性							
項目	重み係数 ①	評価項目	評点 ②			評価	評点 ①	重み係数 ②	評価値 ①×②	重み係数 ③	評価値 ①×③	重み係数 ④	評価値 ①×④						
交差状況	0.15	河川	50	7.50	上部工	Ⅱ	20	1.0	20.00	0.4	8.00	0.2	4.00						
橋長	0.15	8.74m	0	0.00	床版	Ⅰ	0	0.6	0.00	0.1	0.00	1.0	0.00						
適用示方書	0.15	昭和53年	50	7.50	下部工	Ⅱ	20	0.2	4.00	1.0	20.00	—	—						
供用年数	0.15	25年以上 50年未満	30	4.50	支承	Ⅰ	0	0.2	0.00	0.8	0.00	0.2	0.00						
迂回路の有無	0.15	有り	0	0.00	路面(凹凸)	無	0	—	—	—	—	0.8	0.00						
路線の区分	0.15	その他	0	0.00															
海岸からの距離	0.10	700mを超える	0	0.00	損傷度評価値			24.00		28.00		4.00							
諸元重要度計				19.50	総合評価値(100-損傷度評価値)			76.00		72.00		96.00							

橋梁毎の諸元重要度と損傷度評価値

整理番号		49		橋梁名		新浜田橋		諸元重要度						損傷度評価値					
橋梁諸元				諸元重要度 ①×②	部材	健全度		耐荷性		災害抵抗性		走行安全性							
項目	重み係数 ①	評価項目	評点 ②			評価	評点 ①	重み係数 ②	評価値 ①×②	重み係数 ③	評価値 ①×③	重み係数 ④	評価値 ①×④						
交差状況	0.15	河川	50	7.50	上部工	—	—	1.0	—	0.4	—	0.2	—						
橋長	0.15	2.1m	0	0.00	床版	II	20	0.6	12.00	0.1	2.00	1.0	20.00						
適用示方書	0.15	昭和47年	60	9.00	下部工	II	20	0.2	4.00	1.0	20.00	—	—						
供用年数	0.15	25年以上 50年未満	30	4.50	支承	—	—	0.2	—	0.8	—	0.2	—						
迂回路の有無	0.15	有り	0	0.00	路面(凹凸)	無	0	—	—	—	—	0.8	0.00						
路線の区分	0.15	1級	100	15.00															
海岸からの距離	0.10	300mを超えて500m以下	50	5.00	損傷度評価値			16.00		22.00		20.00							
<b>諸元重要度 計</b>				<b>41.00</b>	<b>総合評価値(100-損傷度評価値)</b>			<b>84.00</b>		<b>78.00</b>		<b>80.00</b>							

整理番号		50		橋梁名		山内新橋		諸元重要度						損傷度評価値					
橋梁諸元				諸元重要度 ①×②	部材	健全度		耐荷性		災害抵抗性		走行安全性							
項目	重み係数 ①	評価項目	評点 ②			評価	評点 ①	重み係数 ②	評価値 ①×②	重み係数 ③	評価値 ①×③	重み係数 ④	評価値 ①×④						
交差状況	0.15	河川	50	7.50	上部工	II	20	1.0	20.00	0.4	8.00	0.2	4.00						
橋長	0.15	8.57m	0	0.00	床版	II	20	0.6	12.00	0.1	2.00	1.0	20.00						
適用示方書	0.15	昭和39年	70	10.50	下部工	II	20	0.2	4.00	1.0	20.00	—	—						
供用年数	0.15	25年以上 50年未満	30	4.50	支承	I	0	0.2	0.00	0.8	0.00	0.2	0.00						
迂回路の有無	0.15	有り	0	0.00	路面(凹凸)	無	0	—	—	—	—	0.8	0.00						
路線の区分	0.15	その他	0	0.00															
海岸からの距離	0.10	100mを超えて300m以下	75	7.50	損傷度評価値			36.00		30.00		24.00							
<b>諸元重要度 計</b>				<b>30.00</b>	<b>総合評価値(100-損傷度評価値)</b>			<b>64.00</b>		<b>70.00</b>		<b>76.00</b>							

整理番号		51		橋梁名		茂浦浜橋		諸元重要度						損傷度評価値					
橋梁諸元				諸元重要度 ①×②	部材	健全度		耐荷性		災害抵抗性		走行安全性							
項目	重み係数 ①	評価項目	評点 ②			評価	評点 ①	重み係数 ②	評価値 ①×②	重み係数 ③	評価値 ①×③	重み係数 ④	評価値 ①×④						
交差状況	0.15	河川	50	7.50	上部工	—	—	1.0	—	0.4	—	0.2	—						
橋長	0.15	2.5m	0	0.00	床版	III	80	0.6	48.00	0.1	8.00	1.0	80.00						
適用示方書	0.15	昭和47年	60	9.00	下部工	II	20	0.2	4.00	1.0	20.00	—	—						
供用年数	0.15	25年以上 50年未満	30	4.50	支承	I	0	0.2	0.00	0.8	0.00	0.2	0.00						
迂回路の有無	0.15	有り	0	0.00	路面(凹凸)	無	0	—	—	—	—	0.8	0.00						
路線の区分	0.15	その他	0	0.00															
海岸からの距離	0.10	100m以下	100	10.00	損傷度評価値			52.00		28.00		80.00							
<b>諸元重要度 計</b>				<b>31.00</b>	<b>総合評価値(100-損傷度評価値)</b>			<b>48.00</b>		<b>72.00</b>		<b>20.00</b>							

橋梁毎の諸元重要度と損傷度評価値

整理番号		52		橋梁名		大持橋		諸元重要度						損傷度評価値					
橋梁諸元				諸元重要度 ①×②	部材	健全度		耐荷性		災害抵抗性		走行安全性							
項目	重み係数 ①	評価項目	評点 ②			評価	評点 ①	重み係数 ②	評価値 ①×②	重み係数 ③	評価値 ①×③	重み係数 ④	評価値 ①×④						
交差状況	0.15	河川	50	7.50	上部工	—	—	1.0	—	0.4	—	0.2	—						
橋 長	0.15	4.0m	0	0.00	床 版	II	20	0.6	12.00	0.1	2.00	1.0	20.00						
適用示方書	0.15	昭和47年	60	9.00	下部工	II	20	0.2	4.00	1.0	20.00	—	—						
供用年数	0.15	25年以上 50年未満	30	4.50	支 承	—	—	0.2	—	0.8	—	0.2	—						
迂回路の有無	0.15	有り	0	0.00	路面(凹凸)	無	0	—	—	—	—	0.8	0.00						
路線の区分	0.15	その他	0	0.00															
海岸からの距離	0.10	700mを超える	0	0.00	損傷度評価値			16.00		22.00		20.00							
<b>諸元重要度 計</b>				<b>21.00</b>	<b>総合評価値(100-損傷度評価値)</b>			<b>84.00</b>		<b>78.00</b>		<b>80.00</b>							

整理番号		53		橋梁名		ウルシ沢橋		諸元重要度						損傷度評価値					
橋梁諸元				諸元重要度 ①×②	部材	健全度		耐荷性		災害抵抗性		走行安全性							
項目	重み係数 ①	評価項目	評点 ②			評価	評点 ①	重み係数 ②	評価値 ①×②	重み係数 ③	評価値 ①×③	重み係数 ④	評価値 ①×④						
交差状況	0.15	河川	50	7.50	上部工	III	80	1.0	80.00	0.4	32.00	0.2	16.00						
橋 長	0.15	11.0m	0	0.00	床 版	II	20	0.6	12.00	0.1	2.00	1.0	20.00						
適用示方書	0.15	昭和31年	80	12.00	下部工	II	20	0.2	4.00	1.0	20.00	—	—						
供用年数	0.15	50年以上 75年未満	65	9.75	支 承	II	20	0.2	4.00	0.8	16.00	0.2	4.00						
迂回路の有無	0.15	有り	0	0.00	路面(凹凸)	無	0	—	—	—	—	0.8	0.00						
路線の区分	0.15	その他	0	0.00															
海岸からの距離	0.10	700mを超える	0	0.00	損傷度評価値			100.00		70.00		40.00							
<b>諸元重要度 計</b>				<b>29.25</b>	<b>総合評価値(100-損傷度評価値)</b>			<b>0.00</b>		<b>30.00</b>		<b>60.00</b>							

整理番号		54		橋梁名		小釜沢橋		諸元重要度						損傷度評価値					
橋梁諸元				諸元重要度 ①×②	部材	健全度		耐荷性		災害抵抗性		走行安全性							
項目	重み係数 ①	評価項目	評点 ②			評価	評点 ①	重み係数 ②	評価値 ①×②	重み係数 ③	評価値 ①×③	重み係数 ④	評価値 ①×④						
交差状況	0.15	河川	50	7.50	上部工	I	0	1.0	0.00	0.4	0.00	0.2	0.00						
橋 長	0.15	5.9m	0	0.00	床 版	—	—	0.6	—	0.1	—	1.0	—						
適用示方書	0.15	昭和47年	60	9.00	下部工	II	20	0.2	4.00	1.0	20.00	—	—						
供用年数	0.15	25年以上 50年未満	30	4.50	支 承	—	—	0.2	—	0.8	—	0.2	—						
迂回路の有無	0.15	有り	0	0.00	路面(凹凸)	無	0	—	—	—	—	0.8	0.00						
路線の区分	0.15	1級	100	15.00															
海岸からの距離	0.10	700mを超える	0	0.00	損傷度評価値			4.00		20.00		0.00							
<b>諸元重要度 計</b>				<b>36.00</b>	<b>総合評価値(100-損傷度評価値)</b>			<b>96.00</b>		<b>80.00</b>		<b>100.00</b>							

橋梁毎の諸元重要度と損傷度評価値

整理番号		55		橋梁名		奥入瀬橋		諸元重要度						損傷度評価値					
橋梁諸元				諸元重要度 ①×②	部材	健全度		耐荷性		災害抵抗性		走行安全性							
項目	重み係数 ①	評価項目	評点 ②			評価	評点 ①	重み係数 ②	評価値 ①×②	重み係数 ③	評価値 ①×③	重み係数 ④	評価値 ①×④						
交差状況	0.15	河川	50	7.50	上部工	-	-	1.0	-	0.4	-	0.2	-						
橋長	0.15	5.8m	0	0.00	床版	II	20	0.6	12.00	0.1	2.00	1.0	20.00						
適用示方書	0.15	昭和47年	60	9.00	下部工	II	20	0.2	4.00	1.0	20.00	-	-						
供用年数	0.15	25年以上 50年未満	30	4.50	支承	-	-	0.2	-	0.8	-	0.2	-						
迂回路の有無	0.15	有り	0	0.00	路面(凹凸)	無	0	-	-	-	-	0.8	0.00						
路線の区分	0.15	1級	100	15.00															
海岸からの距離	0.10	700mを超える	0	0.00	損傷度評価値			16.00		22.00		20.00							
<b>諸元重要度計</b>				<b>36.00</b>	<b>総合評価値(100-損傷度評価値)</b>			<b>84.00</b>		<b>78.00</b>		<b>80.00</b>							

整理番号		56		橋梁名		嘉治助台橋		諸元重要度						損傷度評価値					
橋梁諸元				諸元重要度 ①×②	部材	健全度		耐荷性		災害抵抗性		走行安全性							
項目	重み係数 ①	評価項目	評点 ②			評価	評点 ①	重み係数 ②	評価値 ①×②	重み係数 ③	評価値 ①×③	重み係数 ④	評価値 ①×④						
交差状況	0.15	河川	50	7.50	上部工	-	-	1.0	-	0.4	-	0.2	-						
橋長	0.15	2.4m	0	0.00	床版	II	20	0.6	12.00	0.1	2.00	1.0	20.00						
適用示方書	0.15	昭和47年	60	9.00	下部工	II	20	0.2	4.00	1.0	20.00	-	-						
供用年数	0.15	25年以上 50年未満	30	4.50	支承	-	-	0.2	-	0.8	-	0.2	-						
迂回路の有無	0.15	有り	0	0.00	路面(凹凸)	無	0	-	-	-	-	0.8	0.00						
路線の区分	0.15	1級	100	15.00															
海岸からの距離	0.10	500mを超えて700m以下	25	2.50	損傷度評価値			16.00		22.00		20.00							
<b>諸元重要度計</b>				<b>38.50</b>	<b>総合評価値(100-損傷度評価値)</b>			<b>84.00</b>		<b>78.00</b>		<b>80.00</b>							

整理番号		57		橋梁名		茂浦橋		諸元重要度						損傷度評価値					
橋梁諸元				諸元重要度 ①×②	部材	健全度		耐荷性		災害抵抗性		走行安全性							
項目	重み係数 ①	評価項目	評点 ②			評価	評点 ①	重み係数 ②	評価値 ①×②	重み係数 ③	評価値 ①×③	重み係数 ④	評価値 ①×④						
交差状況	0.15	河川	50	7.50	上部工	-	-	1.0	-	0.4	-	0.2	-						
橋長	0.15	3.9m	0	0.00	床版	II	20	0.6	12.00	0.1	2.00	1.0	20.00						
適用示方書	0.15	昭和47年	60	9.00	下部工	II	20	0.2	4.00	1.0	20.00	-	-						
供用年数	0.15	25年以上 50年未満	30	4.50	支承	-	-	0.2	-	0.8	-	0.2	-						
迂回路の有無	0.15	有り	0	0.00	路面(凹凸)	無	0	-	-	-	-	0.8	0.00						
路線の区分	0.15	その他	0	0.00															
海岸からの距離	0.10	100mを超えて300m以下	75	7.50	損傷度評価値			16.00		22.00		20.00							
<b>諸元重要度計</b>				<b>28.50</b>	<b>総合評価値(100-損傷度評価値)</b>			<b>84.00</b>		<b>78.00</b>		<b>80.00</b>							

橋梁毎の諸元重要度と損傷度評価値

整理番号		58		橋梁名		中浜橋		諸元重要度						損傷度評価値					
橋梁諸元				諸元重要度 ①×②	部材	健全度		耐荷性		災害抵抗性		走行安全性							
項目	重み係数 ①	評価項目	評点 ②			評価	評点 ①	重み係数 ②	評価値 ①×②	重み係数 ③	評価値 ①×③	重み係数 ④	評価値 ①×④						
交差状況	0.15	河川	50	7.50	上部工	—	—	1.0	—	0.4	—	0.2	—						
橋長	0.15	3.9m	0	0.00	床版	II	20	0.6	12.00	0.1	2.00	1.0	20.00						
適用示方書	0.15	昭和55年	40	6.00	下部工	II	20	0.2	4.00	1.0	20.00	—	—						
供用年数	0.15	25年以上 50年未満	30	4.50	支承	—	—	0.2	—	0.8	—	0.2	—						
迂回路の有無	0.15	有り	0	0.00	路面(凹凸)	無	0	—	—	—	—	0.8	0.00						
路線の区分	0.15	その他	0	0.00															
海岸からの距離	0.10	100mを超えて300m以下	75	7.50	損傷度評価値			16.00		22.00		20.00							
諸元重要度計				25.50	総合評価値(100-損傷度評価値)			84.00		78.00		80.00							

整理番号		59		橋梁名		鯨橋		諸元重要度						損傷度評価値					
橋梁諸元				諸元重要度 ①×②	部材	健全度		耐荷性		災害抵抗性		走行安全性							
項目	重み係数 ①	評価項目	評点 ②			評価	評点 ①	重み係数 ②	評価値 ①×②	重み係数 ③	評価値 ①×③	重み係数 ④	評価値 ①×④						
交差状況	0.15	河川	50	7.50	上部工	—	—	1.0	—	0.4	—	0.2	—						
橋長	0.15	2.6m	0	0.00	床版	I	0	0.6	0.00	0.1	0.00	1.0	0.00						
適用示方書	0.15	昭和47年	60	9.00	下部工	II	20	0.2	4.00	1.0	20.00	—	—						
供用年数	0.15	25年以上 50年未満	30	4.50	支承	—	—	0.2	—	0.8	—	0.2	—						
迂回路の有無	0.15	有り	0	0.00	路面(凹凸)	有	80	—	—	—	—	0.8	64.00						
路線の区分	0.15	その他	0	0.00															
海岸からの距離	0.10	300mを超えて500m以下	50	5.00	損傷度評価値			4.00		20.00		64.00							
諸元重要度計				26.00	総合評価値(100-損傷度評価値)			96.00		80.00		36.00							

整理番号		60		橋梁名		大岱橋		諸元重要度						損傷度評価値					
橋梁諸元				諸元重要度 ①×②	部材	健全度		耐荷性		災害抵抗性		走行安全性							
項目	重み係数 ①	評価項目	評点 ②			評価	評点 ①	重み係数 ②	評価値 ①×②	重み係数 ③	評価値 ①×③	重み係数 ④	評価値 ①×④						
交差状況	0.15	河川	50	7.50	上部工	I	0	1.0	0.00	0.4	0.00	0.2	0.00						
橋長	0.15	10.4m	0	0.00	床版	I	0	0.6	0.00	0.1	0.00	1.0	0.00						
適用示方書	0.15	昭和47年	60	9.00	下部工	I	0	0.2	0.00	1.0	0.00	—	—						
供用年数	0.15	25年以上 50年未満	30	4.50	支承	I	0	0.2	0.00	0.8	0.00	0.2	0.00						
迂回路の有無	0.15	有り	0	0.00	路面(凹凸)	無	0	—	—	—	—	0.8	0.00						
路線の区分	0.15	1級	100	15.00															
海岸からの距離	0.10	700mを超える	0	0.00	損傷度評価値			0.00		0.00		0.00							
諸元重要度計				36.00	総合評価値(100-損傷度評価値)			100.00		100.00		100.00							

橋梁毎の諸元重要度と損傷度評価値

整理番号		61		橋梁名		強坂橋		諸元重要度						損傷度評価値					
橋梁諸元				諸元重要度 ①×②	部材	健全度		耐荷性		災害抵抗性		走行安全性							
項目	重み係数 ①	評価項目	評点 ②			評価	評点 ①	重み係数 ②	評価値 ①×②	重み係数 ③	評価値 ①×③	重み係数 ④	評価値 ①×④						
交差状況	0.15	河川	50	7.50	上部工	I	0	1.0	0.00	0.4	0.00	0.2	0.00						
橋長	0.15	3.2m	0	0.00	床版	-	-	0.6	-	0.1	-	1.0	-						
適用示方書	0.15	昭和47年	60	9.00	下部工	II	20	0.2	4.00	1.0	20.00	-	-						
供用年数	0.15	25年以上 50年未満	30	4.50	支承	-	-	0.2	-	0.8	-	0.2	-						
迂回路の有無	0.15	有り	0	0.00	路面(凹凸)	無	0	-	-	-	-	0.8	0.00						
路線の区分	0.15	2級	50	7.50															
海岸からの距離	0.10	700mを超える	0	0.00	損傷度評価値			4.00		20.00		0.00							
諸元重要度計				28.50	総合評価値(100-損傷度評価値)			96.00		80.00		100.00							

整理番号		62		橋梁名		浜田橋		諸元重要度						損傷度評価値					
橋梁諸元				諸元重要度 ①×②	部材	健全度		耐荷性		災害抵抗性		走行安全性							
項目	重み係数 ①	評価項目	評点 ②			評価	評点 ①	重み係数 ②	評価値 ①×②	重み係数 ③	評価値 ①×③	重み係数 ④	評価値 ①×④						
交差状況	0.15	河川	50	7.50	上部工	-	-	1.0	-	0.4	-	0.2	-						
橋長	0.15	2.75m	0	0.00	床版	II	20	0.6	12.00	0.1	2.00	1.0	20.00						
適用示方書	0.15	昭和14年	90	13.50	下部工	II	20	0.2	4.00	1.0	20.00	-	-						
供用年数	0.15	50年以上 75年未満	65	9.75	支承	-	-	0.2	-	0.8	-	0.2	-						
迂回路の有無	0.15	有り	0	0.00	路面(凹凸)	無	0	-	-	-	-	0.8	0.00						
路線の区分	0.15	1級	100	15.00															
海岸からの距離	0.10	100mを超えて300m以下	75	7.50	損傷度評価値			16.00		22.00		20.00							
諸元重要度計				53.25	総合評価値(100-損傷度評価値)			84.00		78.00		80.00							

整理番号		63		橋梁名		門の沢橋		諸元重要度						損傷度評価値					
橋梁諸元				諸元重要度 ①×②	部材	健全度		耐荷性		災害抵抗性		走行安全性							
項目	重み係数 ①	評価項目	評点 ②			評価	評点 ①	重み係数 ②	評価値 ①×②	重み係数 ③	評価値 ①×③	重み係数 ④	評価値 ①×④						
交差状況	0.15	河川	50	7.50	上部工	-	-	1.0	-	0.4	-	0.2	-						
橋長	0.15	2.5m	0	0.00	床版	II	20	0.6	12.00	0.1	2.00	1.0	20.00						
適用示方書	0.15	昭和14年	90	13.50	下部工	I	0	0.2	0.00	1.0	0.00	-	-						
供用年数	0.15	50年以上 75年未満	65	9.75	支承	-	-	0.2	-	0.8	-	0.2	-						
迂回路の有無	0.15	有り	0	0.00	路面(凹凸)	有	80	-	-	-	-	0.8	64.00						
路線の区分	0.15	1級	100	15.00															
海岸からの距離	0.10	100m以下	100	10.00	損傷度評価値			12.00		2.00		84.00							
諸元重要度計				55.75	総合評価値(100-損傷度評価値)			88.00		98.00		16.00							

橋梁毎の諸元重要度と損傷度評価値

整理番号		64		橋梁名		杉の沢橋		諸元重要度						損傷度評価値					
橋梁諸元				諸元重要度 ①×②	部材	健全度		耐荷性		災害抵抗性		走行安全性							
項目	重み係数 ①	評価項目	評点 ②			評価	評点 ①	重み係数 ②	評価値 ①×②	重み係数 ③	評価値 ①×③	重み係数 ④	評価値 ①×④						
交差状況	0.15	河川	50	7.50	上部工	II	20	1.0	20.00	0.4	8.00	0.2	4.00						
橋長	0.15	6.16m	0	0.00	床版	II	20	0.6	12.00	0.1	2.00	1.0	20.00						
適用示方書	0.15	昭和55年	40	6.00	下部工	II	20	0.2	4.00	1.0	20.00	-	-						
供用年数	0.15	25年以上 50年未満	30	4.50	支承	I	0	0.2	0.00	0.8	0.00	0.2	0.00						
迂回路の有無	0.15	有り	0	0.00	路面(凹凸)	無	0	-	-	-	-	0.8	0.00						
路線の区分	0.15	その他	0	0.00															
海岸からの距離	0.10	300mを超えて500m以下	50	5.00	損傷度評価値			36.00		30.00		24.00							
諸元重要度計				23.00	総合評価値(100-損傷度評価値)			64.00		70.00		76.00							

整理番号		65		橋梁名		雪沢橋		諸元重要度						損傷度評価値					
橋梁諸元				諸元重要度 ①×②	部材	健全度		耐荷性		災害抵抗性		走行安全性							
項目	重み係数 ①	評価項目	評点 ②			評価	評点 ①	重み係数 ②	評価値 ①×②	重み係数 ③	評価値 ①×③	重み係数 ④	評価値 ①×④						
交差状況	0.15	河川	50	7.50	上部工	-	-	1.0	-	0.4	-	0.2	-						
橋長	0.15	5.5m	0	0.00	床版	I	0	0.6	0.00	0.1	0.00	1.0	0.00						
適用示方書	0.15	昭和47年	60	9.00	下部工	II	20	0.2	4.00	1.0	20.00	-	-						
供用年数	0.15	25年以上 50年未満	30	4.50	支承	I	0	0.2	0.00	0.8	0.00	0.2	0.00						
迂回路の有無	0.15	有り	0	0.00	路面(凹凸)	有	80	-	-	-	-	0.8	64.00						
路線の区分	0.15	1級	100	15.00															
海岸からの距離	0.10	700mを超える	0	0.00	損傷度評価値			4.00		20.00		64.00							
諸元重要度計				36.00	総合評価値(100-損傷度評価値)			96.00		80.00		36.00							

整理番号		66		橋梁名		笹田橋		諸元重要度						損傷度評価値					
橋梁諸元				諸元重要度 ①×②	部材	健全度		耐荷性		災害抵抗性		走行安全性							
項目	重み係数 ①	評価項目	評点 ②			評価	評点 ①	重み係数 ②	評価値 ①×②	重み係数 ③	評価値 ①×③	重み係数 ④	評価値 ①×④						
交差状況	0.15	河川	50	7.50	上部工	I	0	1.0	0.00	0.4	0.00	0.2	0.00						
橋長	0.15	8.5m	0	0.00	床版	I	0	0.6	0.00	0.1	0.00	1.0	0.00						
適用示方書	0.15	昭和47年	60	9.00	下部工	II	20	0.2	4.00	1.0	20.00	-	-						
供用年数	0.15	25年以上 50年未満	30	4.50	支承	I	0	0.2	0.00	0.8	0.00	0.2	0.00						
迂回路の有無	0.15	有り	0	0.00	路面(凹凸)	無	0	-	-	-	-	0.8	0.00						
路線の区分	0.15	1級	100	15.00															
海岸からの距離	0.10	700mを超える	0	0.00	損傷度評価値			4.00		20.00		0.00							
諸元重要度計				36.00	総合評価値(100-損傷度評価値)			96.00		80.00		100.00							

橋梁毎の諸元重要度と損傷度評価値

整理番号		67		橋梁名		寺沢橋		諸元重要度						損傷度評価値					
橋梁諸元				諸元重要度 ①×②	部材	健全度		耐荷性		災害抵抗性		走行安全性							
項目	重み係数 ①	評価項目	評点 ②			評価	評点 ①	重み係数 ②	評価値 ①×②	重み係数 ③	評価値 ①×③	重み係数 ④	評価値 ①×④						
交差状況	0.15	河川	50	7.50	上部工	I	0	1.0	0.00	0.4	0.00	0.2	0.00						
橋 長	0.15	9.5m	0	0.00	床 版	II	20	0.6	12.00	0.1	2.00	1.0	20.00						
適用示方書	0.15	平成8年	20	3.00	下部工	II	20	0.2	4.00	1.0	20.00	—	—						
供用年数	0.15	25年未満	0	0.00	支 承	I	0	0.2	0.00	0.8	0.00	0.2	0.00						
迂回路の有無	0.15	有り	0	0.00	路面(凹凸)	無	0	—	—	—	—	0.8	0.00						
路線の区分	0.15	1級	100	15.00															
海岸からの距離	0.10	700mを超える	0	0.00	損傷度評価値			16.00		22.00		20.00							
<b>諸元重要度 計</b>				<b>25.50</b>	<b>総合評価値(100-損傷度評価値)</b>			<b>84.00</b>		<b>78.00</b>		<b>80.00</b>							

整理番号		68		橋梁名		チゴキ橋		諸元重要度						損傷度評価値					
橋梁諸元				諸元重要度 ①×②	部材	健全度		耐荷性		災害抵抗性		走行安全性							
項目	重み係数 ①	評価項目	評点 ②			評価	評点 ①	重み係数 ②	評価値 ①×②	重み係数 ③	評価値 ①×③	重み係数 ④	評価値 ①×④						
交差状況	0.15	鉄道	100	15.00	上部工	II	20	1.0	20.00	0.4	8.00	0.2	4.00						
橋 長	0.15	17.6m	25	3.75	床 版	II	20	0.6	12.00	0.1	2.00	1.0	20.00						
適用示方書	0.15	昭和47年	60	9.00	下部工	II	20	0.2	4.00	1.0	20.00	—	—						
供用年数	0.15	25年以上 50年未満	30	4.50	支 承	II	20	0.2	4.00	0.8	16.00	0.2	4.00						
迂回路の有無	0.15	有り	0	0.00	路面(凹凸)	無	0	—	—	—	—	0.8	0.00						
路線の区分	0.15	1級	100	15.00															
海岸からの距離	0.10	100mを超えて300m以下	75	7.50	損傷度評価値			40.00		46.00		28.00							
<b>諸元重要度 計</b>				<b>54.75</b>	<b>総合評価値(100-損傷度評価値)</b>			<b>60.00</b>		<b>54.00</b>		<b>72.00</b>							

整理番号		69		橋梁名		峰浜高架橋		諸元重要度						損傷度評価値					
橋梁諸元				諸元重要度 ①×②	部材	健全度		耐荷性		災害抵抗性		走行安全性							
項目	重み係数 ①	評価項目	評点 ②			評価	評点 ①	重み係数 ②	評価値 ①×②	重み係数 ③	評価値 ①×③	重み係数 ④	評価値 ①×④						
交差状況	0.15	鉄道	100	15.00	上部工	II	20	1.0	20.00	0.4	8.00	0.2	4.00						
橋 長	0.15	96.5m	75	11.25	床 版	II	20	0.6	12.00	0.1	2.00	1.0	20.00						
適用示方書	0.15	平成14年	10	1.50	下部工	II	20	0.2	4.00	1.0	20.00	—	—						
供用年数	0.15	25年未満	0	0.00	支 承	I	0	0.2	0.00	0.8	0.00	0.2	0.00						
迂回路の有無	0.15	有り	0	0.00	路面(凹凸)	無	0	—	—	—	—	0.8	0.00						
路線の区分	0.15	1級	100	15.00															
海岸からの距離	0.10	700mを超える	0	0.00	損傷度評価値			36.00		30.00		24.00							
<b>諸元重要度 計</b>				<b>42.75</b>	<b>総合評価値(100-損傷度評価値)</b>			<b>64.00</b>		<b>70.00</b>		<b>76.00</b>							

橋梁毎の諸元重要度と損傷度評価値

整理番号		70		橋梁名		滝の上橋		諸元重要度						損傷度評価値					
橋梁諸元				諸元重要度 ①×②	部材	健全度		耐荷性		災害抵抗性		走行安全性							
項目	重み係数 ①	評価項目	評点 ②			評価	評点 ①	重み係数 ②	評価値 ①×②	重み係数 ③	評価値 ①×③	重み係数 ④	評価値 ①×④						
交差状況	0.15	河川	50	7.50	上部工	—	—	1.0	—	0.4	—	0.2	—						
橋長	0.15	8.7m	0	0.00	床版	I	0	0.6	0.00	0.1	0.00	1.0	0.00						
適用示方書	0.15	昭和55年	40	6.00	下部工	II	20	0.2	4.00	1.0	20.00	—	—						
供用年数	0.15	25年以上 50年未満	30	4.50	支承	I	0	0.2	0.00	0.8	0.00	0.2	0.00						
迂回路の有無	0.15	無し	100	15.00	路面(凹凸)	無	0	—	—	—	—	0.8	0.00						
路線の区分	0.15	1級	100	15.00															
海岸からの距離	0.10	500mを超えて700m以下	25	2.50	損傷度評価値			4.00		20.00		0.00							
<b>諸元重要度 計</b>				<b>50.50</b>	<b>総合評価値(100-損傷度評価値)</b>			<b>96.00</b>		<b>80.00</b>		<b>100.00</b>							

整理番号		71		橋梁名		ふれあい橋さわめ		諸元重要度						損傷度評価値					
橋梁諸元				諸元重要度 ①×②	部材	健全度		耐荷性		災害抵抗性		走行安全性							
項目	重み係数 ①	評価項目	評点 ②			評価	評点 ①	重み係数 ②	評価値 ①×②	重み係数 ③	評価値 ①×③	重み係数 ④	評価値 ①×④						
交差状況	0.15	鉄道	100	15.00	上部工	I	0	1.0	0.00	0.4	0.00	0.2	0.00						
橋長	0.15	24.2m	25	3.75	床版	I	0	0.6	0.00	0.1	0.00	1.0	0.00						
適用示方書	0.15	平成8年	20	3.00	下部工	II	20	0.2	4.00	1.0	20.00	—	—						
供用年数	0.15	25年未満	0	0.00	支承	I	0	0.2	0.00	0.8	0.00	0.2	0.00						
迂回路の有無	0.15	有り	0	0.00	路面(凹凸)	無	0	—	—	—	—	0.8	0.00						
路線の区分	0.15	その他	0	0.00															
海岸からの距離	0.10	700mを超える	0	0.00	損傷度評価値			4.00		20.00		0.00							
<b>諸元重要度 計</b>				<b>21.75</b>	<b>総合評価値(100-損傷度評価値)</b>			<b>96.00</b>		<b>80.00</b>		<b>100.00</b>							

整理番号		72		橋梁名		岩小歩道橋		諸元重要度						損傷度評価値					
橋梁諸元				諸元重要度 ①×②	部材	健全度		耐荷性		災害抵抗性		走行安全性							
項目	重み係数 ①	評価項目	評点 ②			評価	評点 ①	重み係数 ②	評価値 ①×②	重み係数 ③	評価値 ①×③	重み係数 ④	評価値 ①×④						
交差状況	0.15	鉄道	100	15.00	上部工	I	0	1.0	0.00	0.4	0.00	0.2	0.00						
橋長	0.15	21.7m	25	3.75	床版	III	80	0.6	48.00	0.1	8.00	1.0	80.00						
適用示方書	0.15	昭和47年	60	9.00	下部工	I	0	0.2	0.00	1.0	0.00	—	—						
供用年数	0.15	25年以上 50年未満	30	4.50	支承	I	0	0.2	0.00	0.8	0.00	0.2	0.00						
迂回路の有無	0.15	有り	0	0.00	路面(凹凸)	無	0	—	—	—	—	0.8	0.00						
路線の区分	0.15	その他	0	0.00															
海岸からの距離	0.10	100mを超えて300m以下	75	7.50	損傷度評価値			48.00		8.00		80.00							
<b>諸元重要度 計</b>				<b>39.75</b>	<b>総合評価値(100-損傷度評価値)</b>			<b>52.00</b>		<b>92.00</b>		<b>20.00</b>							

橋梁毎の諸元重要度と損傷度評価値

整理番号		73		橋梁名		あきた白神駅歩道橋							
諸元重要度						損傷度評価値							
橋梁諸元				諸元重要度 ①×②	部材	健全度		耐荷性		災害抵抗性		走行安全性	
項目	重み係数 ①	評価項目	評点 ②			評価	評点 ①	重み係数 ②	評価値 ①×②	重み係数 ③	評価値 ①×③	重み係数 ④	評価値 ①×④
交差状況	0.15	鉄道	100	15.00	上部工	—	—	1.0	—	0.4	—	0.2	—
橋長	0.15	55.0m	75	11.25	床版	—	—	0.6	—	0.1	—	1.0	—
適用示方書	0.15	平成2年	30	4.50	下部工	II	20	0.2	4.00	1.0	20.00	—	—
供用年数	0.15	25年以上 50年未満	30	4.50	支承	I	0	0.2	0.00	0.8	0.00	0.2	0.00
迂回路の有無	0.15	有り	0	0.00	路面(凹凸)	無	0	—	—	—	—	0.8	0.00
路線の区分	0.15	その他	0	0.00									
海岸からの距離	0.10	100mを超えて300m以下	75	7.50	損傷度評価値			4.00		20.00		0.00	
<b>諸元重要度 計</b>				<b>42.75</b>	<b>総合評価値(100-損傷度評価値)</b>			<b>96.00</b>		<b>80.00</b>		<b>100.00</b>	

整理番号		74		橋梁名		観小歩道橋							
諸元重要度						損傷度評価値							
橋梁諸元				諸元重要度 ①×②	部材	健全度		耐荷性		災害抵抗性		走行安全性	
項目	重み係数 ①	評価項目	評点 ②			評価	評点 ①	重み係数 ②	評価値 ①×②	重み係数 ③	評価値 ①×③	重み係数 ④	評価値 ①×④
交差状況	0.15	鉄道	100	15.00	上部工	I	0	1.0	0.00	0.4	0.00	0.2	0.00
橋長	0.15	47.7m	50	7.50	床版	II	20	0.6	12.00	0.1	2.00	1.0	20.00
適用示方書	0.15	昭和47年	60	9.00	下部工	II	20	0.2	4.00	1.0	20.00	—	—
供用年数	0.15	25年以上 50年未満	30	4.50	支承	I	0	0.2	0.00	0.8	0.00	0.2	0.00
迂回路の有無	0.15	有り	0	0.00	路面(凹凸)	無	0	—	—	—	—	0.8	0.00
路線の区分	0.15	その他	0	0.00									
海岸からの距離	0.10	100mを超えて300m以下	75	7.50	損傷度評価値			16.00		22.00		20.00	
<b>諸元重要度 計</b>				<b>43.50</b>	<b>総合評価値(100-損傷度評価値)</b>			<b>84.00</b>		<b>78.00</b>		<b>80.00</b>	

整理番号				橋梁名									
諸元重要度						損傷度評価値							
橋梁諸元				諸元重要度 ①×②	部材	健全度		耐荷性		災害抵抗性		走行安全性	
項目	重み係数 ①	評価項目	評点 ②			評価	評点 ①	重み係数 ②	評価値 ①×②	重み係数 ③	評価値 ①×③	重み係数 ④	評価値 ①×④
交差状況	0.15				上部工								
橋長	0.15				床版								
適用示方書	0.15				下部工								
供用年数	0.15				支承								
迂回路の有無	0.15				路面(凹凸)								
路線の区分	0.15												
海岸からの距離	0.10				損傷度評価値								
<b>諸元重要度 計</b>					<b>総合評価値(100-損傷度評価値)</b>								

## 5. 橋梁長寿命化修繕計画

### 5-1. 修繕規模の設定

#### (1) 劣化要因

修繕計画を行うにあたり、各部材の劣化要因は以下の要因を想定し、計画するものとする。

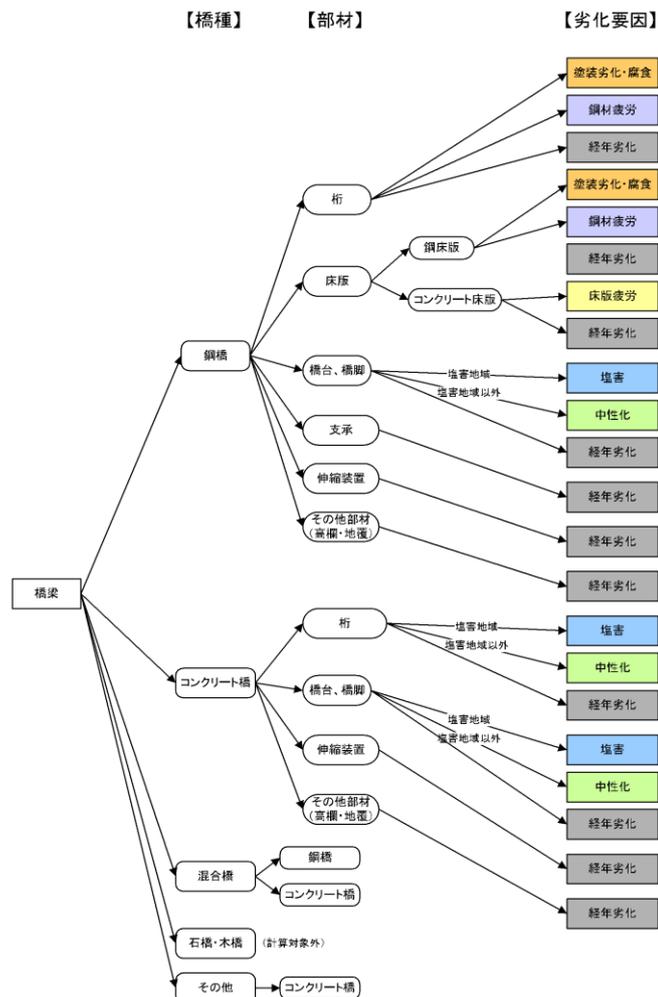
想定する主な劣化要因

部 材	劣化要因
鋼部材	経年劣化、塗装劣化・腐食、鋼材疲労
コンクリート部材	経年劣化、塩害、中性化、床版疲労

表 5-3 コンクリートと鋼の主な劣化要因の分類

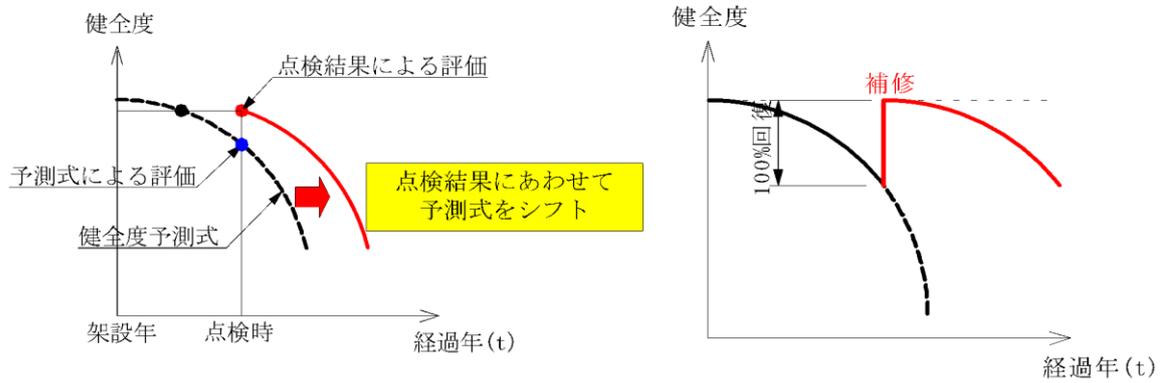
材料	①経年劣化によるもの（自然に発生）	②環境条件によるもの	③交通量（活荷重）の影響を受けるもの
コンクリート	中性化	塩害、凍害、アルカリ骨材反応	R C床版の疲労
鋼	腐食	腐食	疲労亀裂

(道路アセットマネジメントハンドブック P114)



## (2)劣化予測

劣化曲線は健全度と経過年数より各部材毎に最小二乗法による統計処理により算出。  
対象とする部材の修繕がなされた場合は、修繕による健全度の回復率を100%とし、  
修繕後の劣化の進み具合は修繕前と同じと考える。



### (3) 対策工法と単価

損傷と劣化要因に対する対策工法について、健全度に応じた対策工法の調整を行う。  
また、各対策工は材料や工法の耐久年数に応じて維持管理するものとする。

対策工とその単価は下記の参考資料より設定する。

#### 参考文献一覧

- 1) 土木工事積算基準マニュアル 平成 22 年度版 建設物価調査会
- 2) 道路橋の維持管理に関する指標開発の取組み 土木技術資料 Vol.49 No.2 pp.66-71
- 3) 国土技術政策総合研究所資料 平成 19 年度道路構造物に関する基本データ集
- 4) 国土技術政策総合研究所資料 橋梁の架替に関する調査結果 (IV)
- 5) 道路統計年報 2008 年版 全国道路利用者会議
- 6) 国土技術政策総合研究所資料 道路橋の計画的管理に関する調査研究
- 7) 鋼橋のライフサイクルコスト (社) 日本橋梁建設協会
- 8) 道路橋床版 松井繁之 森北出版
- 9) コンクリート橋標準示方書[維持管理編] (社) 土木学会
- 10) コンクリートライブラリー116 コンクリート橋標準示方書[維持管理編]に基づくコンクリート構造物の維持管理事例集(案) (社) 土木学会
- 11) 国土技術政策総合研究所資料 コンクリート橋の塩害対策資料集
- 12) PC 橋のライフサイクルコストと耐久性向上技術 (社) プレストレスト・コンクリート建設業協会
- 13) 国土技術政策総合研究所プロジェクト研究報告 住宅・社会資本の管理運営技術の開発

#### (4) 架替え設定

橋の耐用年数は一般的に50年～75年程度とされている。

現行の示方書では、適切な維持管理が行われることを前提に供用期間を100年を標準としていることから、本橋梁長寿命化計画における架替え時期は以下の通り設定するものとする。

#### 【架替えルール】

予防保全型 : 100年

事後保全型 : 60年

#### 耐用年数に関する参考文献

参考文献・協会名	規格・耐用年数		備考
鋼道路橋設計便覧 (S55. 8) 日本道路協会	鋼道路橋の寿命	50～100年	活荷重の大きな変化がない 場合で適用
ミニメンテナンス橋に関する検討 (H9. 6) 建設省土木研究所	橋の平均寿命	60年	一般に行われている維持管理 での平均寿命
自治体管理・道路橋の長寿命化 修繕計画 計画策定マニュアル (案) (H19. 3) 国土交通省	鋼橋	60年	対症療法型橋梁の更新までの 期間
	コンクリート橋	50年(塩害地域) 75年(その他)	

## 5-2. 長寿命化計画の効果

### (1) 予算シミュレーション

- STEP1 : 維持修繕予算は近年の予算状況に合わせて、Ⅲ評価の橋梁に対する補修費を5,000万円～6,000万円/年程度とする。  
また、予防保全への移行からは2,000万円～3,000万円/年程度の予算で計画を行う。(定期点検時や架け替え時期などの一時的な予算アップは可)
- STEP2 : 健全度評価Ⅲの橋梁を、次回点検までの間に補修を実施することを目標に計画。
- STEP3 : 予防保全型管理が現実的でない小さい橋梁については、事後保全型管理で計画を行う。(前項 3. 維持管理方法参照)
- STEP4 : 事業費効果の算出は、予防保全型管理の橋梁N=44橋を対象に、事後保全型と予防保全型について今後50年間の予算シミュレーションを行い、その差額を事業効果とする。

#### 【架替えルール】

- ・ 予防保全型の架替え : 100年
- ・ 事後保全型の架替え : 60年

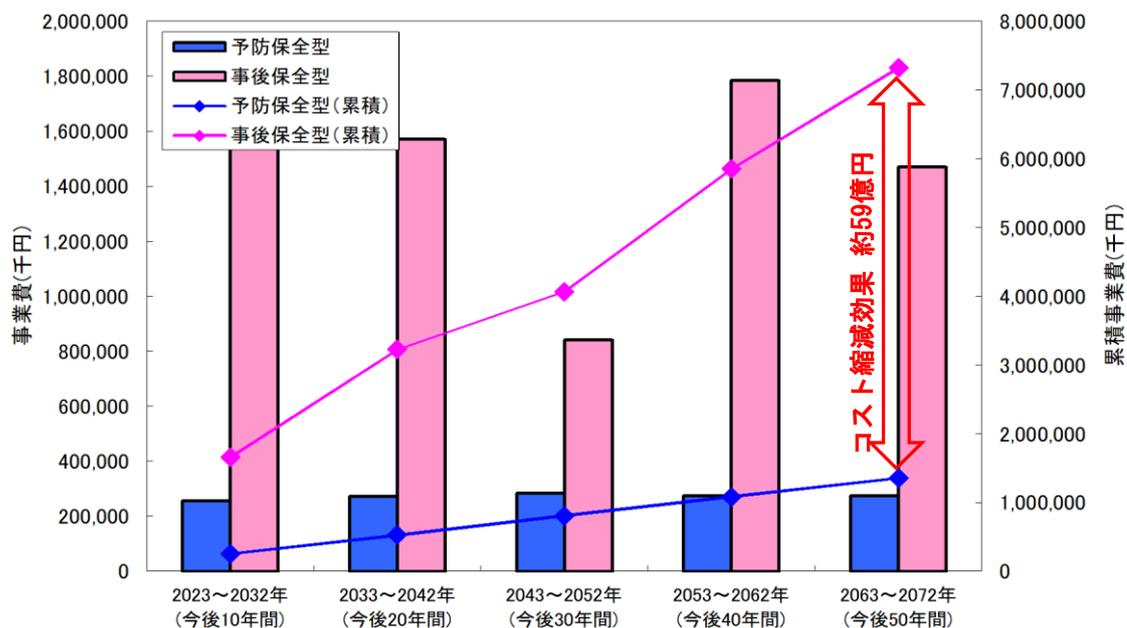
#### 【費用算出について】

- ・ 対策費用は主桁、床版、下部工、支承、伸縮装置、路面について算出。
- ・ 防護柵については、状況を見ながら補修するものとし、本計画には含まないものとする。
- ・ 耐荷力強化や耐震補強は含まない。
- ・ 費用に設計費は含まない。ただし、今後10年間の計画での評価Ⅲの橋梁についてのみ、調査設計費を計上。
- ・ 定期点検費用は5年毎に計上。

## (2) シミュレーション結果

予防保全型管理の橋梁44橋を対象に、平成29年度から令和3年度に実施した橋梁点検結果に基づき、対象橋梁全てを事後保全型で管理した場合と予防保全型で管理した場合による修繕事業費を、今後50年間の予算シミュレーションで算出し比較した結果、従来の事後保全型が73億円に対し、長寿命化修繕計画の実施による予防保全型が14億円となり、約59億円のコスト削減効果が見込まれる。

また、予防保全型管理による修繕計画により、損傷に起因する交通規制等が減少し、道路の安全性・信頼性が確保される。



### 5-3. 長寿命化計画の策定

#### (1) 今後10年の修繕計画

予算の平準化を図り、今後10年の修繕計画を以下に示す。

修繕費 : 179,000 千円 (調査設計費+修繕費)  
 点検費 : 102,000 千円 (定期点検費)

	年 度										合計
	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)	R13 (2031)	R14 (2032)	
調査設計橋梁数	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
修繕橋梁数	0	2	4	2	2	4	2	2	2	3	23
定期点検橋梁数	2	68	0	2	2	2	68	0	2	2	148
修繕費(千円)	41,588	31,934	3,485	1,498	17,404	13,795	17,247	23,900	14,308	14,308	179,467
点検費(千円)	12,000	15,000	0	12,000	12,000	12,000	15,000	0	12,000	12,000	102,000

次頁に修繕計画の年度スケジュール及び短期修繕計画一覧表を添付。



短期修繕計画一覧表

区分	維持管理手法	整理番号	橋梁名	路線名称	供用開始年	橋長(m)	総幅員(m)	交差状況	事業費(千円)								工法		
									R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)	R11(2029)	R12(2030)		R13(2031)	R14(2032)
道路橋	予防保全型	1	田中橋	田中線	1969	40.00	5.00	河川											
		2	神陣橋	水沢ダム線	1978	41.00	6.00	河川											
		3	仲村橋	大沢大信田線	1965	15.00	6.00	河川											
		4	塙橋	大沢大信田線	1965	15.00	6.00	河川											
		5	苗吉橋	大槻野線	1973	18.00	6.00	河川											
		6	向田面橋	坂形線	1974	18.00	6.00	河川				7,748							主部材：1種ケレン塗装&当て板補強(R9)
		7	日和見橋	観海浜通線	1990	59.00	11.00	河川											
		8	水沢橋	目名淵大沢線	1961	63.00	6.00	河川		22,684									主部材：断面修復&表面被覆(R6)
		9	欄干橋	畑谷強坂線	1971	17.00	5.00	河川	38,588										主部材：再塗装、床版：ひび割れ補修+断面修復、支承：支承防錆工、舗装：打換、伸縮装置：更新(R5)
		10	白神橋	真瀬線	1999	45.00	8.00	河川					7,126	8,644	11,906	7,126	7,126		主部材：1種ケレン塗装&当て板補強(R10~R14)
		11	白神大橋	真瀬線	2001	40.00	8.00	河川						8,603	11,994	7,182	7,182		主部材：1種ケレン塗装&当て板補強(R11~R14)
		12	小入川橋	小入川岩館線	1965	17.00	5.00	河川											
		13	白瀑橋	八森山麓線	1973	20.00	8.00	河川											
		14	尼子橋	八森山麓線	1993	61.00	8.00	河川											
		15	畑谷橋	目名淵大沢線	1970	20.00	7.00	河川				8,407							主部材：1種ケレン塗装&当て板補強(R9)
		16	天童岩子新橋	岩子北線	1989	24.00	5.00	河川											
		17	高寺下橋	長坂台線	1998	24.00	6.00	河川											
		18	奥の台橋	白神二ッ森線	1982	27.00	5.00	河川											
		19	大信田橋	大沢大信田線	1968	24.00	5.00	河川											
		20	小手萩橋	前田面線	2013	33.00	5.00	河川											
		21	南夏井橋	大沢大野線	2010	24.00	10.00	河川											
		22	夏井沢橋	大沢大野線	2007	29.00	10.00	河川											
		23	濁川橋	白神二ッ森線	1959	17.00	8.00	河川											
		29	磯村橋	磯村浜田線	1961	11.00	7.00	河川											
		33	上の川橋	八森海岸線	1981	8.00	8.00	河川											
		36	寺下橋	大沢大野線	1964	16.00	7.00	河川											
		37	大久保岱沢橋	水沢ダム線	1973	9.00	8.00	河川											
		38	大久保岱橋	水沢ダム線	1953	7.00	5.00	河川											
		39	横内橋	横内仲村線	1973	14.00	4.00	河川											
		40	寺ノ沢新橋	大信田東線	2002	8.00	7.00	河川											
		41	小母谷橋	磯村浜田線	1965	10.00	7.00	河川					6,669						舗装：打換 伸縮装置：取替(始端側) 伸縮装置：取替(終端側)(R10)
		44	白瀑1号橋	磯村浜田線	1980	10.00	7.00	河川											
46	観海橋	観海浜通線	1982	10.00	11.00	河川													
47	白瀑2号橋	白瀑線	1979	8.00	5.00	河川				1,249							舗装：打換(R9)		
48	白瀑3号橋	湯の沢線	1980	9.00	7.00	河川													
60	大岱橋	水沢ダム線	1977	10.00	6.00	河川													
66	籠田橋	八森山麓線	1973	9.00	9.00	河川													
67	寺沢橋	大沢大信田線	2002	10.00	6.00	河川													
68	テゴキ橋	岩館海岸線	1973	18.00	8.00	鉄道													
69	峰浜高架橋	田中中央線	2004	97.00	12.00	鉄道・河川													
横断歩道橋	事後保全型	32	狭田川橋	岩館海岸線	1955	4.05	9.30	河川	3,000	9,250								設計：補修設計(R5)、主部材：ひび割れ注入&断面修復&表面被覆 橋台：ひび割れ注入&断面修復&表面被覆(R6)	
横断歩道橋	予防保全型	71	ふれあい橋さわめ	松原1号線	1997	24.00	4.00	鉄道											
		72	岩小歩道橋	ノケソリ線	1977	22.00	4.00	鉄道			3,485							床版：ひび割れ補修+断面修復(R7) ※R7の補修工事費には耐震補強費は含まれていない。	
		73	あきた白神駅歩道橋	あきた白神駅線	1993	55.00	4.00	道路・鉄道											
		74	観小歩道橋	八森小通学線	1976	48.00	2.00	道路・鉄道				1,498							橋脚：ひび割れ補修+断面修復(R8) ※R8の補修工事費には耐震補強費は含まれていない。
定期点検費								12,000	15,000		12,000	12,000	15,000		12,000	12,000	点検	※R6、R11の点検は、記載の無い道路橋(事後保全型)の橋梁も含む。	
事業費計								53,588	46,934	3,485	13,498	29,404	25,795	32,247	23,900	26,308	26,308		

※上記スケジュールは、新技術の検討を考慮したスケジュールである。

## 6. 新技術の活用

### 6-1. 橋梁定期点検

横断歩道橋を含めた鉄道に架かるJR跨線橋は、夜間に線路を閉鎖し軌陸高所作業車を用いて調査を行っているが、カメラによる画像解析技術などの新技術による点検も効果的と思われるため、4橋のJR跨線橋について新技術の活用を検討するものとする。

カメラによる画像解析技術を採用することにより、1橋(1点検)当たり100～150万円のコスト削減が期待できるため、令和10年度までに、管理する橋梁74橋のうち4橋のJR跨線橋に対して、カメラによる画像解析技術などの新技術を活用し、従来技術を活用した場合と比較して約400万円のコスト削減を目指す。

なお、新技術を活用した点検は連続して行わないものとし、次回点検は現行の近接目視点検を行い、新技術による点検と現行の点検を交互に実施するものとする。

#### 新技術を導入することで点検の効率化が図られると思われる橋梁



68. チゴキ橋



69. 峰浜高架橋



72. 岩小歩道橋(横断歩道橋)



74. 観小歩道橋(横断歩道橋)

### 6-2. 橋梁補修

補修工法については、近年さまざまな新技術・新工法が開発されていることから、調査設計段階からNETIS（新技術情報提供システム）等に掲載されている新技術・新工法について従来工法との比較検討を行い、コスト削減が図れる有効的な工法を選定し採用していくものとする。